

Supported by:



Federal Ministry
for Economic Affairs
and Energy

on the basis of a decision
by the German Bundestag

ドイツ
観光の国



www.germany.travel

ドイツ セールスガイド 2020/21

ドイツ観光局
旅行業界用プランニングマニュアル

ドイツセールスガイド 2020/21

旅行業界の 皆様へ



Contents

音楽の国ドイツ ベートーヴェン生誕250年	3-8
街道の国ドイツ テーマのある旅 / ドイツメルヘン街道	9-17
美味しいドイツ	18-25
祭り 伝統、風習、ふれあい	26-31
CITY BREAK 滞在型プランで都市を楽しむ	32-39
ドイツの絶景	40-45
環境の国ドイツ サステイナブルな体験	46-47
ジェネラル インフォメーション	
基本情報	51
旅行業・メディア向けオンラインサービス	52
ドイツ観光局 オンライン画像データバンク	53
主要都市間の距離とドライビングタイム	54
ドイツ旅行商品のトレンド	55-56
ゲーテ街道セールスガイド	57-67

Advertisers

Semperoper Dresden	7
Leipzig Tourismus und Marketing	8
Stiftung Preußische Schlösser und Gärten Berlin Brandenburg	14
Deutsche Märchenstraße	15-17
Franconian Tourist Board	22
Burg Hohenzollern	25
Staatliche Porzellan-Manufaktur Meissen	30
Wendt & Kühn	31
Aschaffenburg Tourism Information	33
Düsseldorf Airport DUS	37
ANA	37
Düsseldorf Tourismus	38
Köln-Düsseldorf Deutsche Rheinschiffahrt	38
Living-Hotels	39
Excelsior Hotel Ernst	39
Deutsche Lufthansa	48
Rail Europe Japan	49-50
Goethe Straße	57-67

ドイツは、バリエーション豊かな旅のテーマを提供できるマルチな魅力を持つ観光国です。個性化重視の商品作りが重視される中、ドイツは欠かせないDestinations becoming. ドイツ観光局では、毎年グローバルキャンペーンテーマに基づき活動を行っています。本誌では、2020年のイヤーテーマ「ベートーヴェン生誕250年」と付随テーマ「音楽の国」のほか、日本市場で重視する基幹テーマ「都市と文化」「観光街道と古城」「食文化」においてお勧めの素材を紹介してまいります。また、弊局の長期テーマ「サステイナブルツーリズム」に関連し、環境視察についても継続的に素材紹介を行っております。画一的な商品からの脱却と、リピーター獲得のための個性的な商品造成の一助となれば幸いです。

ドイツ観光局

アジア・オーストラリア地区統括局長

西山 晃



ドイツ観光局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56
ドイツ文化会館 (OAG-Haus) 4階
Tel : 03-3586-0705 (旅行業界用) Fax : 03-3586-5079
Email : office-japan@germany.travel
URL : www.germany.travel
アクセス：地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線
「青山一丁目」駅下車、4番出口徒歩約7分

ドイツ観光局は世界11カ国に支局、19カ国に代理店を持ち、ワールドワイドに情報を提供しています。

ドイツセールスガイド 2020/21

発行日：2019年12月10日
改定：2020年11月
発行：ドイツ観光局
編集制作：(株)航空新聞社
編集協力：坂田史男
デザイン：Bax

*本誌からの記事、写真などの無断転載を禁じます。

Supported by:



on the basis of a decision
by the German Bundestag



2020年ドイツ観光局イヤーテーマ

音楽の国ドイツ ベートーヴェン 生誕250年

バッハ、ベートーヴェン、ブラームスのドイツ三大Bを輩出し、ヘンデル、ワーグナー、シューマン、メンデルスゾーンなど世界的な作曲家の故郷「音楽の国ドイツ」を旅行中に少なくとも一度は音楽に触れる機会を設けたい。ベートーヴェンの生誕250年に当たる2020年は音楽を旅程に組みこむ絶好の年。



© Beethovenfest Bonn_Sorja Werner

2020記念年の中心はボン

Beethoven Anniversary Year in Bonn

世界でも日本でも最も多く演奏されるベートーヴェン。楽聖は1770年にライン河畔の町ボンで生まれ、生誕250年に当たる2020年はボンが記念年行事の中心舞台となる。記念年期間は、2021年9月まで延長となります。

2020年の記念年行事 BTHVN2020

記念年期間中は国を挙げて多数の行事がボンを中心に開催され、その実施には創設された組織BTHVN2020が当たる。毎日のように行われるコンサート、展示会や各種イベントに関する会場やプログラム等詳細はBTHVN2020ウェブサイトで得ることができる。ロゴの5つのアルファベットは中心となる次の5つのテーマを意味している。Bonner Weltbürger (ボン市民)、Tonkünstler (作曲家)、Humanist (ヒューマニスト)、Visionär (夢想家)、Naturfreund (自然愛好家)



© Beethoven Jubiläums Gesellschaft gGmbH

BTHVN2020
ボン

演奏会と展示会 Concerts & exhibitions

演奏会はボン歌劇場をメイン会場にベートーヴェン・ハウスや大学、教会など様々な場所で行われる。ベートーヴェン・ボン・オーケストラを中心に、国際的演奏家も多数参加し、サイモン・ラトル、クルレンツィス、ケント・ナガノ、バレンボイムによる特別演奏会もある。ベートーヴェン・ハウスでは頻繁に室内楽演奏会が開かれる。演目、日時、予約等は上記実行組織のウェブサイトを参照。数多く開催される展示会の中で、特に注目されるのは下記2件。

ボン連邦美術館

2019/12/17~2020/4/26 「ベートーヴェン 世界、市民、音楽」
ベートーヴェン・ハウス

ボンガッセ20番地の生家は2019年12月16日に正式にリニューアルオープンし、オリジナル楽譜、肖像画、グラーフ製作フォルテピアノ、弦楽器、デスマスクなど常設展示、さらに各種特別展が企画される。

BTHVN2020
ベートーヴェン・ハウスとボン美術館

音楽の国ドイツ

ベートーヴェン生誕250年を機にドイツ観光局は音楽の国ドイツに焦点を当てたB2Cキャンペーンを次々に打ち出し、大きな反響を得ている。今後の展開にも注目。

ボン ベートーヴェン音楽祭と観光

Beethovenfest & Bonn

かつての西ドイツ首都ボンは、観光ではベートーヴェンの生家とベートーヴェン音楽祭で知られ、ライン川観光の拠点となる町。記念年に開かれるベートーヴェン音楽祭とボンからのエクスカージョンを紹介する。

ベートーヴェン音楽祭 Beethovenfest 2020

2021/8/20~9/10

世界から注目されているベートーヴェン音楽祭は毎年9月開催が恒例だが、記念年の2020年は3月にも追加開催される。

3月：クルレンツィス指揮ムジカエテルナによるベートーヴェンの全交響曲のチクルス、および伊仏露独5カ国演奏家によるコンサート。

会場：歌劇場、聖十字架教会

9月：20余の会場で国際的演奏家による60の演奏会が開かれる。パイロイト音楽祭オーケストラと合唱による第九で開幕。

ベートーヴェン音楽祭
イベントスケジュール



II 3つの世界遺産を巡る

ボンの北35kmにあるケルンからライン川を上るルート。世界遺産ケルン大聖堂と市内観光の後、上流へ20km走り、ブリュールの世界遺産口ココ様式アウグストゥスブルク宮殿とファルケンルスト別邸を観光。その後、ボンに戻る。

ケルン大聖堂

室内楽ホール：1889年に建てられた音楽ホール。ベートーヴェンホールに隣接。演奏プログラム等は下記ウェブサイト参照。毎年1月末恒例のベートーヴェン音楽週間は2021年は5月開催予定。プログラム等はウェブサイト参照。

ベートーヴェン音楽週間
ベートーヴェン・ハウス



ボン観光とエクスカージョン Sightseeing & excursions

ボン市内観光

ベートーヴェン・ハウス、市庁舎、大聖堂の中心部観光は徒歩で約30分。博物館美術館地区、旧首都官邸街やヴィラの多いパート・ゴードスベルクを巡る定期バス観光は所要2時間。

ボン



エクスカージョン

I 竜の岩と城

ロマンチックなライン川のハイライト

ライン対岸ジーベンゲビルゲの丘の景勝地ケーニヒスヴィンターから高さ321mの竜の岩（ドラッヘンフェルス山）へ登山電車で1.5kmを8分で登る。頂には11世紀の城址があり、言い伝えによればニーベルンゲンの宝のジークフリートが竜退治をした場所。駅横には展望台とレストラン施設があり、世界遺産ライン川のパノラマ絶景が広がる。中腹の駅には、19世紀のロマンチックなドラッヘンブルク城が聳える（見学可）。

ジーベンゲビルゲ自然公園

III 世界遺産とロマンティック・ライン

ライン河畔デュッセルドルフと支流マイン河畔フランクフルトがゲートウェイ。二都市間360kmのほぼ中間にあるベートーヴェン生誕記念年を祝うボンを組み入れれば特別な世界遺産ラインルートの旅を提供できる。ロマンティック・ラインのハイライト(65km)、ケルン大聖堂、さらにアーヘン大聖堂、ブリュールの宮殿と4つの世界遺産を組み込める。デュッセルドルフから40kmにあるエッセンの世界遺産ツォルフェライン炭鉱を5つ目の世界遺産として加えることも可能。

ミッテルライン

ボン音楽名所

ベートーヴェン・ハウス Beethoven-Haus

1770年12月16日（洗礼日17日）にこの家で生を受け、21歳までボンに住む。ベートーヴェンに関する世界で最も重要かつ多数の収集を常設展示する博物館（入場料6€、団体割引あり）。



ベートーヴェン史跡 Beethoven's footsteps

生家から始まり聖レミギウス教会や記念像など市内14のベートーヴェンのボン時代のゆかりの史跡を徒歩で回る。

ベートーベン所縁の史跡めぐり

ロベルト・シューマン・ハウス Schumann-Haus

シューマンが晩年を過ごした家が、現在博物館と音楽図書館として公開されている（休館：月曜、入場無料）。通年、室内楽演奏会が開かれ、毎年5月末には若い芸術家のためのボン・シューマン音楽祭が開催される。ボン旧墓地にはロベルトとクララ・シューマンの墓がある。

シューマンハウス

桜の花見はボンで

ボン旧市街は4月中旬になるとピンク色の桜のトンネルとなり、世界中の旅行者を惹きつけている。とくにヘーア通り、ブライテ通りの桜並木はフォトスポットとして人気がある。

宮殿コンサートはいかが

「音楽」に触れるプランを組み入れるとドイツ旅行の魅力はより一層膨らむ。
作曲家ゆかりの場所、由緒ある宮殿や教会で触れる音楽は日本では味わえないものであり、旅を忘れたいものにする。

ミュンヘン 王宮・宮殿コンサート Residenzkonzerte in München

王宮のロココ調クヴィリエ劇場、大広間や王宮チャペル、ニンフェンブルク宮殿、シュライスハイム宮殿など華麗でロマンチックな雰囲気の中でクラシック音楽に浸ろう。演奏は、ミュンヘン・フィルやバイエルン放送交響楽団の奏者で編成されるレジデンツ・ゾリステン。



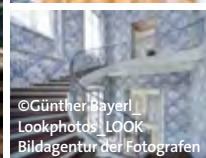
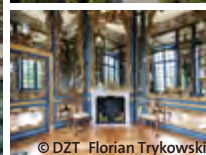
世界遺産ブリュール宮殿コンサート Brühler Schlosskonzerte

2020/5/9~2021/2/21

ハイドン音楽祭：8月中旬より10日間

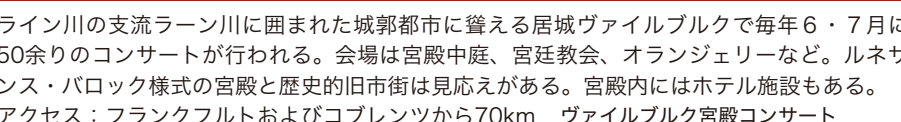
世界遺産アウグストゥスブルク宮殿の美しいバロック様式の階段広間と庭園等で、毎年計33余りのコンサートが行われる。プログラムは主にバロック音楽から19世紀クラシックまで。

ブリュール宮殿コンサート
アウグストゥスブルク宮殿



ヴァイルブルク宮殿コンサート Weilburger Schlosskonzerte

ライン川の支流ラン川に囲まれた城郭都市に聳える居城ヴァイルブルクで毎年6・7月に50余りのコンサートが行われる。会場は宮殿中庭、宮廷教会、オランジェリーなど。ルネサンス・バロック様式の宮殿と歴史的旧市街は見応えがある。宮殿内にはホテル施設もある。アクセス：フランクフルトおよびコブレンツから70km ヴァイルブルク宮殿コンサート



ポツダム・サンスーシ音楽祭 Musikfestspiele Potsdam Sanssouci

6月の3週間に80余りのコンサートが世界遺産ポツダム・ベルリンの宮殿庭園およびポツダムの歴史の舞台となった会場で行われる。

ポツダム・サンスーシ音楽祭
サンスーシ宮殿



北の白鳥城で夏の野外オペラ Schlossfestspiele Schwerin

北のノイシュヴァンシュタイン城と呼ばれるシュヴェリーン宮殿と湖を背景に、野外オペラと演劇が上演される。演目は毎年変わり、2021年は「タイタニック」が上演される。

2021/6/11~7/10

問合せ：service@theater-schwerin.de

アクセス：ハンブルクより110km

シュヴェリーン城音楽祭

シュヴェリーン宮殿



世界遺産ヴァルトブルク城

千年の歴史を秘めた名城ヴァルトブルクの祝祭の広間でワーグナーのオペラのタンホイザーが演じられ、バッハなどの作品が演奏される。日程は不定期で城のURLの行事予定からチェックのこと。

世界遺産ヴァルトブルク城

ヴァルトブルク城行事予定





Semperoper Dresden

ゼンパーオペラ・ドレスデン

© Matthias Creutziger

音楽の都ドレスデンで最高の文化体験

[ゼンパーオペラ・ドレスデン](#)（ドレスデン国立歌劇場）は世界的な名声を博す専属のアンサンブルを持ち、国際的な客演者が演奏する歌劇場です。演奏を担当する[ザクセン国立ドレスデン・シュターツカペレ](#)（ドレスデン国立歌劇場管弦楽団）はザクセン選帝侯モーリッツにより1548年に宮廷楽団として創設され、世界で最も古く伝統あるオーケストラのひとつです。創設以来カール・マリア・フォン・ウェーバーやリヒャルト・ワーグナーといった偉大な楽長と国際的な演奏家によりかつての宮廷楽団の歴史は創られてきました。国際的に人気の高い管弦楽団であるドレスデン・シュターツカペレは、世界の音楽中心都市で定期的に公演しています。本拠地のゼンパーオペラではドレスデン・シュターツカペレは毎シーズン約260回のオペラとバレエの公演を演奏し、約50回のオーケストラと室内楽コンサートを定期的に行っています。2012/2013シーズンから[クリスティアン・ティーレマン](#)がドレスデン・シュターツカペレの首席指揮者となり、2013年よりザルツブルク・イースター音楽祭の芸術監督も務め、同楽団は音楽祭のレジデンツオーケストラとなっています。

2020年の公演プログラムでは当然ながらベートーヴェン記念年が重要な意味を持ちます。生誕250年を記念して2019年12月から2020年1月までゼンパーオペラでドレスデン・シュターツカペレはクリスティアン・ティーレマン指揮で交響曲1番から5番までを演奏します。さらにヘルベルト・ブロムシュテット、オメール・メイア・ヴェルバーやソル・ガベッタを迎えた特別コンサートがあり、ドレスデン・シュターツカペレのベートーヴェン生誕記念プログラムは一層充実したものになります。

歌劇場建築の外観と内装からホールへの卓越した音響効果、そして音楽的に最高の舞台演出まで、ゼンパーオペラで得られる印象と芸術体験は格別なものです。クラシックからモダンな演出の作品まで豊富なレパートリーを持ち、2019/2020の新シーズンでは9つのオペラと2つのバレエの演出をお楽しみいただけます。2020年の最初のプレミア公演のハイライトはワーグナーのオペラ[ニュルンベルクのマイスタージンガー](#)です。新演出はザルツブルク・イースター音楽祭、東京文化会館、東京新国立劇場との国際的協力でおこなわれます。2020年のゴールデンウィークには宮本亜門による新演出、高田賢三の衣装でブッチーニのオペラ[蝶々夫人](#)をゼンパーオペラ・ドレスデンで体験できます。

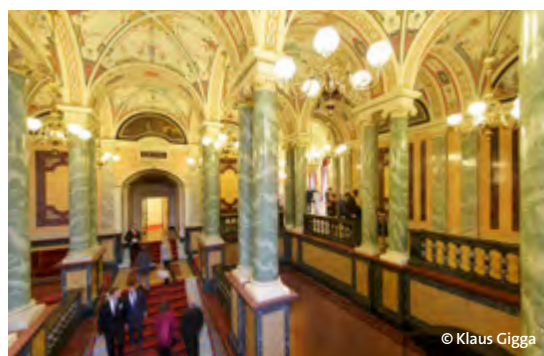
公演プログラム、日時、チケット等詳細についてウェブサイトをご覧ください。
[ゼンパーオペラ・ドレスデン \(英\) https://www.semperoper.de/en](https://www.semperoper.de/en)
[ドレスデン・シュターツカペレ \(日\) http://www.staatskapelle-dresden.de/jp/](http://www.staatskapelle-dresden.de/jp/)



© Matthias Creutziger



© Matthias Creutziger



© Klaus Gigger

W

ライプツィヒの リヒャルト・ワーグナー



© Tom Schulze

音楽の町ライプツィヒ オペラの天才リヒャルト・ワーグナーのふるさと

ライプツィヒと音楽、それは何百年という音楽の伝統です。ヨハン・セバスティアン・バッハ、フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ、クララとロベルト・シューマン、そしてリヒャルト・ワーグナーといった多くの音楽家がこの町に住み、活動しました。ライプツィヒ歌劇場とゲヴァントハウス管弦楽団は世界的な名声を享受。バッハ音楽祭やワーグナー音楽祭といった国際フェスティバルへ訪れる人は毎年増加しています。一年を通じて作曲家たちのゆかりの場所は、ライプツィヒ音楽軌道を辿って訪れることができます。中心街を通る楽譜の周遊ルートにはサウンドクリップとディスプレイが設けられ、作曲家に関する生き活きとした情報が得られます。もちろん、この町が生んだ有名な人物、リヒャルト・ワーグナーについても。

ライプツィヒ歌劇場 ヨーロッパの真ん中 伝統ある歌劇場

1693年に創立したライプツィヒ歌劇場。ヨーロッパで3番目に古い市民が創ったオペラハウスで、325年の長い伝統を誇ります。約1世紀半、世界的名声を博すゲヴァントハウス管弦楽団が常時ライプツィヒ歌劇場の演奏を受け持っています。ちなみに管弦楽団は現在国際比較で第4位にランクされています。歌劇場・音楽総監督にウルフ・シルマーが就任して以来、リヒャルト・ワーグナーのオペラ作品がレパートリーの中心的柱となっています。毎シーズンのハイライトは「ニーベルングの指環」です。2019/2020シーズンでは、そのワーグナーの大作を2回（2020年1月15日～19日と2020年5月20日～24日）上演します。

オペラ祭W22 3週間であふれる音楽を

2022年ライプツィヒでは、世界の音楽ファンが耳をそばだてる世界的に類のない企画が立てられており、ワーグナーファンは心待ちにしています。ライプツィヒ歌劇場では、2022年までワーグナー全代表オペラ作品を公開。その集大成として2022年6～7月、その名作13演目を3週間におよぶオペラ祭「W22」で上演する、野心的な目標を掲げています。2019/2020シーズンにおける初演「トリスタンとイゾルデ」は、その目標に向かうひとつの道標となります。



© FK Fotografie

詳細は
www.oper-leipzig.de 及び www.leipzig.travel/wagner

LEIPZIG
REGION
SAXONY. STATE OF THE ARTS.

Gewandhaus
Orchester

WAGNER
22
OPERA
LEIPZIG

街道の国ドイツ テーマのある旅

市城門をくぐると数百年前の時代に戻ったように感じる中世都市が連なるロマンチック街道、グリム童話と伝説があちこちに生きているメルヘン街道、文豪ゲーテだけでなくバッハゆかりの地とドイツの歴史文化を辿るゲーテ街道は、旅行ルートとして定着している。ドイツの観光街道は、国内外の旅行者を惹きつけ、持続的な広域デスティネーション・マーケティングの成功例としても注目を集めている。



© Romantische Straße Touristik-Arbeitsgemeinschaft GbR

ロマンを実感できる観光街道

ドイツには多数の観光街道があり、各ルートの観光内容は豊富でインフラは整っている。各街道名は、そのルートの特色や文化、歴史、自然、名産などにより付けられ、テーマ合った体験ができる。観光街道は、グループにも個人旅行にも適したテーマである。

ドイツの観光街道

Scenic routes

観光街道は、高速道路アウトバーンを使わず一般道路をじっくり旅する“スロートラベル”のルートで、名称は街道の特色を表す。例えばドイツ古城街道には、古城、宮殿、宮廷、中世城郭都市が連なり、古城ホテルでの宿泊もできる。観光街道は組織化され、長期的マーケティング活動を行い、品質管理に余念がない。全国的に観光街道には街道のロゴを付けた茶色の標識が立ち、目的地に入ると茶色看板に名所案内、観光案内所が示され分かりやすい。最も有名なロマンチック街道は70年前に創設されたが、現在では100以上の観光街道がある。サイクリングやハイキングなど様々なニーズに応えてくれる信頼ある休暇ルートである。



© Romantische Straße Touristik-Arbeitsgemeinschaft GbR

中世のロマン

ロマンチック街道

Romantische Strasse

世界遺産の宮殿とフランケンワインで知られるマイン川のバロックの古都ヴュルツブルクから、ノイシュヴァンシュタイン城のあるアルプスのフッセンまで470kmに及ぶドイツで最も有名な街道。キーワードは中世のロマン。約30の街道市町村のなかでも城壁に囲まれた中世の宝石ローテンブルクがよく知られる。ディンケルスビュール、ネルトリンゲン、ランツベルクも遜色ない。欧州有数の中世大都市であった活気ある都会アウクスブルクも見逃せない。南下するにつれ、次第に山の景観が増え、アルプスに近くなる。フィナーレを飾るのはバイエルン王ルートヴィヒ二世と白鳥城である。ロマンチック街道のリピーターには中世の小さな都市、大きな町、アルプスの山の景観とルートヴィヒのロマンの4要素を入れた旅程が望ましい。

サイクリストとハイカー向けに、安全に考慮したルートが敷かれ、標識やパンフレットも整っている。全行程を走破することも可能だ。個人旅行者が多く利用するロマンチック街道定期バスは、2019年春に大幅に時刻表が改定されたので要注意。

日系旅行社の現地出発バスツアーやプライベートツアー（マイバス、みゆう、HIS等）も各種用意されている。

ロマンチック街道

ロマンチック街道協会

ロマンチック街道定期バス時刻表

騎士のロマン

古城街道

Castle Road

マンハイムを出発した後、ハイデルベルクを通り、ネッカー川、城の多い地方を抜けるとロマンチック街道と交差するローテンブルクに着く。さらに中世の大都市ニュルンベルクから世界遺産の町バンベルクを経てパイロイトまで770km。ルート上に約60の古城や宮殿があり、多数の領邦国家からなるドイツの歴史を垣間見ることができる。ぶどう畑、森や川、点在する中世都市により、古城街道の旅もまたロマンチックで絵になるデスティネーションである。

見どころ

- ハイデルベルクからネッカー川に沿って小さな中世都市と古城が点在。とくにヒルシュホルン（古城ホテル、都市景観）、モスバッハ（木組み家屋の街並み）、ホルンベルク城（古城ホテル）、パート・ヴィンブフェン（中世都市景観）はおすすめ。
- ワインの町ハイルブロンから街道を東に進むと、昔、塩で栄えた美しいシュヴェービッシュ・ハルに到る。さらにローテンブルク、ロココの町アンスパッハを経て、皇帝城が聳えるニュルンベルクへ。
- 旧市街全体が世界遺産のドイツ屈指の美しいバンベルク、欧州王家のゆりかごと呼ばれるコーブルク、ビールメッカであるクルムパッハからワグナーゆかりの宮廷都市パイロイトへ。

1994年にチェコのプラハが新たに加盟し、古城街道の総長は1000kmとなった。

古城街道
古城街道協会



© Walkins Image_Tomas Hajek

ゲーテ街道 = 音楽街道 Goethestrasse

ゲーテ街道はクラシック愛好家にとって宝の山だ。音楽家ゆかりの名所が多数あり、著名な劇場で世界的アンサンブルの演奏を味わえる。アイゼナッハで生まれのバッハはライプツィヒで亡くなるまでほぼこの地方で一生を送った。他にも、メンデルスゾーン、ロベルトとクララ・シューマン、ワーグナー、マーラー、グリーグ、ウェーバー、Rシュトラウス、リストなど、ゲーテ街道はたくさんの音楽家に出会えるルートだ。世界遺産のヴァルトブルク城はワーグナーのオペラ、タンホイザーの世界そのものだ。ドレスデンのゼンパー歌劇場やライプツィヒのゲヴァントハウスで最高峰の演奏を、そして世界最古のトーマス教会少年合唱団や聖十字架合唱団の声をその教会で体験できる。ゲーテ街道はまさに音楽街道といえるルートである。詳細は特集頁「[ゲーテ街道](#)」を参照。



絵になる木組みの家

木組みの家街道

German Half-Timbered House Road

木組みの家は古城と並んで旅行者に人気のドイツを代表する観光素材のひとつである。北海のシュターデからボーデン湖のメーアスブルクまで約3000kmという広範囲に木組みの家街道が広がっている。同じ木組みの家といっても、時代や地方ごとに様式、色彩、装飾が異なり、その数は10万軒。ロマンチックな木組みの家や格好の撮影ポイントだ。大抵、旅の目的地の近くにこの街道の町が一つは存在するので、「木組みの家街道」という魅力で集客をしてみたいかだろうか。フランクフルトであればヘキスト地区、リンブルク、ヴェッツラー、あるいはシュタナウが近い。

木組みの家街道
ドイツ木組みの家街道協会



© DZT_Manfred Ruthner

雄大な山岳パノラマと伝統文化

ドイツ・アルペン街道

German Alpine Road

南ドイツ国境のアルプスに沿って広がるドイツ・アルペン街道は、ボーデン湖のリンダウとベルヒテスガーデンのケーニッヒ湖の東西450kmを結ぶ。中間ではロマンチック街道の終着点フュッセンが合流する。雄大なパノラマとバイエルン地方の色濃い伝統文化、歴史的景観、25余りある古城・宮殿が魅力の休暇を過ごすのに好まれる地方だ。

見どころ

- リンダウ～フュッセン(130km)。ボーデン湖では遊覧船で、古都リンダウから花の島マイнауや世界遺産のライヒェナウ島への島巡りが楽しめる。ボーデン湖からフュッセンに向かう街道沿いには美しいパノラマが広がり、ヒンデラングなど休暇地が点在する。このあたりで、欧州一カーブの多い(106ヶ所) オーバーヨッホ・パスを通る。
- フュッセン～ガルミッシュ・パルテンキルヒェン(70km)。このルートはアルペン街道のハイライトで見どころが多い。中世に交易で栄えたフュッセンや近郊に聳えるルートヴィヒ王の城ノイシュヴァンシュタイン、ホーエンシュヴァンガウ。世界遺産ヴィース教会、フレスコ壁画の家並みが美しいオーバーアマガウとリンダーホフ宮殿。エッタール僧院を経由し、世界的に知られるアルペンリゾートのガルミッシュ・パルテンキルヒェンに入ると、ドイツ最高峰ツークシュピッツェ山は目の前だ。登山鉄道とケーブルカーで名峰を楽しもう。ここからミュンヘンまで85km。ミュンヘンからの小旅行でもこのエリアのスポットは全て押さえたい。
- ガルミッシュ～バート・テルツ～ベルヒテスガーデン(270km)。ヴェルヒェン湖やコッヘル湖を経由し、保養地で有名なバート・テルツへ。歴史的な旧市街は見どころがある。さらに、テーゲル湖湖畔の町ロータッハ・エーゲルン、シュリーア湖、キーム湖に近いアーシャウを進むと、そこはガルミッシュと並ぶアルペンリゾートであるベルヒテスガーデンだ。透明な水を湛えるヴァッツマン山が迫るケーニッヒ湖と聖バートロメー教会が創り出す景観は最高のフォトスポット。ケールシュタイン山(1834m)の頂に立つヒトラーの山荘ケールシュタインハウス(現在はレストラン)からの絶景もこのルートのハイライトで、近郊では岩塩坑見学も楽しめる。ミュンヘンからベルヒテスガーデンまでアウトバーンを使うと150km(約2時間)。



© DZT_Günter Standl

ドイツ・アルペン街道
ドイツアルペン街道協会

自然と伝統風習

黒い森高原街道と黒い森パノラマ街道

Black Forest High Road & Black Forest Panorama Road

ドイツ南西部の黒い森シュヴァルツヴァルトは、南北200km/東西30~60kmのドイツ最大の高原地帯であり、休暇地として人気が高い。ドイツトウヒやモミの針葉樹が創り出す黒い森と数多くの渓谷、広大な草原の間に町村が点在し、黒い森地方独特の農家の建築様式が目を引く。古くからの伝統風習も旅行者の興味を引く。果樹栽培が盛んで、グルメの地として知られる。風光明媚ゆえに黒い森温泉街道、黒い森渓谷街道、ドイツ時計街道など多数の街道がある。

黒い森高原街道 北部黒い森のゲートウェイであるバーデン・バーデンからフロイデンシュタットに至る約60kmのパノラマルートは、高原ドライブを楽しめるポイント。アルデ・ゴットのブランドワインで有名な美しい花の村ザスバッハヴァルデンや、ミシュランの星を持つ有名なレストランが集まる美食の村バイアースブロンへの寄り道はおすすめ。保養地フロイデンシュタットには縦横200m余りのドイツ最大のマルクト広場がある。フロイデンシュタットから黒い森中央部を100km南下し、ハウザッハ経由でティティゼー・ノイシュタットに入ると黒い森パノラマ街道と合流する。

黒い森パノラマ街道 この街道はフライブルクの少し南のヴァルトキルヒあるいはグロッタータールからザンクト・ペーター、ザンクト・メルゲン、ブライトナウ、ヒンターツアルテン、ティティゼーといった有名な休暇地を結び、黒い森最高峰フェルトベルク山(1493m)に至る街道。丘と谷と森、黒い森農家が創る典型的な黒い森のパノラマを満喫できるルート。絵のような村ブライトナウに近いラベンナ峡谷にはその昔ゲータが立ち寄り、マリー・アントワネットがパリに行く途中泊まったホテル・ホーフグート・シュテルネンがある。峡谷には高さ37mの地獄谷高架橋がかかり、その下で幻想的なクリスマスマーケットが開かれる。

黒い森国立公園



© DZT_Leungmo



© Lookphotos_Daniel Schoenen



©Stuttgart-Marketing GmbH

ドイツには13の公認ワイン生産地域があり、それぞれにワイン街道がある。ぶどう作り適した自然に恵まれたドイツワインの産地は、文化や伝統、風習豊かな景勝地だ。

観光街道

ワイン生産地

ドイツ・ ワイン街道

German Wine Road

ワイン街道の中で最も古く、ドイツで二番目に大きな栽培地域プファルツにある街道。ライン河畔のヴォルムスに近いポッケンハイムから仏国境に近いシュヴァイゲンのドイツ・ワイン門まで穏やかなブドウ畑の丘陵とワインの村を通る85km。パート・デュルクハイムのドイツ最大ワイン祭り(9月)とノイシュタットのぶどう摘み祭り(9月末)がハイライト。ぶどう摘み祭りではドイツ・ワイン女王が選ばれパレードがある。ノイシュタットの郊外に聳えるハムバッハ城はドイツ民主主義のゆりかごと呼ばれる歴史的に有名な城。街道は3月から4月中旬にかけてアーモンドのピンクの花で染まり、花見が盛んだ。

ドイツ・ワイン街道

ドイツ・ワイン街道



© Rheinland-Pfalz Tourismus_Dominik Ketz

ザクセン・ ワイン街道

Saxon Wine Route

エルベ上流のピルナから下流のディースバッハ・ゾイスリッツまでの60km。途中、宮殿で有名なピルニッツ、ドレスデン、ラーデボイル、陶磁器のマイセンといったエルベ河畔の観光地を通る。作付け範囲がドイツで二番目に小さいザクセン・ワイン生産地域は、白ワインを得意とし、珍しいゴルトリースリング種がある。マイセン小旅行の際ラーデボイルを見て、かつワインやゼクト体験ができる美しい州立ワイナリーの宮殿ヴァッカーパルトを訪れるとよい。ラーデボイルからSLで絵になる水城モーリッツブルクを訪ねることもできる。

ザクセン・ワイン街道



© Deutsches Weininstitut

ラインガウ・ リースリング街道

Rheingauer Riesling Route

南北を流れるライン川がマインツで直角に西に向きを変え、40kmほど流れるその右岸は、ラインガウとよばれるドイツワイン発祥の地域であり、ここで作られる最高品質のリースリング種はドイツを代表する白ワイン。ツアーでは通常、リュデスハイム観光の後に船でローレイまで下ることが多いが、リースリング街道を組み込むとツアーにより深みが出る。ライン川沿岸の町とリースリング街道の町村をジグザグと繋ぐと全長70kmとなる。その中の2~3のスポットを加えるのがおすすめ。例えば、ワイン醸造で有名なガイゼンハイムでは丘の上に聳えるヨハニスベルク城に立ち寄る。遅摘みと貴腐ワインを発見したメッテルニヒ家の城だ。また、ドイツでもっとも有名なワイナリーの一つで銘醸ワインを試飲し、ライン川の展望を満喫するならヴィンネル村のフォルラーツ城。ライン川畔のバラの町エルトヴィレでは旧市街とバラ園のある選帝侯宮殿を訪ねる。700年に渡りワイン醸造を続け、ライン地方のワインを有名にしたシトー派エーバーバッハ修道院を見学し、州立ワイナリーで試飲する。シュタインベルクの畑は世界的にも有名で抜群のワインができる。

ラインガウ・ワイン



© Deutsches Weininstitut

ポツダム会談75周年特別展

“ポツダム会談1945 – 世界の再編成”

2020年6月23日～2021年10月31日

場所：ツェツィーリエンホーフ宮殿

主催：ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿・庭園財団



STIFTUNG
PREUSSISCHE SCHLÖSSER UND GÄRTEN
BERLIN-BRANDENBURG

1945年夏、ポツダムで戦後の世界の再編成が協議された。

特別展はその歴史的現場でマルチメディアを駆使して当時の模様を臨場感たっぷりに再現する。

2020年は、第二次世界大戦の戦勝国のアメリカ合衆国、イギリス、ソビエト連邦の首脳が集まって行われた会談から75周年を迎える。トルーマン、チャーチル（1945年7月28日からはアトリー）、スターリンはツェツィーリエンホーフ宮殿



© U. S. Army Signal Corps, Courtesy of Harry S. Truman Library/SPSG_Cecilienhof Palace_Potsdam

の丸テーブルを囲んでドイツの将来、欧州と世界の政治と領土に関する再編成について協議した。会談は7月17日に始まり、8月2日に後の「ポツダム協定」として歴史に名を留める「ベルリン三国共同宣言」を採択して終了。これが後のドイツと世界の分割となる冷戦のはじまりです。太平洋戦争終結のために8月6日広島、9日長崎に原爆が投下され、東西強国の核軍備競争が始まった。ポツダム会議の取り決めは今日も世界の政治に大きな影響を与えている。



© SPSG, Potsdam, Schloss Cecilienhof, Konferenzraum, Fotograf W. Pfau

展示会

財団プロイセン宮殿庭園ベルリン・ブランデンブルク (SPSG) は、ポツダム会談75周年に当たり2020年5月1日より11月1日まで特別展をツェツィーリエンホーフ宮殿という特別な場所で開催する。ポツダム会談の経過や決定内容を展示するほか、すべての展示コーナーでは交渉と決議に参加した当事者とともに関係者の見解も紹介される。そのため首脳会談が世界情勢に与えた影響を中立的な立場から事実即して確認できるだけでなく、感情的な背景を垣間見ることができる。戦勝国の抽象的な決定とその後の現実が対比されて展示される。チャーチルやスターリン、トルーマンといった有名な歴史的人物だけでなく、「無名の人物」（原爆被災者、追放者、内通者など）の証言も紹介される。同じ出来事を複数の視点から考察していることもこの展示会の特徴である。

4つのテーマゾーンとその重点：

1. ベルリン会談
–ポツダム会談：「三大連合国」
2. 議題：欧州の再編成
3. 非公式協議：アジアと中東
4. 転換期：1945年以降の世界

マルチメディアを駆使したインパクトの強い展示により当時の雰囲気を生きたかのように再現し、1945年にタイムスリップしたような体験となる。実際に会談が行われた

宮殿の会議室、三国元首の控室のほかに、籐製アームチェアに腰かけた三元首の写真で有名なテラス庭園が初めて展示エリアの一部として公開される。

入場料：14€ / 割引10€

チケット：www.spsg.de

(前売り開始2020年3月、JCBカード対応可)

グループ：オーディオガイドによるツアー
団体(最大20名)

グループ料金：大人160€

学生112€

所要時間：1時間半

グループ予約開始：2019年5月

Eメール：gruppenservice@spsg.de

ホームページ：

www.spsg.de

www.potsdam-konferenz.de



© SPSG_Cecilienhof Palace Potsdam_L. Seidel

世界遺産の プロイセンの宮殿群と庭園群

プロイセンの宮殿と庭園は選帝侯、王、皇帝がベルリンとポツダムを居城地としていた栄光の時代へのタイムトラベルとなる。プロイセン宮殿庭園ベルリン・ブランデンブルク (SPSG) はこの遺産を維持管理公開する財団。1990年にサンサーシー宮殿から新庭園、ベルリンの孔雀島とグリニケまでユネスコ世界文化遺産に登録された。一級の芸術品である宮殿群は重要な歴史が創られた場所でもある。たとえばツェツィーリエンホーフ宮殿では1945年夏にポツダム会談が行われ、戦後の再編成が協議された。

プロイセンの宮殿群庭園群は300余りの建造物、約800haの庭園からなり、37の建物が公開されている。ポツダムではサンサーシー宮殿や新宮殿などが博物館として見学でき、新庭園ではツェツィーリエンホーフ宮殿と庭園のほかベルベデーレ宮殿やシュロス庭園のパーベルスベルク宮殿が有名だ。ベルリンにはシャルロッテンブルク宮殿と庭園、シェーンハウゼン宮殿と庭園、グリニケ宮殿、孔雀島、グラーネヴァルトの狩猟館がある。そのほか郊外のラインスベルクの宮殿と庭園等は素晴らしい文化景観への小旅行となる。

B2Bサービス専門のセクションを設けています：

コンタクト先：gruppenservice@spsg.de

URL：www.spsg.de/en/travel-trade/marketplace/

グリム兄弟ゆかりの地を訪ねて ドイツ・メルヘン街道



© BTZ Bremer Touristik-Zentrale_Jonas Ginter

ドイツ・メルヘン街道は1975年に創設された有名なグリム兄弟のゆかりの地を訪ねるルートです。大小50余りの童話から抜け出したような町や村と選り抜きのホテルがある人気の高い休暇街道です。フランクフルトに近いハーナウからブレーメンまでグリム兄弟が過ごした町やメルヘンの故郷が連なるすばらしい旅行ルートになっています。ドイツの文化景観や自然の中に多くの話を発見し、おとぎ話に出てくるようなご馳走を味えます。童話に登場する人物や動物にも実際に会えます。メルヘン、説話、伝説の世界への旅にご案内します。

ドイツ・メルヘン街道 Deutsche Märchenstrasse Kurfürstenstr.9, 34117 Kassel
info@deutsche-maerchenstrasse.de

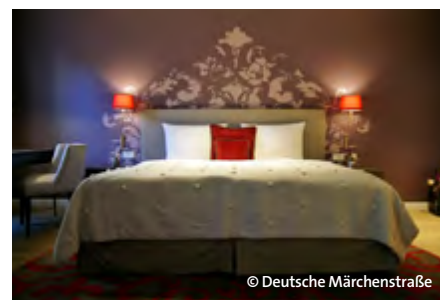
ドイツ・メルヘン街道

マールブルク ホテル・ヴィラヴィータ・ローゼンパーク Marburg – Hotel Vila Vita Rosenpark

フランクフルトから北にほんの1時間、アクセスのよいマールブルクは豊かな歴史のあるグリム兄弟が大学に通った町です。

観光、休暇、ウェルネスのホテルとして市内のトップアドレスである当ホテルは、町の中心というロケーションでありながら静かで、モダンなチャームをもち、優れたデザイン

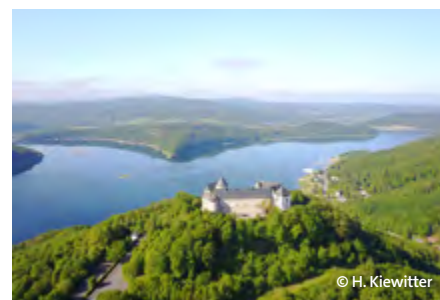
と居心地のよさを誇ります。194ある客室はシックで親しめる内装、広さ1000㎡の素晴らしいスパエリア、多彩なダイニングを楽しめるレストラン。サプライズメニューにはグリム兄弟に因んだ「お膳や、食事の支度を」メニューがあります。



ヴァルデック Waldeck

海拔420mの山あいエーダー湖畔にある歴史的な木組みの家の町ヴァルデックは、エーダー湖の真珠と呼ばれる観光と休暇の町です。町と地方の名前は、遠くからも見える騎士の「ヴァルデック城」から付けられました。騎士や小人にまつわる逸話や物語にはこのヴァルデック城が登場します。現在は、美味

しい食事が楽しめる4星古城ホテルとして親しまれ、隣接するケラーヴァルト・エーデルゼー国立公園散策への起点となっています。ヴァルデックの郷土料理やビアガーデンを楽しみたい方には、町中や近郊の田舎風のレストランがオススメです。



ヴォルフハーゲン Wolfhagen

ハービヒツヴァルト自然公園にあるヴォルフハーゲンは、木組みの家が美しい歴史ある町で、グリム童話の町として知られます。皆様ご存知の「オオカミと七匹の子ヤギ」のふるさととして、ヴォルフハーゲンはメルヘン街道に加盟しています（独語で狼はヴォルフ）。

美しい木組みの家の町、グリム童話をモチーフにしたメルヘン噴水、旧市庁舎と旧衛兵所が立つマルクト広場、ゴシック様式の聖アンナ市教会、ロマンチックな小路と小さな広場がみどころです。



カッセルのホテル・グーデ Kassel - Hotel Gude

メルヘン街道の中心カッセルにある三世代続く家族経営のホテル・グーデは、従来のチェーンホテルとは対照をなす居心地のよい親しめる雰囲気のホテルです。壁や床などにグリム兄弟を彷彿とさせる格言と名言の装飾があるので、ホテルでグリム発見の旅ができるとい

う具合。地元はもとより地元以外でも評判の当ホテルのレストラン「プフェアーミュレ」では新鮮な素材を使った郷土料理やインターナショナルな料理をお楽しみいただけます。



バート・ゾーデン=アレンドルフ Bad Sooden-Allendorf

バート・ゾーデン・アレンドルフは、のどかな中級山岳風景に懐かれたヘッセン州の塩鉱泉保養地です。北ヘッセン地方の特徴のあるホーアー・マイスナー山地の麓、ゆったりと流れるヴェラ川の畔にありロマンチックな美しい木組みの家が並んでいます。穏やかで明るい風光はメルヘンそのもの。小高い丘陵の

ホーアー・マイスナーは「ホレおぼさん」の故郷、グリム兄弟ゆかりの地です。シューベルト作曲の「菩提樹」の門前の泉は、菩提樹とともにこの町の入り口にあります。



ウィッツェンハウゼン Witzenhausen

ドイツで最も小さい大学町ウィッツェンハウゼンは、ドイツ最大かつ最古のサクランボ栽培の中心地。ロマンチックなヴェラ川渓谷がある町です。150年前から町のシンボルはサクランボ。4月末から5月初めにかけて約15万本の桜が白い花を付けると、「サクラン

ボの町」という呼ばれるこの町は最も美しい姿を魅せてくれます。



ドイツ・メルヘン街道

ハン・ミュンデン Hann.Münden

6世紀の期間をかけて建てられた700軒余りの木組みの家が創る中世の景観は印象的です。フルダ川とヴェラ川が合流しヴェーザー川となる3本の川の町と呼ばれ、塔、ヴェルフェン城、ヴェーザールネッサンス様式の市庁舎が昔を偲ばせます。

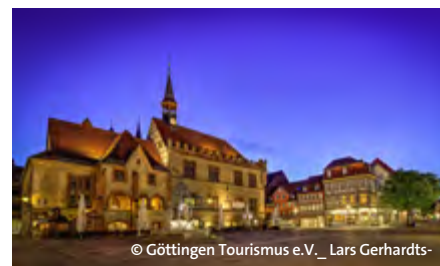
1727年にハン・ミュンデンで没した伝説的なバロック時代の医者ドクトル・アイゼンバルト「鉄ひげ博士」の足跡をあちこちで目にします。水に囲まれた旧市街で、ミュンデン自然公園で、ゆったりと旅を満喫できます。



ゲッティンゲン Göttingen

町の中心部には1千年余りの歴史の跡が刻まれ、教会や大学建物、木組み家屋などの名所旧跡があります。1829年から1837年までグリム兄弟はゲッティンゲン大学で教鞭をとりました。教授の務めと図書館員としての仕事のほかに、兄弟

はここで数多くの重要な出版物を完成させました。「ドイツ語文法」、「キツネのライネケ」、「ドイツ神話学」、「子供と家庭のメルヘン集」第3版などです。



フルステンベルク宮殿博物館 Museum Schloss Fürstenberg

風光明媚なヴェーザーベルクラント地方にあるメルヘンのようなフルステンベルク宮殿。ここでは3世紀にわたる陶磁器の歴史のタイムトラベルを体験でき、大人も子供も楽しめます。工房は、グリム童話「お膳や、ご飯の支度」からアイデアを得た工夫がなされ

ていて、身近にまた気楽に陶磁器の魅力を感じることができます。展示や実演工房のほか、直売所とカフェ・レストランもあり、誰でも満足できる小旅行デスティネーションです。



ハーメルンのシュロスホテル・ミュンヒハウゼン Hameln-Schlosshotel Münchhausen

プリンセスや男爵になって昔の世界を見たいと思いませんか。それならシュロスホテル・ミュンヒハウゼンがぴったりです。ネズミ捕り笛吹男の町ハーメルン手前に、有名なほら吹き男爵ミュンヒハウゼンの祖先が1570年に建てた華麗なルネッサンス様式の宮殿です。450年前に建てられた城壁の裏に立つチャーミングな五つ星の上級ホテルは、

上品な客室68室、3つのレストラン、800㎡のスパ設備を備え、18ホールのゴルフ2コースが隣接しています。ハーメルンで笛吹男の伝説を探ったり、ヴェーザーベルクラント地方の7つの城を観光したり、近くの町ボーデンヴェルダでほら吹き男爵についてもっと詳しく調べたり、いろいろな小旅行ができます。



ネズミ捕り笛吹男の町ハーメルン Rattenfängerstadt Hameln

人口6万人のハーメルンはヴェーザーベルクラント地方の経済と観光の中心地。ネズミ捕り笛吹男の伝説を通じてヴェーザー川の畔のハーメルンは世界的に有名になりました。16世紀から18世紀に建てられた立派な砂岩造りや木骨組みの家が並ぶ旧市街では、至る

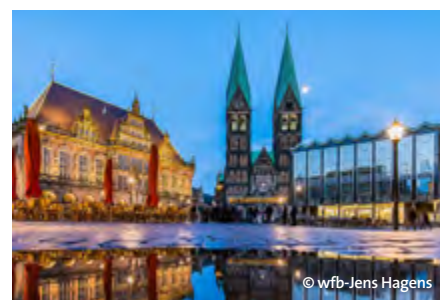
所でこの伝説に出会えます。まだら服を着た笛吹男に出会えるかもしれません。



自由ハンザ都市ブレーメン Freie Hansestadt Bremen

メルヘン街道の旅のフィナーレを飾る町はブレーメンです。世界文化遺産の市庁舎とブレーメンの音楽隊で有名な歴史ある町です。4月から9月までの毎日曜日に大聖堂中庭で野外劇が上演されます。ブレーメンはメルヘンの町である一方、ドイツで11番目の都会として世界に向かって開かれた町でもありま

す。航空宇宙分野でヨーロッパの中心であることは意外と知られておらず旅行者を驚かせています。皆さま是非ブレーメンへお越しください。



美味しいドイツ

ドイツの旅の面白さのひとつは地方文化の多様性。それは食にも表れ、郷土料理と旬をととても大切にする。世界を飛び回るドイツ人の舌は肥え、ドイツは星付きレストランの多さで欧州で2番目となっている。ワインの生産地域、地方料理、グルメ料理、そしてビールからドイツ旅行の食の楽しみに迫る。

ドイツの美食



© Deutsches Weininstitut, Thomas Hartmann

ワイン産地は観光地

13あるドイツの公認ワイン生産地域は例外なく観光・休暇に適した自然と文化が調和した景勝地である。本章では各栽培地域を紹介し、秘めたおすすめのレストランに光を当てる。テロワールやブドウの種類などの詳細は、ドイツ観光局URLで得ることができる。

ワイン生産地域 ドイツ・ワイン



世界遺産ロマンチック・ライン

ミッテルライン Middle Rhine

ボンのライン上流からコブレンツやローレライを経てビンゲン手前まで長さ100kmの両岸の地域に当たり、ライン川観光のハイライトである世界遺産のライン渓谷中流上部と一致する。

バッハラッハ 町の名はワインの神バックスに由来。ヴィクトル・ユーゴーが世界一美しい町のひとつと称えたバッハラッハは、ラインロマン主義の中心地。中世のシュターレック城（現在ユースホステル）が聳え、昔のままの市城壁と塔が町を囲み、絵のような旧市街の石畳小路や広場にはスレート屋根瓦と白壁に赤茶の木組みのロマンチックな家が並ぶ。中世には欧州各地へライン川流域産のワインを輸出する交易地として栄えた。城へは聖ペーター教会から階段状の道を上り、途中のゴシック様式のヴェルナー礼拝堂廃墟は、多くのロマン主義者が称えたスポット。城からの眺望は素晴らしい。

ミッテルライン



© Lookphotos_Günther Bayerl

高級リースリング種白ワイン

ラインガウ Rheingau

ライン下りの起点で、世界からの観光客でにぎわうツグミ横丁で有名なリュースハイムがあるライン川右岸の40kmの地域。エーベルバッハ僧院、ヨハニスベルク城、フォルラーツ城などワインにまつわるストーリー豊富なこの地域については、街道の章の「[ラインガウ・リースリング街道](#)」を参照のこと。



ラインガウ
ラインガウのワインの町

赤ワインのパラダイス

アール Ahr

ボンのライン上流20km左岸でアール川が合流する。蛇行するアール川渓谷ではドイツでは珍しく赤ワイン、とくにピノ・ノワールの生産が7割を占める。

バート・ノイエンアール=アールヴァイラー：アールヴァイラーは木組みの家やローマ遺跡がある昔の雰囲気漂うロマンチックな地区、一方バート・ノイエンアールはクアハウス、温泉療養施設、かつての都市貴族の館やカジノがある優雅な高級感あるガーデンシティ温泉地区。ボンやケルンに近いため高級レストランやホテルも多い。

アール
バート・ノイエンアール=アールヴァイラー

多種多様なワイン

ナーエ Nahe

リュースハイム対岸の町ピンゲンでライン川に合流するナーエ川の流域にある栽培地域。土壌が変化に富むため多種多様なワインを生産する。

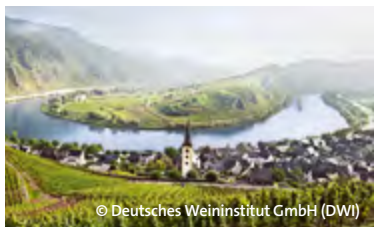
バート・クロイツナッハ：ナーエ・ワインの集散地で有名な温泉保養地。見どころは温泉施設や公園のあるクア界限と旧市街。隣接するバート・ミュンスターも赤い岩壁の景色が印象的な温泉町。かつての濃縮製塩装置は長さ1.1kmあり、現在も塩水をかけて、ミストによるインハレーション効果絶大の空気を流している。マインツより40km。

ナーエ

急斜面ブドウ畑

モーゼル Moselle

蛇行繰り返しながらコブレンツでライン川に合流するまでドイツ国内を243km流れ、急勾配の斜面にブドウ畑があり伝統的にリースリング種白ワインの生産が多い。流域にはローマ時代から近世まで名所旧跡が多く、人気のある休暇地となっている。世界遺産の遺跡のあるドイツ最古の町のひとつトリアーが有名。名城エルツ、および帝国城聳えるワインの町コッヘムについては「絶景」の章を参照のこと。



© Deutsches Weininstitut GmbH (DWI)

ベルンカステル・クース：モーゼル中流の屈指のワイン名産地。市庁舎と見事な木組みの建物が囲む石畳のマルクト広場は絵の様に美しい。ワイン試飲、ロマンチックな旧市街散策や城址からの眺望、そしてクース地区にあるワイン博物館見学がおすすめ。

モーゼル
ベルンカステル・クース

ドイツ最大のワイン生産地

ラインヘッセン Rheinhessen

ライン川畔の町ピンゲン、マインツ、ヴォルムスが囲む三角地。白ワインが主で、輸出が多い。ラインテラスと呼ばれるライン川沿いのオープンハイムやニアシュタイン村のワインは日本にも馴染み。

マインツ：知名度の割にはラインラント・プファルツ州首都でラインヘッセン・ワインの中心地マインツの良さは知られていない。世界的ロマネスク様式大聖堂、必見のグーテンベルク博物館、シャガール作のステンドグラスのシュテファン教会、ライン川下り…そして木組み家屋の多いロマンチックな旧市街でワインを味わいたい。4月～11月中旬毎土曜日にリープフラウエン広場に立つ週市にはワイン屋台が多く並ぶ。

ラインヘッセン
マインツ

ドイツ・ワイン街道にそって

プファルツ Palatinate

ドイツで2番目に大きい生産地域。街道は仏アルザスの国境までの長さ80km。詳細は「街道の国ドイツ テーマのある旅」の「ドイツ・ワイン街道」を参照。リースリング種白の生産が多いが、赤も3割を占め、なかでもドルンフェルダーク種が多い。



© Rheinland-Pfalz Tourismus GmbH Dominik Ketz

ノイシュタット：ロマンチックな木組みの家や古いワインレストランが多い情緒ある旧市街、バロック様式の市庁舎がある歴史的マルクト広場が見どころ。有名なドイツぶどう収穫祭は10月の2週間行われ、醸造業者パレードはドイツ最大。またドイツ・ワイン女王選出のイベントも9月にここで催される。山の頂に聳える“ドイツの民主主義のゆりかご”と呼ばれるハムバッハ城は、ドイツ史の重要スポット。1832年5月末、ハムバッハ祭りは統一と自由を求める反絶対王政反ウィーン体制の大集会となり、現国旗の原型となる黒赤金の三色旗が振られた。年中見学可、展示あり、有料。眺望最高、レストランあり。

プファルツ
ノイシュタット

男性的なワイン

フランケン Franconia

フランクフルトの東、蛇行するマイン川に沿って生産地が続く。ロマンチック街道のヴェルツブルクは世界遺産のレジデンツ宮殿のホーフケラー（宮殿セラー）、伝統の慈善団体が造るワイン、ゲーテが愛飲したシュタインの畑のワインなど知られている。丸い平べったいボトルも独特。味は男性的でコクがあり、とくに白のシルヴァーナ種と赤のシュペートブルグンダーク種が好まれている。



© Getty Images_Tomekbudujedomek

ミルテンベルク：イブホーフェンやフォルクアハなど著名なワイン村が多いが、マイン川の真珠と呼ばれるミルテンベルクは、ドイツで最も美しい小さな町のひとつとしてインスタグラムのホットスポットともなっている。マルクト広場を囲む見事な木組みの家並みのアンサンブル、歩行者天国に立つ旧市庁舎やドイツ最古のホテル・レストラン「ツーム・リーゼン」(巨人亭、現在は地ビール・レストラン)は絵になる。中世の町は市城壁と城門で囲まれ、町を見下ろすミルテンベルク城にはイコン博物館がある。隣接するピュルクシュタットはフランケン赤ワインの産地として特に有名で、著名なワイナリーが複数ある。

フランケン
ミルテンベルク

赤ワイン生産量はドイツ

ヴュルテンベルク Württemberg

ネッカー川とその支流流域の生産地で、中心はシュトゥットガルトとハイムブロン。赤ワイン生産が7割を越え、その生産量はドイツ。トロリンガー種やランベルガー種という日本に馴染みの薄い赤がある。赤と白を混醸造したロゼのシラーワインは特産品。この地域のワインは日本であり見かけないので、現地では試飲を組み込みたい。

エスリングゲン：シュトゥットガルトから15kmにぶどう山に囲まれ、かつて帝国自由都市として栄えた中世景観が美しいエスリングゲンの町がある。多数の文化財指定の歴史的建造物や200軒の木組みの家屋は見応えがある。クリスマス市と中世市も全国的に評判。現存するドイツ最古の1826年創業のゼクト醸造所ケスラーも訪れてみたい。

ヴュルテンベルク
エスリングゲン

もっとも早く春が来る街道

ヘッシェ・ベルクシュトラッセ (山の道)

Hessische Bergstrasse

大学町ダルムシュタットの南からハイデルベルク郊外まで80km、オーデンの森山地の麓を通るローマ時代からの街道沿いの地域で、最も小さなワイン生産地域。山の頂には古城、麓には点々とワインの村が散在する。フラン



クフルトからハイデルベルクへの100kmは高速道路を急がず、少しの寄り道で絵のようなワインの村や古城を観光できる。世界遺産のロルシュ修道院の王の門もこの街道上にある。

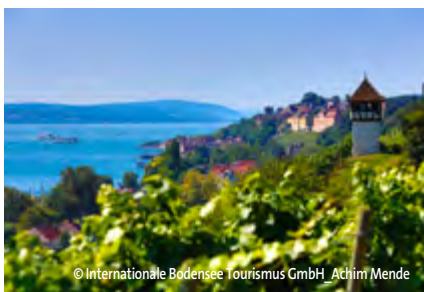
ヘッペンハイム：見事な木組みの家屋が旧市街の中心のマルクト広場を囲む。ぶどうの丘の頂には17世紀の古城シュタルケンブルク登え(現在ユースホステル)、塔やレストランのテラスからの眺望がすばらしい。

ヘッシェ・ベルクシュトラッセ
ヘッペンハイム

グルメの土地のワイン

バーデン Baden

ドイツでもっとも南に位置する生産地域で南北400kmに細長くライン川に平行して伸び、バーデン・バーデンやフライブルク、黒い森の西麓、ボーデン湖といったよく知られた地名が見られる。9つの栽培地区があり、それぞれに特色あるワインが生産されている。



メーアスブルク：オーストリア、スイスに接する休暇地域ボーデン湖の景勝地。絵本から抜け出たようなカラフルな中世の木骨組家並みがぶどうの丘に広がる。ドイツ木組みの家街道の起点。中腹にはバロック新宮殿、上にはドイツ最古に属する騎士の旧城が聳える。自慢の味は名産のバーデン・ワインとボーデン湖鱒。花の島マイナウや中世の出島の港町リンダウ、コンスタンツ市、世界遺産のライヒェナウ島など世界的見どころが近くに多数ある。

バーデン
メーアスブルク
マイナウ島

エルベ川の高級白ワイン

ザクセン Saxony

ドレスデンから下流30kmにある陶磁器の古都マイセン、上流30kmにある絶景バスタイヤの観光起点ピルナまでのエルベ川南斜面にブドウ畑が連なる。栽培面積は小さく生産量も少ないが優れた高級白ワインが造られる。



ラーデボイルを起点に：ドレスデンの門と言われるワインの町ラーデボイルを起点に面白いツアーが企画できる。白眉はザクセン州立ワイナリーのシュロス・ヴァッカーバルト。バロック宮殿とテラス風ブドウ畑、庭園、近代的なワインとゼクト醸造所が素晴らしいアンサンブルを創る有名な体験ワイナリー。ラーデボイルには多数のワイナリーがあるが、愛好家には1401年創業のホーフレスニッツ・ワイナリーがおすすめ。公認のザクセン唯一のエコワインを作る。歴史的な建物にはワイン博物館も入り、ザクセン・ワイン街道の中央情報センターとなっている。醸造所見学、試飲可能。

ラーデボイル郊外10kmにはザクセン選帝侯の絵のような水城モーリッツブルクがあり、ドレスデンからの小旅行スポットだ。ラーデボイルとモーリッツブルク間には1884年創業の蒸気機関車狭軌鉄道レスニッツ・グルントバーンが毎日数便運行し、所要時間は片道30分弱。ドレスデン/マイセン旅行は上記要素をひとつ加えれば一味違うツアーとなる。

ザクセン
ヴァッカーバルト
モーリッツブルク宮殿
レスニッツ・グルントバーン

ザーレ・ウンストルート Saale-Unstrut

ザーレ川とウンストルート川の狭い峡谷にあるクオリティ・ワインができる最北端栽培地。伝統的に辛口のワインを生産されている。ナウムブルクやフライブルク、パート・ケーゼンがワインの中心。テラス階段状のブドウ畑と番小屋の景観が特徴的。ちょうどゲーテ街道のライプツィヒとワイマールの間にあるので、ゲーテ街道の旅では必ず味わいたい。

ナウムブルク：欧州中世の重要大聖堂建築として18年に世界遺産に登録された千年の古都ナウムブルクの大聖堂。西内陣の後援者像は貴重な中世芸術作品で、なかでも辺境伯妃ウタの像は中世一の美人と評判。12km離れたフライブルクには東独のスパークリングワインとして有名なゼクト醸造所ロート・ケップヒェン(赤ずきんちゃん)が健在。見学試飲が可能。

ザーレ・ウンストルート
ナウムブルク大聖堂
ナウムブルク





ラントヴェーア醸造所レストラン



アルトミュール自然公園

フランケン地方

フランケン地方といえばチャーミングな町、歴史ある都市、広大な自然公園、鉱泉保養地、ヘルスリゾートとなりますが、加えて多様な食の楽しみがあります。歴史愛好家やアクティブな休暇を過ごしたい方が必ず満足できるところです。

フランケン地方はとてもバラエティ豊かなのでドイツのミニチュアと言われます。フランクフルトとミュンヘンの間、バイエルン州の北部にあり、それぞれに特徴のある多くの異なる景色が見られます。立派な建造物と尽きない楽しみがあるフランケンの都市は、他とは比べものになりません。

フランケン地方には4つのユネスコ世界文化遺産があります：ヴェルツブルクのレジデンツ宮殿、ローマ帝国の国境線長城リーメス、パイロイトの辺境伯オペラハウス、バンベルク市街です。ロマンチック街道と古城街道ではローテンブルクやニュルンベルクといった興味深い古都を発見できます。無数の名所旧跡、自然、博物館美術館があり、土地の風習伝統に触れられます。

フランケン地方の発見にはメイン川とメイン・ドナウ運河のリバークルーズという旅の方法もあります。フランケン地方の旅の喜びは食にあり。醸造所の密度がドイツのフランケン地方の地ビールと有名なフランケン・ワインはぜひ味わいましょう。

旅行業向けサービス

- ファムトリップ
- フランケン地方フォトギャラリー (ダウンロード用): <https://medienservice.frankentourismus.com/subjects/pictures/>
- 資料(プリントおよびオンライン)
- パッケージの開発およびツアー相談

インフォメーション:

フランケン観光局 Franconian Tourist Board
担当: Jörg Hentschel
E-Mail: joerg.hentschel@frankentourismus.de
Website: www.frankentourismus.com



バンベルク



ビールの国

ドイツには1500の醸造所があり、6000種類のビールが造られている。ドイツは2016年にドイツ・ビール純粋令500周年を大々的に祝った。1516年に定められたビール純粋令の伝統は今も守られ、ドイツのビールの特色となっている。

ゲーテが愛した黒ビール

ワイマールに住む文豪ゲーテは、晩年ワイマールの東65kmのバート・ケストリッツで醸造されるケストリッツァー・シュヴァルツビア(黒ビール)を愛飲した。1543年創業のドイツ最古の黒ビール醸造所である。宰相ビスマルクもこのビールのファンであった。艶やかな黒色と麦芽ローストのアロマが特色。ゲーテ街道やテューリングン州でよく目にする。

バート・ケストリッツ
ワイマール

ルターの活力 ボックビール

2017年にドイツは宗教改革500周年ルターイヤーを祝った。アイベックの町で造られるビールをルターは好んで飲み、1521年のウォルムス帝国会議のときに「最高の飲み物はアインベッカー・ビールと呼ばれる」と述べた記録がある。結婚式にはヴィッテンベルク市から一樽を贈られた。アインベックはハノーファーの南75kmにある有名なビールの町。度数の高い高品質のビールを13世紀に醸造、輸出し、ハンザ同盟都市として繁栄した。17世紀には、バイエルン王がボックビールとして発展させた。元祖ボックビールは1378年創業のアインベッカー醸造所で生まれ、今も世界中に輸出されている。なおアインベックは150軒余りの木組みの家の美しい中世的都市である。

アインベック

ルートヴィヒ王ビール

ノイシュヴァンシュタイン城を築いたルートヴィヒ二世のヴィッテルスバッハ家はバイエルン地方に800年も君臨した家系でビールとは縁が深い。バイエルン王は1516年にビール純粋令を發布し、1810年の皇太子結婚祝いの祭りが後のオクトーバーフェストになった。1260年創業のケーニヒ・ルートヴィヒ醸造所は現在、騎士の祭りで有名なカルテンベルクの城内にあり、最後のバイエルン王のひ孫のルートポルト王子が経営者。フッセンやミュンヘンを訪ねたら一度は王家の紋章ラベルの付いたビールを試したい。

カルテンベルク騎士の祭り
ヴィッテルスバッハ博物館

人気1位 黒い森のピルス

230年の伝統ある黒い森南部にあるルートハウス州立醸造所で造られるピルスビールは、大手を抑えて人気ランキングトップ。黒い森民俗衣装の少女とモミの木の松かさの可愛いラベルで、黒い森の軟水とハラータウ産アロマホップを使うバランスの取れたピルスと苦みのあるタネンツェブレ・ピルス(モミの木松かさ)が好評。黒い森パノラマ街道の景勝地ティティゼー・ノイシュタットから南に25km。醸造所見学可、ホテルレストランあり。

ルートハウス州立醸造所

ドイツのグルメシーン Culinary Germany

世界を飛び回るビジネスマン、世界一旅行好きなドイツ人、複合文化によりドイツのグルメシーンは変わり、ダイニングを楽しめる旅行地となった。ドイツにはフランスに次いでミシュランの星付きレストランが多いのもその証。三ツ星10、二ツ星38、一ツ星261の総計309のグルメレストランがある。地域別にみると昔から料理に定評のあるバーデン・ヴュルテンベルク州（州都シュトゥットガルト、黒い森、バーデン・バーデンなどのある州）が群を抜き、バイエルン州とケルンやデュッセルドルフのノルトライン・ヴェストファーレン州が続く。料理の方向は仏と伊、中欧をベースにしたトラディショナルやクラシック、モダンな創作料理、自然志向、アジア料理とのフュージョンなど多様化し、ベジタリアン星付きレストランも出てきた。気楽にカジュアルに行ける高級レストランも増えつつある。ドイツ観光局のホームページは40軒余りのグルメレストランを紹介している。

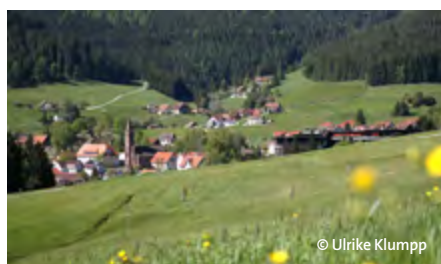
ドイツの美食



© Traube Tonbach_René Riis

バイアースブロン村はグルメの首都 Baiersbronn

黒い森国立公園にある人口2万に満たないバイアースブロンにはミシュランの三ツ星レストランが2軒、一ツ星が2軒と計8つの星が輝き、世界にその名を轟かしている。スターシェフのハラルト・ヴォールファールトは、この村のトラウベ・トーンバッハホテルの



© Ulrike Klumpp

シュヴァルツヴァルト・シュトゥーベを三ツ星レストランに押し上げ、25年間三ツ星を守り続け、30人以上のスターシェフを育て上げた伝説的人物。現在はシェフのトルステン・ミヒェルが三ツ星を維持している。同ホテルのケーラー・シュトゥーベは一つ星。有名なクラウス＝ペーター・ルンブ率いるホテル・パライスのグルメレストラン・パライス（三ツ星）、ホテル・ザックマンのレストラン・シュロスベルク（一ツ星）も国内外で高い名声を得ている。黒い森の地方色豊かな雰囲気と郷土料理であればホテル・トラウベ・トーンバッハのパウエルン・シュトゥーベやホテル・パライスのドルフ・シュトゥーベがよい。同ホテルのカミン・シュトゥーベはバーデ

ン料理。バイアースブロンは黒い森高原街道（街道の国ドイツ参照のこと）に近い休暇地で、すべてのカテゴリーの宿泊施設、レストランがあり、ハイキングやサイクリングの天国である。近郊に見どころが多く、フロイデッシュタット（8km）、天空の城ホーエンツォレルン（66km）、ヘッセの町で木組みの家並み美しいカルフ（55km）、バーデン・バーデン（46km）、ドイツ観光トップ100の1位にランクされるテーマパークのオイローパ・パルク（95km）、シュトゥットガルト（95km）がある。

シュヴァルツヴァルト・シュトゥーベ
パライス
シュロスベルク



© Hotel Traube Tonbach_René Riis



© Traube Tonbach_René Riis



© Traube Tonbach_René Riis

フランクフルトでグルメ Frankfurt

国際金融都市フランクフルトには9軒の星付きグルメレストランがある（二ツ星1軒、一ツ星8軒）。植物園パルメンガルテンに隣接する魚料理を得意とする二ツ星ラフルーフ。外交官邸地区にある優雅なヴィラ・メルトン、野菜料理のセブン・スワンズ、カルメル・グ

レコなど。市中心部にあるミシュランプレートが付いている地中海・欧州料理のメディチ、近くのハイマート、水圧ポンプ場建物にあるドルックヴァッサー・ヴェルケは評判がよい。
レストラン・ラフルーフ
フランクフルトのグルメレストラン



© Getty Westend61_Westend61

ラインの古城で二ツ星

ラインワイン名産地ラインガウのガイゼンハイムにあるブドウ畑に囲まれた古城ホテル・シュヴァルツェンシュタインのグルメレストランでは有名なスターシェフのニルス・ヘン

ケルが創作料理に腕を振るう。メニューはフロラとファウナの二種。ホテルには別に洗練された郷土料理のブルク・レストランとワイン・グリル・レストランがある。客室数

51。フランクフルトから60km。近くに銘醸ヨハニスベルクやエーベルバッハ僧院、ワイン産地で有名な町、リュエデスハイムがある。古城ホテル・シュヴァルツェンシュタイン



©Burg Hohenzollern_Roland Beck

天空の城 ホーエンツォレルン城

荘厳な絶景

南西ドイツにはドイツで最も知られている城のひとつであるホーエンツォレルン城が荘厳な姿を見せています。円錐形の山頂に城が雲海に浮かぶ景色はまさに絶景です。城からの眺めは素晴らしく、文化と芸術とドイツの歴史が肌で感じられ、自家醸造のプロイセン皇子ビールが飲める楽しみもあります。

ホーエンツォレルン城の歴史

ホーエンツォレルン城はホーエンツォレルン伯、プロイセン国王、そしてドイツ皇帝の代々の城です。王家は約1000年前に興り、ツォラーベルク山の上に城がありました。15世紀に最初のホーエンツォレルン城は戦争で壊されましたが、すぐに再建されました。18世紀には砦は見捨てられ廃墟となりました。19世紀にプロイセン国王フリードリッヒ・ヴィルヘルム四世は、王家の出身城を以前にもまして大きく美しくロマン派の理想にならって新ゴシック様式で今日見られる形で再建しました。城は現在もホーエンツォレルン家の個人所有です。

城内見学では歴史、逸話、芸術、建築、王家の生活などを知ることができます。絢爛豪華な伯爵の間、青の間と並んで騎士の甲冑武具、プロイセン王の王冠、フリードリッヒ大王の命を救った有名なたばこ入れを展示する宝物殿は、とくに興味を引きます。

フリードリッヒ大王は皇太子の時に父王の命でビール醸造を習得しました。大王の子孫、例えば皇帝ヴィルヘルム二世もビールを重要視しましたが、王家はそれまで自分のビールは持っていませんでした。本家の長の役職を務めるプロイセン皇子ゲオルク・フリードリッヒは2017年にプロイセン・ピルスナー・ビールの醸造に着手し、自身も醸造開発に関わりました。ホーエンツォレルンのビールは個性的で、味は風味があり心地よい苦味があります。ホーエンツォレルン城のレストランで樽からタップした新鮮なビールをご賞味いただけます。このビールに合った美味しい郷土料理はシェフが腕を振ります。夏には城のビアガーデンがオープンし、王家の菩提樹の木陰で飲むプロイセン・ピルスナーの味は格別です。この味を旅行中にも、という方には売店で6本入りをお求めいただけます。



©Burg Hohenzollern_Roland Beck



©Burg Hohenzollern_Roland Beck

開館：通年

11月1日～3月15日 10時～16時30分

3月16日～10月31日 10時～17時30分

www.burg-hohenzollern.com

Tel: +49 (0) 7471-2428

旅情報

アクセス

車：シュトゥットガルトから65km、1時間。フランクフルトから265km。

鉄道：シュトゥットガルトからテュービンゲン経由ヘヒンゲンまで1時間強。ヘヒンゲン駅からバス便あり。タクシー利用おすすめ。城下駐車場から城門まで徒歩30分。シャトルサービスあり。
(入場料、シャトルバス、ガイドツアー、クリスマスマーケット等行事などの情報は上記ホームページ参照、英独)

祭り

伝統、風習、ふれあい



お祭りやイベントは旅の大きな楽しみ！伝統と風習が引き継がれるお祭りは、旅行者にとって、その土地の文化や生活が感じられる文化体験であり、人々との触れ合いが生まれる旅の忘れがたい思い出となる。



春を呼ぶ祭り

第五の季節カーニバル Carnival

三大カーニバル

Köln, Düsseldorf, Mainz

カーニバルはドイツ全土で盛んだが、なかでもライン川流域のケルン、デュッセルドルフ、マインツはカーニバルの牙城と呼ばれ、ケルンの規模は最大である。「女たちのカーニバル」に始まり、「バラの月曜日」をはさんで「スマイレの火曜日」までがストリートカーニバル。この間は仮装をした市民で溢れ、街中がパーティ会場と化す。ハイライトはバラの月曜日のパレード。最大規模のケルンでは、このパレードに12000人が参加し、馬の数は300頭、パレード行列は長さ7kmに及ぶ。観客に投げられるスイーツ300トン、花束30万本、チョコレート70万枚、沿道観客は100万人！このパレードが3時間半続く。ケルンでは有料の屋根付き観覧席も用意される。

バラの月曜日：2020/2/24、2021/2/15、2022/2/28

ケルンのカーニバル

デュッセルドルフのカーニバル

マインツのカーニバル

ミュンヘンのファッシング

München

バラの月曜日を挟んで日曜から火曜まで、町の中心マリーエン広場と歩行者天国はさながら屋外の仮装パーティ。ビール醸造所やビアホール、劇場は人々で賑わう。ハイライトは火曜11時にヴィクトゥアリーエン市場で催される伝統の市場女性のダンス。

ミュンヘンのファッシング

幻想的なカーニバル体験

Rottweil

古来の地方民俗風習を受けつぐ南西ドイツのカーニバル（ファスネット）の特色は、全身を覆う風変わりな衣装と不思議な木の仮面。美しい中世の町ロットヴァイルでは、バラの月曜日8時～と翌火曜日8時～、14時～パレードが始まる。道化などの仮装をした4000人の市民が旧市街を練り歩き、他の地方で見られる派手なカーニバルとは全く異なる世界が出現する。ドイツ無形文化財。シュトゥットガルトより南西95kmに位置する。

ドイツ最大の春祭りゾマーゲヴィン

Eisenach

イースター前の3週間に開かれるドイツ最大の春祭りゾマーゲヴィン。ドイツ無形文化財に指定されるこのお祭りのハイライトはパレードで、1200人の楽隊やフリート、馬車、100頭の馬が町を練り歩く。市内三ヶ所ではファンフェアが開かれ、マルクト広場では夏の女神ズンナと冬の王ヴィンターが口論し、ズンナが勝利し藁人形が燃やされる劇がある。

ゲーテ街道にあるアイゼナッハは世界遺産のヴァルトブルク城、バッハ生家、ルターの家など世界的名所旧跡が多い。

パレード：2021/3/13

ゾマーゲヴィン





時代祭り 中世ロマンにタイムトラベル

© DZT_Francesco Carovillano

ローテンブルクの時代祭り Rothenburg

マイスタートウルンク Master Draught

三十年戦争当時の1631年、旧教軍に包囲され降伏した自由都市ローテンブルクを市長がフランケンワインの一气飲みで救った伝説に基づく祭り。ドイツ無形文化財。歴史劇、中世職人市、羊飼いのダンス、野営など全市街で中世の時代が再現される。ハイライトは日曜日の大パレード。

聖霊降臨祭日曜を挟んで金曜から月曜までの4日間開催。

2020/5/29~6/1、2021/5/21~24、2022/6/3~6

ローテンブルク
マイスタートウルンク

帝国自由都市祭り Imperial City Festival

ローテンブルクは1274年に自由都市権を得て繁栄した。その栄光の時代を再現して祝う祭り。マイスタートウルンク歴史劇も市庁舎で上演される。

各年9月第一週末の金・土・日。

2020/9/4~6、2021/9/3~5、2022/9/2~4

ザッツファイ城 騎士の祭り Burg Satzvey

現在も伯爵が住む美しい中世の水城で、手に汗握る騎士の馬術試合ショーが観戦できる。手工芸品の職人、大道芸人、楽士などによる楽しい中世のマルクト市場や、騎士の野営を体験できる。ケルンの北50km。

聖霊降臨祭と9月第一および第二週末の土日開催。

2021/5/22~24、2021/9/4~5、9/11~12

ザッツファイ城

キンダーツェヒェ子供祭り Kinderzeche

ディンケルスビュール

毎年7月に10日間開催される歴史祭。ドイツ無形文化財。町は三十年戦争で新教側スエーデン軍に包囲されて降伏。塔守の娘ローレが子供を連れて敵将に慈悲を乞い、町が救われた逸話に由来する祭り。城壁と水濠で囲まれた中世の町全体が中世時代に戻る。両日曜に大パレードが開かれ、その他にも、軍の野営、ホールでの歴史劇、広場での職人組合ダンス、中世職人工芸、子供パレード、子供吹奏楽隊、城外の牧場では祭り大テント、移動遊園地など様々なプログラムがある。

2020/7/17~26

2021/7/16~25

2022/7/15~24

2023/7/14~23

子供祭りプログラム(独)
ディンケルスビュール



© Touristik Service Dinkelsbühl_Ingrid_Wenzel

フォルクスフェスト

伝統風習の中で育まれた地方色のある大きな祭りはフォルクスフェストと呼ばれ、ドイツ的な陽気な雰囲気は、旅行者にとって楽しい触れ合いの体験行事となる。広大な祭り会場、巨大なビールテント、移動遊園地、屋台、ハート型スイーツのレーブクーヘンなどが共通の特徴で、地元の人でも旅行者も心から祭りを楽しめる。ここでは夏から秋にかけてのフォルクスフェストに焦点を当てる。

ハノーファー

射手の祭り

Hannover Schützenfest

約500年の伝統ある世界最大の射手の祭りで、120万人のビジターを数える。ハイライトは日曜の射手のパレード。長さは3.5 kmに及び、射手5000人を含む12000人が参加する。

毎年7月の第一金曜日より10日間開催。

2020/7/3~12

2021/7/2~11

開催場所：シュツェン広場

ハノーファー

射手の祭り

キール

キール・ウィーク

Kieler Woche

バルト海に面したシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州都キールで開かれるキールヨット週間。1886年のヨットレースに起源をもつ世界最大のヨットスポーツの祭典で300万人のビジターを惹きつける。4000人のセイラー、船1500隻、うち200隻の外洋ヨットなどが参加。ハイライトは100隻の大型外洋帆船によるパレード。海の祭りは夏祭りに拡大し、20余りの音楽ステージが出現。市庁舎広場などはお祭り広場となる。

毎年6月下旬の9日間開催。

2020/6/20~28

2021/6/19~27

キール

キラー・ヴォッヘ

デュッセルドルフ

ライン・キルメス

Düsseldorf Rheinkirmes

ライン川流域最大のフォルクスフェストの起源は教会縁日（キルメス）。景観の良い広大なオーバーカッセル・ラインヴィーゼに立つ祭りには400万人が訪れる。ハイライトは、ユニフォーム姿の3000人の射手や楽隊、馬車などからなる歴史パレードと最終金曜日の花火。

毎年7月第3週目の金曜日から10日間開催。

2021/7/16~25

デュッセルドルフ

ライン・キルメス

ミュンヘン

オクトーバーフェスト

München Oktoberfest

1810年、現会場であるテレージエン・ヴィーゼで行われたバイエルン王国皇太子の結婚を祝う競馬が起源。祭りは2020年に187回目を迎える。5000~10000人を収容する大ビールテントが17棟並ぶ姿は壮観。バイエルンの民族衣装を着た人が多く見られ、テント内の席は予約で満席となる。少し度数の高いオクトーバーフェスト限定ビールが醸造され、ジョッキは「マース」と呼ばれる1リッターサイズで提供される。

10月第一曜日を最終日とする16日間開催。

2020/9/19~10/4

2021/9/18~10/3

2022/9/17~10/3

オクトーバーフェスト



© DZT_Saskia Wehler

シュトゥットガルト

カンシュタット・フォルクスフェスト

Stuttgart Cannstatter Volksfest

ネッカー川の畔のカンシュタット地区で催されるドイツで第二番目に大きいビール祭り。ビジター数400万人。オクトーバーフェストの一週間遅れで始まる。1818年のヴェルテンベルク国王誕生日に因む収穫祭が起源。9つの大テントではビール以外に地産のワインも多く飲まれる。最初の日曜日に行われる大歴史パレードは見応えがある。

2020/9/25~10/11

2021/9/24~10/10

カンシュタット・フォルクスフェスト



© Stuttgart-Marketing GmbH_Jean_Claude Winkle

秋のワイン祭り



© Stadt Iphofen_Jens Wegener

バート・デュルクハイム (ドイツ・ワイン街道)
Bad Dürkheim

ヴルストマルクト (ソーセージ祭り)

9月第二第三週末 2021/9/10~14、9/17~20

600年の伝統ある世界最大のワイン祭り。ビジター70万人。大テントや移動遊園地あり。

マイセン Meissen

ワイン祭り

9月最終週末 2021/9/24~26

ザクセン最大のワイン祭り。旧市街全体が会場となる。パレードは日曜10時にスタートする。

ベンスハイム (ベルクシュトラーセ)

Bensheim an der Bergstrasse

ベルクシュトラーセ・ワイン祭り

9月第一日曜前日の土曜日より9日間 2021/9/4~12

会場は歴史の旧市街。最初の日曜に醸造業者パレード開催。フランクフルトより南へ65km。

コッヘム (モーゼル) Cochem

故郷とワイン祭り

8月最終週末の5日間 2021/8/26~30

モーゼル流域で最も美しいワイン祭りと評判。1000人によるパレードが日曜10時にスタートする。

シュトゥットガルト Stuttgart

ワインヴィレージ

8月末から9月初旬の12日間 2021/8/18~9/5

中心となるマルクト広場・シラー広場に40のワインブースが出店し、500種のヴェルテンベルクワインが提供される。他にもシュヴァーベン名物あり。市民の出会いの場となるイベント。2021年の開催期間は例年より一週間長い。

マインツ Mainz

ワインマーケット

8月最終週末と9月第一週末の木曜~日曜4日間

2021/8/26~29、9/2~5

市立公園の緑の中に50余りのワイン小屋が立ち、主にラインヘッセン産ワインを提供。ローズガーデンではゼクトの試飲できる。

オーバーヴェーセル (中流ライン) Oberwesel

ワインマーケット

9月中旬の週末2回 2021/9/10~13、9/17~18

マルクト広場で開催され、150のライン産ワインが提供される。パレードは日曜15時にスタート。ラインの花祭り (2021/9/11) には50隻の船団が組まれる。

フランクフルト Frankfurt

ラインガウ・ワインマーケット

晩夏の10日間 2021/9/1~10

食い倒れ通り (フレスガッセ) とオペラ広場に30のラインガウ地方ワイナリーが出店し600種のワインを提供する。

ハイルブロン (古城街道) Heilbronn

ワインヴィレージ

9月の10日間 2021/9/9~19

ヴェルテンベルク産ワインの中心地。市庁舎の周りに30の醸造組合とワイナリーが400種のワインを試飲販売。ビジター30万人。郷土料理あり。テント、ライブ音楽あり。

マイセン磁器工房の世界へ

マイセン磁器は、ザクセンのエルベ川流域の丘陵で生まれたこの地方の伝統と深く結び付き、300年余り前にアウグスト強王が力を傾注して作り上げた文化です。カフェレストラン・マイセン®ではエルベ川流域名産のザクセンの上級ワインをお食事やイベントの際にお試しいただけます。大聖堂、そしてドイツで最も古い城建造物のひとつであるアルブレヒツブルク城が聳えるバロック様式のマイセン旧市街には多彩な文化が集まり、マイセン磁器工房のハウス・マイセン®も徒歩圏内です。

ヨーロッパで最初の磁器工房発見の旅に出ましょう。1710年創設以来、マイセン®は繊細で優美な職人技と無比の製品の象徴となっています。実演工房とマイセン磁器財団博物館でそれを身近に体験できます。見学の後は直営店でのショッピング、カフェレストラン・マイセン®でグルメのひとつをお楽しみください。

職人技を観る

マイセン磁器は、伝統の工匠の技に従い今日に至るまで全て手作りです。ろくろ作業場から下絵/上絵付けまでの製作や型作りなどの4工程の実演から、磁器がどのように作られるのか、いくつものパーツを組み合わせて一つの人形ができあがる様子などを見学できます。実演工房は終日見学が可能で、日本語オーディオガイドで説明されます。(グループ：事前予約、日本語ガイドも可)



マイセン磁器で旅グルメ

ハウス・マイセン®の地階にあるカフェレストラン・マイセン®ではモダンな郷土料理を味わえます。月替わりメニューには、地中海風、ザクセン料理、近隣の食材を使った料理などが載ります。食事のお供には地元ワイナリーのワインとマイセン地ビールがおすすめ。コーヒープレイクやアフターヌーン・ティには、ケーキや焼き菓子、チョコレートなどをお楽しみいただけます。オススメは、マイセン磁器のシンボル「二本の青い剣」をあしらったマイセン・トルテ。料理はすべて最高のマイセン磁器でお出しします。「マイセン・タイムトラベル」と名付けたコース料理に加えて、マイセン磁器を発明した錬金術師に因んだベトガー・コースが新たに登場しました。ベトガー・コースは団体予約が可能ですが、ただし10名までで価格は39€/人です。

磁器博物館

マイセン磁器財団博物館の常設展では、アウグスト強王時代の大きな作品から白鳥がモチーフの豪華な食器セットまで、今まで未公開のコレクションも展示しています。博物館では毎年テーマを決めて特別展を開催しています。現在は「白い黄金」とも称される白磁を生み出したヨハン・フリードリッヒ・ベドガー特別展が開催中。アウグスト強王のために尽くしたベドガー初期の坭器「赤磁器」に焦点を当てます。特別展は入場料に含まれます。



マイセン直営店でお買い物

実演工房と博物館見学を済ませた後は直営ブティックとマイセン・アウトレットへどうぞ。豪華な食器セット、有名なマイセン人形、繊細な宝飾品、プレゼント品、アーティストとコラボした美術品など、マイセン製品をこれほど多く用意しているショップは他にありません。



連絡先

国立マイセン磁器製作所

Staatliche Porzellan-Manufaktur Meissen GmbH

Busucherservice

Tel: +49(0) 3521 468-208 Fax: +49(0) 3521 468-804

museum@meissen.com

www.erlebniswelt-meissen.com/en



オープン

通年 9時~17時
12月24、25、26日休業

入場料 (実演工房と博物館)

大人 12€
子供 6€ (18歳まで)
家族 23€
団体 8€ (20名以上)



クリスマス マーケット

クリスマス前の4週間（11月27日以降の日曜日以降）を待降節アドヴェントと呼ぶが、この時期はドイツ国内に5000ともいわれるクリスマスマーケットが開かれ、ドイツが最も輝く季節だ。日本からもリピーターが増え、新たなデスティネーションが求められている。

ドイツのクリスマスマーケット



© Stadt Annaberg-Buchholz_Christian Dageförde

エルツ山地のクリスマス

Erzgebirge

アナベルク・ブッフホルツ Annaberg-Buchholz

エルツ山地は2019年に鉱山業文化景観が世界遺産に登録された。中でも、アナベルク・ブッフホルツは典型的な鉱山の町の景観を有する町で、クリスマスマーケットと鉱夫パレードで知られている。16世紀建立の聖アンネ教会前の広場で開かれるマーケットの中心には、シンボルとなる大きなクリスマス・ピラミッドが立ち、世界中に愛されるエルツ地方オリジナルのクリスマス装飾品の屋台が軒を連ねる。他にも、ツリー装飾品、人形、木製玩具、キャンドルグッズなどの民芸品や郷土料理、スイーツなど80の屋台が並ぶ。鉱山業や鉱夫をモチーフとするものが多く見られるのが特徴だ。第4待降節の日曜13:30には、クリスマスマーケットのハイライトである鉱夫のパレードが行われる。制服で着飾った鉱夫と楽団1200人余りの行進は圧巻で、パレード後は聖アンネ教会前で楽団のコンサートがある。ドレスデンより西125km。ケムニッツより南へ36km。

クリスマス市 2021/11/26~12/23

鉱夫パレード 2021/12/19

アーヘンのクリスマス市

Aachen

世界遺産に登録される欧州の父カール大帝ゆかりの大聖堂と市庁舎の周りに立つクリスマス市は、ここ数年、欧州ベスト・クリスマスマーケット10選にランクされている。130の屋台が並び、ホットワインとともに名物の焼き菓子プリンテンの甘い香りが漂う。ライン河畔のケルンまで75km、さらにライン川に沿って世界遺産の宮殿のあるブリュールまで18km、さらにベートーヴェンの町ボンまで24km。

2020/11/20~12/23

2021/11/19~12/23

アーヘン

プログラム、鉱夫パレード等


WENDT & KÜHN
Handmade in Germany. Since 1915.

めずらしい体験

緑の羽に11の白いドット。これはヴェント&キューンの世界に知られた伝説の天使たちのオーケストラ。家族経営の工房で製作されるこの美しい人形は、100年余り前からドイツ手工芸を代表するものです。

グリーンハイニヒェンの工房の扉が開き、おもちゃの町ザイフェンでプログラムに参加すれば、ここにしかない木製人形とその深い歴史に触れることができます。ドレスデンから車で約1時間のザイフェンで、お客様はその体験に魅了されることでしょう。

WWW.WENDT-KUEHN.JP
erlebnis@wendt-kuehn.de

CITY BREAK

滞在型プランで 都市を楽しむ

ドイツの大都市は一都市滞在型の旅行商品が造成できるに十分なデスティネーションだ。ミュンヘン、フランクフルト、ベルリン、デュッセルドルフのすぐに使える3~4日間の具体的モデル滞在プランを紹介する。

ドイツの町紹介

躍動する金融都市

フランクフルト

Frankfurt am Main

国際的金融の中心地、見本市の町、空の玄関フランクフルト。ライン川やロマンチック街道、ゲーテ街道などのゲートウェイでもある。ドイツでは珍しく高層建築の多い町だが、2019年に新旧市街が修復再建され、旧市街が広がり観光の魅力が増した。

フランクフルト
フランクフルト



© iStock_SeanPavonePhoto

フランクフルトの4日間

1日目：観光名所はショッピング通りが交わるハウプトヴァッヘ周辺に集中している。ドイツ民主主義のゆりかごとよばれるパウルス教会から中世の中心レーマー広場へ。広場を囲んで新皇帝戴冠式後の祝宴が行われたレーマーと呼ばれる旧市庁舎（1階には観光案内所）、向かい側には一連の木組み家屋が並び、その裏手奥の大聖堂では皇帝選挙と戴冠式が行われた。大聖堂から祝賀会場の市庁舎まで延びるこの戴冠式の道が2019年に完成した新旧市街である。旧市庁舎裏近くのヨハン・

ヴォルフガング・ゲーテの生家ゲーテハウスとゲーテ博物館を見学し、ゲーテ広場から高級ブランド店が並ぶゲーテ通り、さらにレストラン、カフェやデリカテッセンが軒を連ねる通称食い倒れ通りのグローセ・ポッケンハイマー通りやショッピング大通りのツァイルを散策。

2日目：旧歌劇場アルテ・オーパーから歴史的建物のフランクフルト証券取引所へ。取引の象徴である牛と熊の像がある。高層建築マインタワーでは、高さ200mからのパノラマが自慢の54階にある展望台（毎日オープン、有料）がおすすめ。53階のレストランとラウ

ンジも人気がある。現在クローズしているビジターセンターは、2020年春以降見学可。周囲には大手銀行の高層ビルが林立し、カイザー通りのユーロタワー前広場には有名なユーロマークのオブジェがある。（欧州中央銀行本店は東駅エリアに移転。午後はショッピングやパルメンガルテン公園散策、あるいは恐竜で人気のゼンケンベルク自然博物館、世界遺産に登録されたローマ帝国の長城リーメスの城砦を復元した郊外のザールブルクへ。

3日目：マイン河畔に沿って歩くと、旧市街対岸の古いヴィラやモダン建築など26の博物館・美術館が連なるミュージアムの岸と呼



Aschaffenburg

マイン河畔の千年の古都

アシャッフエンブルク

フランクフルトから車で30分の近さにあり、ルネッサンス様式の選帝侯のヨハニスブルク宮殿、世界唯一の古代ローマ風ヴィラのポンペイアヌム、ロマンチックな旧市街、美術鑑賞、10余りある公園と庭園、美しいシュベツァルト山地が魅力です。

表現主義の画家エルンスト・キルヒナーを生んだアシャッフエンブルクは、アートファンにはうれしい町。コルクで造った世界最大の古代建築模型、ルカス・クラナッハ父の収集、2019年にオープンしたクリスティアン・シャート博物館は新即物主義画家シャートの世界最大の収集を誇ります。

市街地のシェーンタール公園のモクレンの林はドイツ最大で、マイン川対岸のシェンブッシュ公園はバイエルン州最古の英国庭園です。

お食事には最も古いレストラン「シュラッペゼッペル」から高級レストランの「エクスレ」まで、飲み物はフランケンワインからビール、アップルワインまで楽しめます。

ドイツアールであれ数日間の滞在であれアシャッフエンブルクは四季を通じて忘れがたい体験となります！



Tourist Information Aschaffenburg

Schlossplatz 2, 63739 Aschaffenburg
Tel: +49 (0) 6021 395800 Fax: 395802
tourist@info-aschaffenburg.de
www.info-aschaffenburg.de

ばれる特異な景観が広がる。なかでも世界屈指のシュテッデル美術館は、中世絵画から現代までの傑作を多数展示（デューラー、レンブラント、フェルメール、モネ、ピカソなど）。現代美術のモダンアート美術館MMKも現代建築物とともに人気が高い（休館：月曜）。ミュージアムをじっくり回るなら、34のミュージアムに入場できる2日間有効のMuseumsufer Ticketがオススメ。グローセ・リッターガッセ通り周辺アルト・ザクセンハウゼンは木組みの家や小路の多い古き下町の雰囲気を残す地域で、アップルワインの居酒屋・レストランが多い。地元の人々と肩を並べて名物アップルワインと郷土料理の夕食を楽しもう。

4日目：フランクフルト発着のエクスカーシオン・バスツアーに参加しよう。世界遺産ライン川、ハイデルベルク、ロマンチック街道、ローテンブルク、ケルン、さらにエルツ

城や天空の城ホーエンツォレルンなど様々なバスツアーがある。個人では、鉄道や船を利用してリュースハイムとライン川下り、あるいはケルン、ハイデルベルク、マインツ、ヴィースバーデン、ヴェッツラーやマールブルクへの小旅行が可能。

旅のヒント

フランクフルト・カード：市内公共交通機関無料（フランクフルト空港含む）、ミュージアム入場料割引（最大50%）、市内ツアー割引、その他割引
料金：1日券10.50€ 2日券15.50€

郷土の味

フランクフルター・ソーセージ：スモークの香りがある細長いポークソーセージ。茹でてマスタード、ホースラディッシュ、あるいはポテトサラダを添えて。

グリーンソース：

7種のハーブのグリーンソースに固ゆで玉子とポテト。ゲーテの好物と言われる。

フランクフルター・リップヒェン：

塩漬けポークロイン、ザウアークラウトとマッシュポテトを添えて。

アップルワイン：

250年前から飲まれているフランクフルトの地酒。陶製のベンベルから大きなコップに注ぐ。

フランクフルター・クラッツ：

バタークリームケーキ。戴冠式の王冠を表す。

ベートメンヒェン：

3片のアーモンドに小さな丸いマジパン。銀行家ベートマン家のビスケットに由来。

地方色豊かな国際都市

ミュンヘン

München

バイエルン州の州都ミュンヘンではこの地方の伝統と風習が色濃く見られ、旅行者にとっても魅力的。ノイシュバンシュタイン城やロマンチック街道、世界遺産の町レーゲンスブルク、バンベルク、アウクスブルクなど魅力ある古都もバイエルンにある。

ミュンヘン
ミュンヘン



ミュンヘンの4日間

1日目：ミュンヘンの名所を巡るバスツアー（約2時間半）で町全体を把握しよう。まずは町の中心、新市庁舎前のマリーエン広場から旧市街を探索。グロッケンシュピール、フラウエン教会、ヴィクトリアリエン・マルクトを散策したらピアガーデンで休憩。歩行者天国、ラグジュアリーなマキシミアン通りでウィンドウショッピングを楽しんだ後は、レジデッツ宮殿見学。ホーフブロイハウスやアウグスティナービアホール、あるいはデリカテッセンのダルマイヤーでの休憩もオススメ。夕食はバイエルン料理がグルメ料理、あるいはビールツアーの参加もおもしろい。

2日目：午前中に夏の離宮ニンフェンブルク宮殿見学。午後はサッカーファンならアリアンツアリーナのガイドツアーがおすすめ（1時間強）。科学技術方面に興味のある方はドイツ博物館、車ファンならBMWワールドとBMW博物館、クラシックファンにはバイエルン国立歌劇場のバックステージツアーなど、旅行者の興味を引くあらゆるジャンルのスポットがある。

3日目：デューラーやルーベンスなどの世界的傑作を展示するアルテ・ピナコテーク美術

館見学（2時間半）。近くの英国庭園を散策し、ピアガーデンで休憩（中国塔あるいはゼーハウス）。午後はショッピング、あるいはノイエ・ピナコテーク、モダン・ピナコテークなどの美術館へ。

4日目：終日エクスカーシオン。バスツアーのプログラムは多彩。ノイシュバンシュタイン城とリンダーホーフ宮殿、ベルヒテスガーデンとケーニッヒ湖、ツークシュピツェ山、ロマンチック街道とローテンブルクなど。鉄道でアウクスブルク（乗車時間30分）、ニュルンベルク（1時間強）、レーゲンスブルク（1時間30分）を観光できる。

旅のヒント

音楽の魅力：バイエルン国立管弦楽団、ミュンヘンフィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送管弦楽団等、国際的なオーケストラのコンサートを楽しもう。気楽にクラシックを味わうなら、クヴィリエ劇場、ニンフェンブルク宮殿でのコンサートがおすすめ。

ミュンヘンカード：市内公共交通機関無料、ミュージアム・市内ガイドツアー・名所等の割引。レストラン・ショッピングでの特典。
料金：大人9.9€より。

ミュンヘン・シティ・パス：市内公共交通機関無料、ミュージアム・市内ガイドツアー・名所・展示館無料（ドイツ博物館を除く）。レストラン・ショッピングでの特典。

料金：大人39.90€より。

*上記カードとパス料金は大人1日用（公共交通は市中心域内有効）。料金は通用期間1、2、3、4、5日および公共交通有効範囲（中心域内あるいは空港を含む広域）の選択により異なる。

郷土の味

白ソーセージ（ヴァイスヴルスト）：

茹でた白ソーセージ。昼前に取るスナック。

レバーケース：

ミートローフ。レバーケース・ゼンメル（サンドイッチ）。

シュヴァインス・ブラーテン：

ローストポーク料理。ダンプリング添え。

ケースシュパッツ：

パスタにチーズをかけ玉ネギを入れてオーブンで焼いた料理。

アプフェルクヒル：

アップルパイ。

ツヴェチケンダーチ：

プラムケーキ。

ミュンヘンのビール

ドイツの首都はトレンドの発信地

ベルリン

Berlin

2020年に統一30周年を迎えるドイツ。再びドイツの首都となったベルリンは、プロイセン時代の文化遺産、東西ドイツ分断の歴史、多数の世界遺産（宮殿庭園群、モダニズム集合住宅群、博物館島など）、音楽や美術が魅力。そして世界のクリエイターが集まり発信する人口350万のダイナミックな欧州都市である。

ベルリン
ベルリン



ベルリンの4日間

1日目：ミッテ地区のアレグザンダー広場からブランデンブルク門まで。70年代の東独時代を偲ばせるアレグザンダー広場。まずはテレビ塔に登りパノラマを収める。その後、赤い市庁舎からシュプレー河畔の古い地区のニコライ界限、対岸に堂々としたベルリン大聖堂、博物館群の世界遺産の博物館島（ベルガモン博物館など）へ。有名なウンター・デン・リンデン大通りからシュロス橋へ向かうと、再建中の宮殿が見える。国立歌劇場からジャンダルメンマルクトへ。コンツェルトハウスを挟んでドイツ大聖堂とフランス大聖堂のアンサンブルはベルリンの美しいスポットの一つ。大通りに戻りコーミッシェ・オーバーからブランデンブルク門へ。冷戦時代は壁があり、門は東ベルリン側にあった。ドイツ統一、東西融和、平和の象徴となったブランデンブルク門周辺は再建が進み、かつての活気を取り戻している。歴史的なスポットである帝国議事堂（連邦議会議事堂）では、議会場を見下ろすガラスドームを見学。近くには連邦首相府がある。分断により無人地帯となったポツダム広場には、統一後ソニーセンターをはじめ国際的建築家による高層建物が立ち、再開発の象徴となる。周辺には絵画館（2点のフェルメール作品やレンブラントなど）やフィルハーモニーが建つ。



© PMSG_André Stiebitz

2日目：ナチスの非道とベルリン分断の歴史にふれる。外国人用の唯一の東西ベルリン国境検問所チェックポイントチャーリー、ドイツのユダヤ人の歴史を展示するリベスキント設計のユダヤ博物館、欧州のユダヤ人犠牲者を記念するホロコースト記念碑、ニーダーキルヒナー通りのテロのトポグラフィ（秘密警察ゲシュタポ、親衛隊、親衛隊情報部の本部があったナチス恐怖政治の本拠地）など。テロのトポグラフィには、ドキュメントセンター展示館と壁の一部がある。

その後は気分を新たに、西ベルリン観光へ。シャルロッテンブルク宮殿に向かい、かつてのプロイセン王国の華麗なロココ様式の宮殿と庭園を観光。有名な長いショッピング大通りクーアフルステンダムの中央となるアデナウアー広場で買い物散策と観光。いずれも地下鉄でアクセス可。このエリアのおすすめは、カイザー・ヴィルヘルム記念教会、タウエンツィエン通り。老舗デパートのカー・デー・ヴェーでは特に食品部門が有名で、イートイン可。世界的に有名な動物園も近く、園内には水族館もある。

3日目：Sバーンのオスト駅下車。もっとも長いベルリンの壁が残るイーストサイド・ギャラリー見物。世界の画家による1.3kmの壁絵ではブレジネフとホーネッカーの「兄弟のキス」は有名。オーバーバウム橋を渡ると新旧ベルリンが混在するクロイツベルク地区。雑貨屋さんやカフェ、多国籍レストランなどが集まるベルクマン通りと市場マルクト・ノインがおすすめ。ミッテ地区のハッケシェ・ヘーフェはサブカルチャー発信スポットの一つ。古い美しい建物中庭をつなぎ、小さい店舗やカフェ、レストラン、劇場などがあり人気がある。

4日目：終日ポツダム観光。ベルリン中心からプロイセン王家の居城の

町、フリードリッヒ大王ゆかりの地のポツダムの中央駅まで30分弱。駅からアルター・マルクト広場、旧市庁舎、ニコライ教会、映画博物館を過ぎオランダ街へ。メインストリートのブランデンブルク通りをブランデンブルク門へ。ベルリンの同名の門より20年古い。ハイライトのひとつ世界遺産のサンサーシー宮殿と庭園、大きな新宮殿や中国館を観光。旧市街に戻り603番のバスで必見の世界遺産のツェツィーリエンホーフ宮殿へ。2020年5月1日～11月1日はポツダム会談75周年特別展開催（詳細はP9参照のこと）。

旅のヒント

ベルリン観光にはホップオン・ホップオフの「シティ・サークル市内観光バス」が便利。日本語オーディオガイド付。ベルリン発着ポツダム市内観光+サンサーシー宮殿入場の半日観光バスあり。

ベルリン・ウェルカムカード：市内公共交通機関無料、200の割引特典、地図付きガイドブックが基本で、有効期間48時間から6日間までの種類あり。ポツダムを含むカード、ベルガモン博物館など30件の入場が無料となるなど、様々なバリエーションがある。

郷土の味

飲み物：

ベルリナーヴァイセと呼ばれるラズベリーまたはクルマバソウのシロップ入り白ビール。

カリーヴルスト（カレーソーセージ）：

焼きソーセージにケチャップとカレー粉を掛けた簡単な立ち食いスナック。

プファンクーヘン：

ジャム入り揚げパン。ベルリナーとも呼ばれる。

ブレッテ：

小型のハンバーグ。他の地域ではフリカデレとも呼ばれる。

ケーニヒスベルガー・クロプセ：

茹でた合挽肉団子のケーパー入りホワイトソースをかけ。

カルプスレーパー：子牛レバーとリンゴ、玉ネギのソテー、マッシュポテト添え。



© DZT_Gerald Hänel

ファッションの町、ライン地方の陽気さ

デュッセルドルフ

Düsseldorf

州都デュッセルドルフはファッションとショッピングの町、日本企業の欧州拠点として知られている。ライン河川港の再開発地区メディアハーフェンはさながらスター建築家の作品展で、トレンドなホットスポットとなっている。旧市街で、エレガントなアベニューで、ライン川のプロムナードで、ライン地方の陽気な人々に触れられる躍動する町だ。ANAは日本とデュッセルドルフを毎日結んでいる。

デュッセルドルフ
デュッセルドルフ

デュッセルドルフの3日間

1日目：ケーニッヒスアレーと旧市街

かつての州議会建物（現、K21州立美術館）から出発し、ファッションナブルなショッピング大通りケーニッヒスアレーに入ると、中央に堀がある19世紀に造られた美しい並木道が広がる。ダニエル・リベスキント設計のショッピングセンターのケー・ボーゲンは、斬新で独特なファサードで目を引く。K20州立美術館から「世界一長いバーカウンター」と呼ばれる飲食店多いアルトシュタット旧市街に入る。ボルカー通り53はハインリッヒ・ハイネの生家（現在は書店）。ライン川に向かい、かつての城の塔シュロストウム（現在ライン航行博物館）が立つブルク広場へ。河畔のプロムナードを散策でき、市民が集まる憩いの広場だ。下流300mに聖ランベルトゥス教会。曲がっている屋根は街の象徴の一つ。ブルク広場から上流に向かいフィルム博物館を過ぎるとカールス広場。平日に市が立ち、ブティックが多いビルカー通りとホーエ通りとともに賑やか。

2日目：メディアハーフェン

ライン塔から出発。高さ234mの展望台から全市を一望。新たな人気スポットのメディアハーフェンは、特異な景観が印象的。ガラス張りの州議会建物から始まり、もっとも目立つ建物はフランク・ゲーリー設計のねじれたような建物群で、デュッセルドルフの象徴のひとつ。さらにポート・イベント・センターや榎文彦設計のマキ・ソリテール、多色のコロリウムなどが多数の現代建築の傑作が建築ファンや若者を引き寄せ、一味違った雰囲気の中で最新のトレンドや飲食を楽しむ人々にぎわう。

メディアハーフェンで現代建築を楽しんだ後は、バロックの世界へ。地下鉄、あるいは郊外電車以南にある有名なベンラート宮殿へ。18世紀に選帝侯カール・テオドルが建てた欧州有数のバロック様式の宮殿と庭園は、市民の自慢であり憩いの場所である。宮殿内見学あり（休館：月曜）。

3日目：カイザースヴェルトへ

町の北10kmにある最も古い伝統ある地区カイザースヴェルトへは旧市街から地下鉄もあるが往路は船がよい。河畔に残る12世紀の王宮跡やロマンチックな木組みの家並みが美

しいカイザースヴェルトは、市民の行楽や外食スポットである。クレメンス広場やマルクト周辺には17,18世紀のバロック様式の家が多い。赤レンガ造りのイム・シフヒェンはミシュラン一星の有名なレストラン。市内に戻りデパートやショッピングアーケードやオフィスの多い歩行者天国シャドウ通りへ。リチャード・マイヤー設計の建物が際立つ。インマーマン通りには日本の企業が多い。

旅のヒント

デュッセルドルフ・カード：市内公共交通機関無料、ミュージアム・市内ガイドツアー等50の施設で割引や無料の特典。24時間、48時間、72時間、96時間の種類がある。

郷土の味

アルト・ビール：デュッセルドルフ元祖の上面発酵ビールで、デュッセルドルフの代表的飲み物。色は赤銅色、味はフルーティでホップの苦みがある。旧市街には老舗醸造元ビアホールが多く、ユーリゲ、シュリュッセル、フクスヒェンなどで気軽に試せる。200mLのグラスは伝統的な円筒型。

世界へのゲート、スマートハブ デュッセルドルフ空港

Düsseldorf Airport DUS

デュッセルドルフ空港はドイツで三番目に大きな空港で、人口密度が最も高いノルトライン・ヴェストファーレン州の世界へのゲートです。周辺100kmの範囲内に1800万人が住む欧州でも最も経済の強い地域にある国際ハブ空港です。約70のエアラインが世界190のデスティネーションを結び、空港利用旅客数は年間2,430万人で、1日平均6万6600人が出発あるいは到着します。

ヨーロッパのゲートウェイ

デュッセルドルフ空港は地理的に欧州の中心というロケーションの良さから欧州域内への移動はもとより、ドイツの一大経済地域の中心にあり近隣への移動にも便利です。デュッセルドルフ空港と市内は、電話またはタクシーでわずか10分の近さ。ターミナルから近郊の町への直通列車も出ています。また、レンタカー各社の窓口があるレンタカーセンターへは徒歩5分。ルール地方は近く、ケルン(57km)、ボン(85km)、アーヘン(98km)といった魅力ある都市や、アムステルダム(222km)やブリュッセル(205km)といった欧州の都市にも容易に行けます。

経済拠点を結ぶ

デュッセルドルフから半径500kmに1億5千万人が暮らすライン・ルール地方は、欧州で3番目に強い経済圏です。これはEU全消費者の3分の1、購買力の45%にあたります。ノルトライン・ヴェストファーレン州では、世界をリードする60余りの見本市が毎年開催され、来訪者は600万人にのぼります。デュッセルドルフ見本市が開催する50の見本市のうちの24はドルツパやメディカと



いった各産業分野専門見本市のトップクラスのメッセです。同州には売上高上位の16企業が本社を置き、大企業だけでなく76万5000の中小企業が集まっています。さらに1万5000の外国企業がここからドイツと欧州の活動を管轄しています。

デュッセルドルフ空港は世界の経済圏を密に結び、例えば東京、ニューヨーク、アトランタ、シカゴ、ドゥバイ、アブダビへは毎日ノンストップ便が飛んでいます。東京成田へはANAが毎日ドリームライナー787-9を運航しています。

多彩なサービス

デュッセルドルフ空港には60の店舗と40のレストランやバーがあり、ほぼすべてのニーズを満たします。多様な飲食やショッピング

他にタックス・リファンドサービス、ラウンジ、VIPサービスがあります。ターミナル中央の便利な場所にあるモダンなDUSコンフェレンス・プラスには、会議・会合ルーム、ボードルーム、ウェブ・コーナー、プラグイン・ワークステーション、3つのフォアアイエ、フレキシブルに借りることができるワークエリアがあります。ターミナルそばにシェラトン・デュッセルドルフ・エアポートとマリタイムの2つのホテルがあります。

デュッセルドルフ空港
Flughafen Düsseldorf GmbH

Tel: +49 (0) 211 421-0

incoming@dus.com

www.dus.com

デュッセルドルフと日本を毎日結ぶ

ANA

ANA
Inspiration of JAPAN

ANAはデイリーでデュッセルドルフと成田をノンストップで最新のドリームライナーボーイング787-9で結んでいます。日本で唯一7年連続「5スター」を獲得しているサービスをご体験ください。

今や日本最大の航空会社に成長したANAは、現在世界81路線、国内120路線へと拡大し成長を続けています。1999年に9番目のメンバーとしてスターアライアンスに加盟し、国際線事業の飛躍的な成長をとげ、その後、ユナイテッド航空、ルフトハンザドイツ航空、その傘下のスイスインターナショナルエアラインズとオーストリア航空とジョイントベンチャー・パートナー提携を結んでいます。ANAグループは2004年に世界で初めて最新

鋭機ボーイング787を発注して大きなニュースとなりました。ANAグループのグローバルプレゼンスは向上し、ローンチカスタマーとして開発をけん引してきました。2016年1月には世界で初めて10万便を突破。787の燃費効率の飛躍的改善が従来の中型機では実現できなかった長距離路線への運航を可能にし、国際線ネットワークの拡充に貢献しています。

現在ANAグループは260機の航空機を保有、2018年度においては5400万人旅客数を記録しました。

ANAは「Inspiration of Japan」のサービスブランドのもと一貫した高品質なサービスを提供しています。2019年も英国SKYTRAX社



が運営するエアライン・スター・ランキングにおいて世界最高評価となる「5スター」を日本で唯一7年連続して獲得しました。また米国のAir Transport World誌より2007、2013、2018年と3度にわたりエアライン・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、これはアジアのエアラインでは初めてとなります。

www.ana.co.jp

人とつながっている自由な都会 デュッセルドルフ

Düsseldorf

デュッセルドルフにいるといつも世界や人々とつながっているように感じます。親近感と地域社会が都会の雰囲気と一体となりユニークな都市感覚を生み、それが旅行者を驚嘆させわくわくさせるのです。もっとも人口が多いノルトライン・ヴェストファーレン州の首都であるデュッセルドルフの強みは、優れた交通の便、最高のインフラと感動的な建築にあります。生活環境の面においても、長年に渡り、世界で高位にランクされてきました(2018年マーサー社調査6位)。

デュッセルドルフのショッピングの魅力は世界に知られています。欧州で最もラグジュアリーなショッピング大通りに数えられるケーニヒスアレーもその一つです。ホーフガルテン庭園に接する有名なダニエル・リベスキント設計のケー・ボーゲンのモールではここだけのショッピング体験が得られます。旧市街アルトシュタットに入ると都会の活気を肌で感じます。レストラン、ホテル、バー、クラブ、居酒屋が密集するこの界隈は、デュッセルドルフ名物である本場のアルト・ビールや文化・歴史を体験できる最適のスペースです。メディアハーフェンはゲーリー設計の建物群など斬新な建築と人気レストランやカフェが

集まるおしゃれスポットになっています。デュッセルドルフほど緑の多い都市は他にありません。都市空間の3分の1が景観保護指定され、緑もとても多いデュッセルドルフは、生活水準が高く、豊かな生活を送れる町としても人気があります。

18世紀に夏の離宮として立てられたベンラート宮殿は、建築と庭園が一体となった美しい景観で、デュッセルドルフの観光の宝石とされる特別な文化財です。

デュッセルドルフ観光局は、旅行業の皆様のパートナーです。観光DESTINATIONとしてのデュッセルドルフのポジションや認知度を上げ、ビジター数と宿泊数を増やすことを目標に活動しています。

デュッセルドルフ観光局 Düsseldorf Tourismus GmbH

Benrather Str. 9, 40213 Düsseldorf
info@duesseldorf-tourismus.de

www.duesseldorf-tourismus.de/en/home/

DÜSSELDORF
Tourismus



© Düsseldorf Tourismus GmbH

世界遺産のロマンチック・ラインへ

KD ドイツ・ライン汽船

Köln-Düsseldorfer Deutsche Rheinschiffahrt GmbH

KD
Welcome on board



© KD_MS_Loreley_Pfalz

“出航！” KDドイツ・ライン汽船の船から険しい岩山に聳える古城に驚嘆し、伝説に包まれたロマンチックなローレライ渓谷の美しさに浸り、世界遺産の卓越した文化景観の魅力を存分に味わいましょう。KDドイツ・ライン汽船は、リュエデスハイムからザンクト・ゴアを經由してコブレンツへ毎日運航する唯一の船会社です。すべての船で無料のWi-Fiをご利用いただけ、ファーストクラスの快適さ、新鮮な素材の食事、ライン特産のワインを体験できます。またデュッセルドルフやケルン、フランクフルト、コッヘムから多数のイベント・クルーズを組んでいます。たとえば楽しいパノラマ遊覧、ロマンチックな花火大会を観るエクスカーション、ライン川沿岸のクリスマスマーケットを訪れるクルーズなどです。

ウェルカム・オン・ボード！

KD ドイツ・ライン汽船
Köln-Düsseldorfer Deutsche Rheinschiffahrt GmbH
Frankenwerft 35, 50667 Köln
Emely.Camaggio@k-d.com
www.k-d.com

おもてなしのアート

リビングホテルズ

LIVING HOTELS

デュッセルドルフ、ミュンヘン、ボン、ニュルンベルク、フランクフルト、ワイマール、ウィーンに計17のホテルを展開するドイツ系ホテルチェーンです。特徴は短期滞在向けホテルタイプの部屋と中長期滞在も可能なアパートメントタイプの部屋の双方を備え、直営でホテル運営を一貫して行う点です。アパートメントタイプの部屋はキッチン等すぐに生活できる設備が揃っています。館内は朝食ルーム、会議室、ランドリールーム、フィッ

トネス、サウナなど快適に滞在できる環境が整えられています。

リビングホテル・デ・メディチは、客室170部屋を持つホテルとして2015年、デュッセルドルフ旧市街に開業しました。当館は、17世紀の修道院を改装した5階建てで、内装はクラシカルな欧州調、館内には絵画や彫刻を陳列し、ホテル全体が美術館のような落ち着いた雰囲気のホテルです。デュッセルドルフの中心のベストロケーションにあり、空



港から車で20分、観光もショッピングも徒歩圏内です。日本人向けサービスはとくに充実し、日本人ベテラン職員がVIP、グループ、MICEなどすべてのご要望に対応いたします。デュッセルドルフの中心部にさらにモダンな160部屋のリビングホテル・デュッセルドルフがあります。市庁舎やライントワーへ徒歩12分という好ロケーションにあります。リビングホテルグループはお客様がくつろいでご自分の時間を堪能できるホテルをモットーに、未来のあるべきホテルをスタッフ同一丸となって目指しております。

Living Hotel De Medici

Mühlenstrasse 31, 40213 Düsseldorf
demedici@living-hotels.com

Living Hotel Düsseldorf

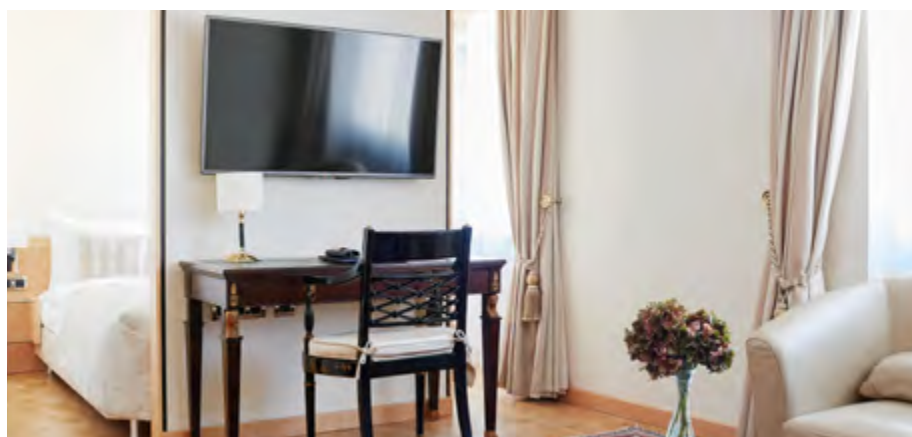
Kirchfeldstrasse 59-61, 40217 Düsseldorf
duesseldorf@living-hotels.com
www.living-hotels.com/en/ (英語)
www.living-hotels.com/ (独語)

リビングホテルズ

日本マーケット担当 栗原

Tel: +49 (0) 211 16092-842

Masanao.Kurihara@living-hotels.com



ようこそ!

エクセルシオール・ホテル・エルンスト

Excelsior Hotel Ernst

ケルン大聖堂の正面に構えるエクセルシオール・ホテル・エルンスト。時代を超えたエレガンスと洗練された雰囲気を味わいに世界からお客様が来泊されます。1863年、宮廷専属の建築修復士カール・エルンストによって建てられたエクセルシオール・ホテル・エルンストは、今日でもラインラント地方における社交の中心で、伝統を重視しつつ時代のニーズに合った革新を進めています。137の客室とスイートルームは、高貴な家具調度と

貴重な骨董品により、個性的な魅力ある色調となっています。インターネットおよびミニバーは無料でご利用いただけます。その他、サウナやスチームバス、フィットネスエリアでのトレーニングなども快適にご利用いただけます。

グルメの楽しみ

グルメレストランとして度々表彰されているホテルレストラン「ハンザ・シュトゥーベ」は、郷土の味をアレンジした斬新なフレンチ創作料理でケルン市外にも知られています。また、おもてなしの家を意味するミシュラン一つ星の「タク」を率いるのはミルコ・ガウルのチーム。日本、中国、タイ、ベトナムなど東アジアの厳選された料理が集結するタクでは、食のアジア旅行を楽しめます。「ピアノ・バー」は、昼は自家製ケーキとコーヒー・紅茶が楽しめるカフェとして、夜は最高級カクテルを愉しめます。ウィンターガルテンとホテルロビーは静かな雰囲気のラウンジ。こちらではスターパティシエのピエール・エルメによるアフタヌーンティーを楽しめます。甘いお菓子と共に英国伝統のクラシックなアフタヌーンティーでお寛ぎください。



EXCELSIOR HOTEL ERNST
COLOGNE

エクセルシオール・ホテル・エルンストで宴会

200人までを収容するエレガントな13の宴会場とビジネススイートは、パーティーやプライベートなイベントに最適です。熟練のスタッフが準備から全て担当いたします。また、ご自宅やオフィス向けにはホテルのケータリングサービスもごさいます。

理想的なロケーション

ケルンの中心、大聖堂の向かいという絶好のホテルロケーション。中央駅は目の前、オペラ、フィルハーモニー、有名な美術館・博物館はちょっとした散歩の距離で、ショッピング通りもすぐそばです。ホテルには国際的に有名な前衛的ハイコ・カリトヴィッチのフラワーアートがあります。徒歩数分の距離には伝統あるケルンシュビールの醸造元ビアホール、バー、カフェが並びます。

Excelsior Hotel Ernst

Domplatz / Trankgasse 1-5, 50667 Köln

Tel: +49 (0) 221 / 270-1

Fax: +49 (0) 221 / 270-3333

info@excelsior-hotel-ernst.de

www.excelsior-hotel-ernst.de



ドイツの絶景



ドイツの絶景は自然と人間が一緒になって創り上げた傑作。険しい岩山に立つ古城、木組みの家のロマン、数百年前の世界にワープできる中世都市、蛇行する大河の畔にブドウ山に囲まれたワインの村、荒々しいアルプスの山々に囲まれた澄んだ湖のほとりにあるチャペル…。フォトジェニックなドイツの文化景観は、旅行者をうならせてくれるはずだ。



© DZT e.V., Michael Neumann



水面に映るアーチ橋はまるでおとぎの国の橋

幻想的 ラコッツ橋

🌞 Rakotz Bridge

ポーランド国境に近いクロムラウにあるザクセン州で二番目に大きな公園（ロドデンドロン・パーク）にあるラコッツ湖にかかる橋。玄武岩で造られたラコッツ橋は、水鏡に映ると完全な円形をなし、周囲の自然とともに様々な場所からインスタ映えのする絵が撮れる。



© Getty_rusm

公園は小宮殿、騎士館などが立つ19世紀の流行であった英国式庭園。クロムラウから7km先のポーランドとの国境をなすナイセ川を挟んで、欧州最大の英国式庭園、景観デザインの傑作である世界遺産のムスカウ公園は見逃さない。

注意: ラコッツ橋は現在修復中。2020年夏頃までに終了予定。
アクセス: ドレスデンから古都パウツェン経由クロムラウまで122km。クロムラウからムスカウ公園まで7km。帰途、映画の舞台として使われる美しい都市ゲルリッツを観光し滞在するとよい。

クロムラウ・ツツジ公園
ゲルリッツ



古城がそびえるロマンチックな
モーゼル・ワインの町

コッヘム

📍 Cochem

円錐形の山頂に絵にかいたような中世の古城が聳え、急峻な斜面にブドウ畑が広がり、河畔にはモーゼル・スレート瓦屋根の木組みの家が並ぶ。旧市街の中心は、18世紀のパロック様式の立派な市庁舎と4、5階建てのカラフルな木組みの家並み、マルティン噴水が創る明るいアンサンブルのマルクト広場。広場から曲がりくねった坂は文化センターとなっている僧院跡に至る。帝国城へはトゥメルヒェンと呼ばれる見晴らし台を経て坂を上る。千年の歴史を持つ帝国城は19世紀に再建され、城内ガイドツアーがある。コッヘムの楽しみは、旧市街と河畔プロムナード散策、モーゼル川遊覧船、白ブドウ酒の王、リースリング種が特産のモーゼル・ワインの試飲。蛇行するモーゼル川と城の絶景はいくつもある展望台から収めることができる。

アクセス：コブレンツから55km、エルツ城から20km。

コッヘム
コッヘム城
モーゼル・ワイン

白と黒のモノトーンの木組みの家の町

フロイデンベルク

📍 Freudenberg

黒い木組み柱に白壁、屋根は破風切妻で黒いスレート葺き。このような木組みの家が歴史的旧市街に行儀よく整列し、他では見られないモノトーンの全景を近くクア公園からカメラで収めることができる。町の中心から階段状の道をクア公園に登ると、足下に17世紀に建てられた約80軒の木組みの家の景観が広がる。旧市街に下りて木組みの家が立ち並ぶ石畳の小路にも多数の発見がある。食事や休憩のレストランやカフェも十分揃っている。

アクセス：アウトバーンA45号線の出入り口から5kmと便利で、ケルンから85km、フランクフルトから145km。

フロイデンベルク

中世ロマンへのオマージュ、これぞメルヘンの城

リヒテンシュタイン城

📍 Schloss Lichtenstein

シュベービッシュ・アルプ山地の海拔817mの断崖絶壁の岩山に聳えるメルヘンの城と呼ばれるリヒテンシュタイン城は、ロマン主義の時代にヴィルヘルム・ハウフの小説リヒテンシュタインに感銘を受けたヴュルテンベルク伯により1842年にネオゴシック様式でかつての騎士城跡に築かれた。中世のロマンを具現化した城である。

1、2月とクリスマスを除き毎日オープン。唯一、狭い木のつり橋を渡って城に入る。城内ガイドツアーで華麗な騎士の間、王の部屋など見学できる（所要30分、8€）。

アクセス：シュトゥットガルトの真南60km。城の駐車場から徒歩10分。天空の城ホーエンツォーレルンはここより西42kmにあり、二つの名城を巡ることができる。

リヒテンシュタイン城
ホーエンツォーレルン城



© Schwäbischen Alb Tourismus_Ralph Lueger

850年余り一族により守り続けられてきた美城

エルツ城

🌞 Burg Eltz

モーゼル川支流のエルツバッハ渓谷の森の中に三方を川に囲まれ、突出する自然要塞の岩山の上に美しい雄姿を見せるエルツ城。ユーロ導入前の500マルク紙幣の図柄になったことことから有数の美城であることが分かる。12世紀にエルツ家により築城され、今まで33代にわたり同族が所有管理し、外敵による戦禍を一切受けていない珍しい城だ。建物はロマネスク以後の異なる様式が見られ、高いものでは40mにもなる異なる高さの住居塔が聳え、出窓、屋根、木組み壁、尖塔のアンサンブルが見事である。城内見学は中庭から見る建物群、騎士の間、武具展示、財宝展示、ルカス・クラナッハ絵画など見応えがある。

見学：開館：夏季毎日9：30～17：30

ガイドツアー（2020年4月1日、再オープン）：所要40分/10～15分間隔/英、仏、蘭語ツアー（日本語小冊子あり）

入場料：10€。

アクセス：コブレンツから35km、コッヘムから30km。城はモーゼル川沿いに立っているのではなく、河畔の村モーゼルケルンやハッツェンポルトから道路距離12km入った渓谷にある。公共交通/バス駐車場/ハイキング/レストラン等詳細はエルツ城URL参照。

エルツ城



© DZT_Florian Trykowski

木組みの家並み、石畳の狭い小路…谷間の中世の町

モンシャウ

🌞 Monschau

アイフェル山地国立公園に囲まれベルギーとの国境に広がるホーエス・フェン・アイフェル自然公園（高原湿地の意味）に懐かれた谷間にある静かな中世の町。曲がりくねった狭い石畳の小路に立ち並ぶロマンチックな木組みの家並みが特色。なかでもルール川沿いの家並みは情緒がある。13世紀の堅固な中世の古城と城壁が歴史の古さを語るが、モンシャウは18世紀の後半に織物業で栄え、モンシャウ産は欧州のブランド商品として取引された。裕福な織物業者の住居兼本社であったローテス・ハウスが名所となっている。100年の歴史ある地方名産のマスタード・ミルも見どころ。クリスマスマーケットは各地から人を引き付けている。城（見学なし）は現在ユースホステルとして利用されている。

アクセス：ケルンからアーヘン経由115km。

ホーエス・フェン・アイフェル自然公園
モンシャウ城ユースホステル
モンシャウ



© DZT e.V., Stijn Van Hulle

低湿地帯自然とスラブ系民族の伝統風習が織りなす
珍しい文化景観

水郷シュプレヴァルト

🌞 Spreewald

ベルリンから真南へ100kmのところにも全長1000kmに及ぶ網の目のような川の水郷が広がり、ユネスコ生物圏保護地区に登録されている。豊かな自然に加えて、ソルブ人が入植していたため独特の伝統風習が色濃く残っていることが魅力である。とくに民族衣装やカラフルな刺繍は有名。地産のキュウリをハーブやワインなどで漬けたピクルスは有名な特産品だ。体験すべきは平底竿船による水郷巡り。いくつも港があるが旧市街を持つアクセスのよいリュッペナウと保養地としても有名なブルクが便利。水郷巡りは2～3時間あるいは4～5時間が一般的で、途中で中洲の村に寄り昼食と見学の自由時間がある。ベルリンから多くのエクスカッションバスが出ており、所要時間は7～8時間。ベルリンとドレスデンの間に位置し、旅程に組み込むことは容易。

シュプレヴァルト



© Fotolia_Klaus Heidemann



町全体が世界遺産 川中島に立つ市庁舎 バンベルク

 Bamberg

約2400もの文化財建造物がある歴史的都市景観により、旧市街全体が世界遺産に登録されている。戦災を受けておらず、過去の遺産を最もよく残す美しい人口7万5000の活気ある町である。ドナウの支流レグニッツ川の川中島に立つ木組み建築の旧市庁舎は、よくカレンダーにも使用される町のシンボル。神聖ローマ皇帝ハインリッヒ二世は、11世紀にバンベルクに王宮を置き、大聖堂を建立し、司教座都市として繁栄した。内陣では謎の中世の騎士像は中世の傑作とされる彫像、およびティルマン・リーメンシュナイダー作の皇帝ハインリッヒ二世と妃の石棺が見られる。町には領主司教の豪華な新宮殿、テラスからの眺望がよい新宮殿中庭のローズガーデン、司教の住居群、旧市街を眺望できる聖ミハエル僧院などが見どころ。小ベニスと異名をとる町は遊覧船からのアングルもよい。この地方には約60の醸造所があり600種のビールを造り、市内には11のビール醸造所があるビールの牙城だ。フランケン料理も美味、世界的バンベルク交響楽団の本拠地でもあり、五感を満足させるデスティネーションである。

アクセス: フランクフルトから215km、ミュンヘンからニュルンベルク経由230km。

バンベルク

世界遺産の千年の古都、ドイツ発祥の地

クヴェートリンブルク

 Quedlinburg

2019年に1100年祭を祝ったクヴェートリンブルクには、木組み家屋が立ち並ぶ旧市街と、町を見下ろす城山に聳えるロマネスク様式の教会の2つの世界文化遺産があり、絵になる風景を醸し出している。旧市街には600年間に建てられた1300軒の木組みの家が立ち、木組みの家がもっとも多い町と言われ美しさも際立つ。砂岩の城山から堂々たる城郭建物群が町を見下ろす。1129年に落成した司教座教会聖セヴァルティウスでは内陣、宝物殿、ハインリッヒ一世と妃の墓がある地下聖堂を見学できる（休館：月曜）。向かいのかつて城であった建物は、後に女子養老院として使用された。この地に君臨していたハインリッヒ一世は919年に初代ドイツ皇帝となり、息子のオットー1世は初代神聖ローマ帝国皇帝に選ばれ、クヴェートリンブルクは10～11世紀に帝国の中心的役を担った。城山向かいのミュンツベルクからの展望もよい。同じハルツ山地にあるヴェルニゲローデもカラフルな木組みの家並みと城で人気があり、魔女伝説のプロッケン山に登るSL旅行の起点となる。

アクセス: ゴスラーからヴェルニゲローデ経由92km、ライプツィヒから128km。

クヴェートリンブルク(日本語)

“幸福の城”ドイツ最大の水城

グリュックスブルク

 Glücksburg

森の湖に絵本から抜け出たように立つ白亜のグリュックスブルク“幸福の城”。四隅に八角の塔が立つ一辺30mの正方形のドイツ最大級の水城は、16世紀にルネサンス様式で建てられ、シュレースヴィヒ・ホルシュタイン伯爵家と一時政庁を置いたデンマーク王家の居城であった。城の名称グリュック“幸福”は公爵家モットーである「神よ、幸福と安寧を与えたまえ」に由来し、門や紋章に刻まれている。北欧の歴史に重要な役割を果たしたこの城は、現在も公爵家財団が維持管理し、見学可能（入場料、開館時間等詳細はWeb参照）。城の名前と優雅な水城の宮殿は結婚式にふさわしく人気があり、映画撮影にも使用される。

海浜保養地の同名の町はデンマークを対岸に見るフィヨルドの湾に面し、ホテルのアルター・マイアー・ホーファーは、星付きグルメレストランとして知られる。

アクセス: ハンブルク北へ170km、フレンスブルクから15km。

グリュックスブルク宮殿
スターシェフのグルメレストラン



© Stiftung Schloss Glücksburg_Valhu Klau

湖と巡礼教会と山のアンサンブル

ベルヒテスガーデンのケーニツヒ湖

☀️ Königsee / Berchtesgaden

ドイツ一美しく澄んでいる湖ケーニツヒ湖のほとりに立つ赤い玉ネギ形の塔をもつロマンチックな巡礼教会聖バルトロメー。アルプスの岩山を背景に忘れがたいアンサンブルを創る。ドイツアルプス有数のリゾートのベルヒテスガーデン街中から5km郊外のシェーナウがドイツ最古のベルヒテスガーデン国立公園のケーニツヒ湖遊覧船着き場だ。ここから聖バルトロメー巡礼教会まで電動遊覧船でエメラルドグリーン湖を静寂の中、約40分。途中、停船しトランペットが吹かれ、ヴァッツマン山(2713m)の垂直に切り立つ岩壁にこだまするエコーを聴く。巡礼教会のそばには王の狩の館があり、バイエルン料理のビアレストランとなっている。船は湖奥の終点ザレートまでさらに20

分。ここから遊歩道を小さな湖オーバーゼーまで歩くこと20分。風景写真家のメッカである。また、東山魁夷画伯が緑深き湖を描いたところと言われる。

街中から13km郊外にある登山家の村ラムザウは、アルプス文化景観が色濃く残る小村。連山を背景に川の畔に立つ聖セバ스티アン教会の絵は、だれもがどこかで見たことがある景色である。

ベルヒテスガーデン国立公園
ベルヒテスガーデン
ケーニツヒ湖定期船



© Berchtesgadener Land Tourismus_Marika Hildebrandt

2018年&2019年上半期ツイッターランキング ★ TOP10

ドイツ観光局Twitterのフォロワー数は、在日政府観光局の中で一番を誇ります。毎日のツイートより2018年と2019年上半期までの最もインプレッション数の多かったTOP10をランキングにしました。どの投稿が一般消費者の興味を引いたのか、どの投稿記事も旅行企画の際に参考にしていただける統計です。

1	世界で最も美しい牛乳屋さん			6	神秘の泉「ブラウトプフ」		
	インプレッション 627872	リツイート 3348	いいね 10029		インプレッション 238174	リツイート 1089	いいね 3633
2	ザクセンのイースターエッグ			7	ピクルス産地 水郷シュプレーヴァルト		
	インプレッション 551748	リツイート 3559	いいね 8081		インプレッション 197363	リツイート 846	いいね 2804
3	「進撃の巨人」舞台ネルトリンゲン			8	10年に一度のイベント「キリスト受難劇」		
	インプレッション 339552	リツイート 1990	いいね 3847		インプレッション 192323	リツイート 944	いいね 1549
4	ドイツ風餃子マウルタッシュェンの秘密			9	「世界で最も素晴らしい橋12選」ラコッツ橋		
	インプレッション 288559	リツイート 1316	いいね 2833		インプレッション 187313	リツイート 1234	いいね 3329
5	雪化粧に映えるドイツ観光スポット			10	モーゼル河畔のメルヘン城ライヒスブルク		
	インプレッション 250975	リツイート 1084	いいね 3369		インプレッション 168570	リツイート 542	いいね 2097



© Getty Images_RomoloTavanti

環境の国ドイツ サステイナブルな体験

地球温暖化に対する懸念と関心が高まり、あらゆる面において持続可能性が問われている。ドイツの観光業は環境に優しいツーリズムに取り組み、ドイツ観光局は持続可能性を体験できるプログラムを紹介している。本号ではとくにエネルギー効率と再生可能エネルギー分野で持続可能性を追求実践する地方自治体の視察可能な事例を紹介する。サステイナブルな宿泊や交通インフラ、自然環境などホームページを参照。

サステイナブルな学園都市

ハイデルベルク Heidelberg

環境の分野で世界の先端を走るハイデルベルクはすでに2度欧州サステナビリティ賞を受賞し、2015年には国連本部でグローバル・グリーンシティ・アワードに輝いた。なかでも新市街地バーンシュタット計画は、住居・学術研究・商工業・仕事・レジャーを統合して116haのサステイナブルシティを構築するもので、この再開発地区は世界最大のパッシブハウス居住地として知られている。電気と熱供給は100%再生可能エネルギーで賄うゼロ・エミッション居住地である。本プロジェクトは2022年まで続く。

ハイデルベルク観光局は、企業、大学、研究所、市と連携し様々な視察と専門レクチャーをアレンジする。

視察テーマ：気候とエネルギー（再生可能エネルギー、エネルギーと環境クラスターマネジメント、エネルギー効率）、環境マネジメント（環境マネジメントシステムの構築と実施、大企業サステナビリティ）、環境政策（環境気候保全サイエンス・リサーチセンターとしてのハイデルベルク、国際ネットワークにおける環境気候保全政策、青少年と子供の環境意識促進）、サステナビリティ（ハイデルベルクの持続可能経済、ハイデルベルクのエネルギー効率建築とパッシブハウス）。その他の問い合わせも歓迎。

連絡先

[\[EMAIL\] sekretariat@heidelberg-marketing.de](mailto:sekretariat@heidelberg-marketing.de)

バーンシュタット動画
ハイデルベルク
ハイデルベルクTV視察

グリーン・インダストリー・パーク

フライブルク Freiburg

2050年までに気候ニュートラル達成を目標に掲げる環境都市フライブルクは、その鍵となる商工業と相互協力して2014年から革新的プロジェクトのグリーン・インダストリー・パークを北部工業地区で推進している。12の企業と組織がエネルギーと資源の効率化を目指しグリーンパイロット・プロジェクトに取り組む。

企業例：フラウンホーファー研究所（ソーラー研究）、レテラ（バイオガスプラント）、TDKミクロナス（コージェネプラント効率）、ファイザー（エネルギーマネジメント）、ローディア・アセトウ（廃熱利用）、メッセ・フライブルク（ソーラー設備）、イクア（電気自動車無料利用）など。

レクチャーとガイド付TV可能。

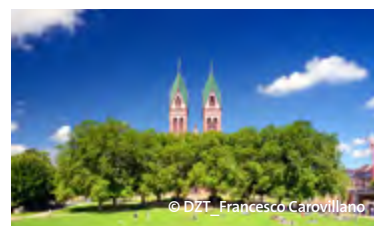
フライブルク市観光局のホームページにあるグリーンシティの章では、上記工業団地を含む28の事例を紹介している。

グリーン・インダストリー・パーク連絡先：

Wirtschaft Touristik und Messe GmbH & Co.KG

[\[EMAIL\] greencity-cluster@fwtm.de](mailto:greencity-cluster@fwtm.de)

グリーンシティ・フライブルク
フライブルク
グリーン・インダストリー・パーク



© DZT_Francesco Carovillano

持続可能な町、大都市部門で一位

ミュンスター Münster

ミュンスター市はQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の満足度が高い町であるだけでなく、持続可能な地方自治体のパイオニアとしても非常に高い評価を得ている。自転車政策が浸透している町として知られ、人口31万2000人に対し自転車は50万台以上あり、2019年度ドイツ・サステナビリティ・コンテストの大都市部門で1位に選ばれた。“孫の代まで持続可能”をスローガンに、市の政策は未来の持続性に配慮して決定されるプロセスが評価された。環境に優しい自転車の普及とそのインフラをはじめ、環境政策ですでに欧州エネルギー金賞を何度も受賞している環境都市である。

観光においてドイツ歴史古都に属すミュンスターは、美しい都市景観、とくに旧市街のハンザ同盟時代の建物が並ぶプリンツィパルマルクト、ウェストファリア条約が結ばれた市庁舎、郊外の水城、さらに10年毎に開催されるミュンスター彫刻プロジェクト（次回2027年）などにおいて、観光価値の高い destination である。

ミュンスター
自転車の町ミュンスター
もっとも住みやすい町ミュンスター
ドイツ・サステナビリティ賞

黒い森のバイオエネルギー村

ブライтнаウ Breitnau

黒い森の観光と農業が主産業の人口1800人弱/750世帯のブライтнаウは、バイオエネルギーの村のひとつである。バイオエネルギー村とは、村の電力と熱の需要の5割以上を再生可能エネルギーで自給し、かつ地元の燃料を使用し、設備の一部を熱利用者や農家が所有する。ブライтнаウは2011年にエネルギー組合を創設し、現在、電力は需要の270%、熱は68%を生産している模範的なバイオエネルギー村である。中央設備はバイオメタンを燃料とする熱電併給プラント1基とバイオマスのボイラーから成る。環境首都として有名なフライブルクからは31kmの距離で、黒い森の景勝地ティティゼーに通じる連邦道路の途中、ヘレントール(通称地獄谷)にある。最近話題を呼んでいるロマンチックなラヴェンナ峡谷のクリスマスマーケット、そのすぐそばにはマリー・アントワネットがパリに行く途中宿泊した由緒ある黒い森スタイルのホテル「ホーフグート・シュテルネン」がある。このホテルは地球温暖化対策に力を入れ、自前のエネルギー設備を有し、電気と熱エネルギーをすべて再生可能エネルギーで賄うなど、環境に配慮した取り組みを行っている。こうした宿泊施設はドイツでも例は少なく、ホテルは見学に応じている。

ブライтнаウ
ホテル・ホーフグート・シュテルネン

バイオエネルギーの村

エッフェルター Effelter

バンベルクの北東77kmにある人口280人の小村エッフェルターは、バイオエネルギーの村として知られる。バイオガス設備と屋根ソーラーシステムで電気と熱をすべて再生可能エネルギーで自給することを目指し、2002年から取り組んでいる。現在は需要の300%のエネルギーを得ている。こうした経験とノウハウを公開し、見学受け入れを積極的に行っている。所要時間3時間で、パワーポイント解説、バイオマス設備と熱ボイラー設備見学が可能。(150€/グループ) 近くには欧州王室のゆりかごと呼ばれたコーブルクヤルカス・クラナッハ、美しい街並みの小都市クローナッハがあり、視察に加える観光地としておすすめ。

[EMAIL info@bioenergiesdorf-effelter.de](mailto:info@bioenergiesdorf-effelter.de)

エッフェルター

エネルギー自立の村

フェルトハイム Feldheim

ブランデンブルク州にある人口約150人の小村フェルトハイムは、エネルギー完全自立の村として知られている。約1万枚のソーラーモジュールと55基の風車、バイオマス設備と木材チップボイラーで、村と村民出資の企業が電力と熱を生産。制御用蓄電設備を配し、自前の送電と熱グリッドを通じて直接に家庭、農家、企業に供給。視察プログラム：約30分のプレゼンとレクチャー。問い合わせは下記URLを参照。

アクセス：ベルリンの南西78km。

[EMAIL info@neue-energien-forum-feldheim.de](mailto:info@neue-energien-forum-feldheim.de)

フェルトハイム

自家用車のない島

ユイスト島 Juist

北海に浮かぶ東フリースラン諸島の休暇の島ユイスト島は、車のない気候ニュートラルな島として知られる。本土沖合7km、島の長さ17km、幅最高1km、人口1700人の島での移動手段は馬車や自転車。自動車は消防と救急車だけである。2030年に向け温室効果ガス排出ゼロを目標に対策を進め、2014年と2017年に持続可能観光地域連邦賞に輝いた。実施されている気候変動対策は多岐にわたり参考になる。島はニーダーザクセン州ワッデン海国立公園、ユネスコ世界遺産の中にあり、ワッデン干潟ハイキングは忘れがたい自然体験となる(ガイド付き)。ここは毎年200万羽の渡り鳥が訪れるバードアイランドでもある。休暇で訪れる子供向けに環境大学が開催される。また、カーボンニュートラルなドイツ初の観光案内所があり、プラスチック対策等様々な取り組みを実施している。



© Kurverwaltung Juist

アクセス：ノルトダイヒ・モーレ駅(ブレーメンより鉄道2時間20分、道路距離167km)に隣接する桟橋からフェリーで60分。1日1~2本。

ユイスト島
世界遺産ワッデン海
ユイスト島

ファッション発信の町

ベルリン Berlin

世界の若者を魅了するベルリンは、ファッションとデザインにおいて世界のトレンドを発信する町。とくにカジュアルなストリートファッション、オリジナルなデザイン、アップサイクリング、循環型ファッションの店が多数ある。

グリーン・ファッション・ツアーズはサステナブル・ファッションに関するツアーをオーガナイズする。アップサイクリング、フェアプロダクション、新素材などのイノベーション、サステナブルな消費行動等をレギュラーツアーで、あるいは要望に沿ったテーマのグループパッケージで組織している。たとえばアップサイクリングではテキスタイルの分別センター、アップサイクリング・デザイナーとアトリエ、コンセプトストア、スタートアップ店などをガイドとともにめぐる。

ベルリン

グリーン・ファッション・ツアーズ
ベルリンのファッションとデザイン
ベルリンのショッピング街



ドイツ旅行のご計画は ルフトハンザ ドイツ航空で!

ルフトハンザは東京(羽田)、大阪、名古屋からフランクフルトとミュンヘンの2つの拠点空港を経由してドイツ国内の各都市へフライトを運航しています。日本国内の多くの空港からもANAが運航する共同運航便がご利用いただけます。

ファーストクラス

羽田発着路線では贅を尽くした空の旅をご体験されたいお客さまにファーストクラスをご提供しています。お客様ひとりひとりのご要望に最大限に沿ったサービスをご提供します。

ビジネスクラス

全長2mの完全に水平なベッドになるシートで、長いフライト時間も快適にお過ごしいただけます。お客様の個別のご要望にお応えできるよう、飛行中は、専属で担当する客室乗務員がサービスをします。

プレミアムエコノミークラス

エコノミークラスに比べて、シート周りのスペースが最大で50%アップ。ウェルカムドリンクやアメニティキットなど、プラスアルファを求めるお客さまのご要望にお応えします。

エコノミークラス

全席にオンディマンドの個人用エンターテインメントを装備し、機内食やアルコールを含むドリンク類もすべて無料でご提供します。

FlyNet®

インターネットサービス、FlyNet®のご利用で、長距離フライトでの時間を最大限活用することができます。インターネット接続のご利用にはドイツテレコムから3種類の料金プランをご用意しています。お仕事でもプライベートでも、機内のインターネットを是非ご利用ください。

ラウンジ

フランクフルトとミュンヘンおよびドイツ国内の各空港ではご利用のクラスとお持ちのマイレージカードのステータスに応じて、ご出発時やお乗り継ぎ時にラウンジをご利用いただけます。

受託手荷物

日本路線ではファーストクラスは32kg以内のお荷物を3個、ビジネスクラスでは32kg以内のお荷物を2個、プレミアムエコノミークラスとエコノミークラスでは23kg以内のお荷物を2個まで無料でお預かりします。

[lufthansa.com](https://www.lufthansa.com)

A STAR ALLIANCE MEMBER



Lufthansa

Enjoy Germany, travel by train!

【ヨーロッパの鉄道商品取り扱いNo.1!!】

レイルヨーロッパは、フランス国鉄とスイス国鉄の資本により設立された公的法人です。本社以外にも日本を含む世界の主要9カ国に事務所を設置し、各国言語や通貨に対応。日本でのビジネス展開は20年以上にも及びます。また、取扱商品数は業界トップで世界最大の販売流通網を有しています。

ドイツを自由気ままに旅したい方におすすめ

【ジャーマンレイルパス】

高速列車ICEなどドイツ鉄道(DB)で利用できる鉄道パス。ICEは座席指定が任意の高速列車なので、パスのみで乗車可能です。

<種類>

- 3日、4日、5日、7日、10日、15日(連続タイプ、フレキシタイプ(有効期間1ヶ月))
- 1等、2等/大人、ツイン(2名用)、ユース(12~27歳)
- 大人1人につき子供2人が無料に

<特典>*次ページ地図参照

- ドイツ以外の近隣国(イタリア、ベルギー、チェコ、ポーランド、ルクセンブルク、オーストリア、オランダなど)の25都市以上へも列車やバスでアクセス可能

- ① ライン川、モーゼル川クルーズが20%割引
- ② コンスタンツ湖の汽船が50%割引
- ③ バイエレン・ツークシュピッツェ鉄道が10%割引
- ④ ロマンチック街道を走るバスが20%割引
- ⑤~⑧ アウトレットで10%割引や送迎バスが無料
- ⑨ ベルリンのホップオン・ホップオフバスが20%割引、定期運航船が25%割引
- ⑩ ハンブルクのホップオン・ホップオフバスが割引料金(16€に)
 - A&Oホテル・ホステルの宿泊代も割引に
 - Historic Highlights of Germany(地図上の塔のマーク)の都市でシティカードが無料(または割引)、ガイドブックプレゼントやガイドツアーの割引

ドイツを含めたヨーロッパ周遊旅には

【ユーレイルグローバルパス】

ヨーロッパ32カ国で自由に乗り降りできる鉄道の旅とボーナス特典を提供

<種類>

- 連続タイプ: 15日、22日、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月/フレキシタイプ: 4日、5日、7日(有効期間1ヶ月)または10日、15日(有効期間2ヶ月)
- 1等、2等/大人、ユース(12~28歳)、シニア(60歳以上)
- 大人1人につき子供2人が無料に

<特典>

- ベルギー、ルクセンブルク、チェコ、スイスなどへアクセス可能なICバスの利用(別途座席指定が必要)
- ドイツ国内50以上の街で使えるレンタル自転車が20%割引で利用可能
- ロマンチック街道を走るバスが20%割引
- フランクフルトとミュンヘン郊外にあるアウトレットまでのエクスプレスバスが無料で乗車可能

- ドイツとスウェーデン、フィンランドを結ぶフェリー(Finlines)が50%割引、さらにラトビア、スウェーデンを結ぶフェリー(Stena Line)は30%割引
- 各種アパート型ホテルやユースホステルも割引
- ベルリン、ニュルンベルク、デュッセルドルフ、フランクフルト、シュトゥットガルトのシティカード購入が割引
- その他、ショッピングやアクティビティが各種割引に

【ICEのアクセス網】

最高時速320kmで走行するICEはドイツを旅するうえで、最速かつ快適な選択肢です。

ICEはドイツ国内の主要都市のほとんどを1~2時間間隔で結んでおり、一部の列車はフランス、スイス、オーストリア、ベルギー、オランダ、デンマークにも乗り入れています。

- 食堂車またはバー車両を連結
- 1等フレキシチケット所持者は主要駅に併設されたDBラウンジを利用可能
- 一部ルートでは最新車両ICE4を導入。さらに快適で安全な旅を実現



【ICの車内設備リニューアル】

ドイツ鉄道はドイツの都市間を結ぶIC(InterCity:インターシティ)で2021年末までに全車内Wi-fiの無料化、座席とトイレのリニューアルを行います。また車椅子スペースなどの拡充、子供向け・家族向けのスペースのデザインも新装する予定です。

【新線情報】

<ベルリン〜ウィーンの直通ICE>

2019年よりベルリンとウィーンを直通するICEが運行開始

- ICE93 ベルリン(10:05)発 → ウィーン(17:45)着
- ICE92 ウィーン(10:15)発 → ベルリン(17:58)着

<ナイトジェットの新しいルート>

ドイツを含めた国際夜行列車ナイトジェットでドイツ~ポーランド~オーストリア、ハンガリーを結ぶルートが2019年から加わりました。

- ベルリン~ヴロツワフ~ウィーン
- ベルリン~ヴロツワフ~ブタペスト
- ベルリン~クラクフ~ブジェミシル

<フランクフルト~チューリヒ~ミラノ線>

2020年に開通予定。推定所要時間は3時間40分。

【エクストラネット】

ドイツを含めた各国の鉄道商品の情報を日本語で掲載。オンラインでいつでも閲覧可能

<http://raileurope.jp/agent/travel-agents/application-form/> (登録無料)



【レイルエキスパート】

ヨーロッパ鉄道旅行商品販売のプロを育成するためのインターネットを活用したEラーニングプログラム(全12週)

合格特典(一部): 認定証&資格証カードを授与、欧州研修旅行に優先招待、合格者交流イベントに招待

<http://raileurope.jp/expert/>

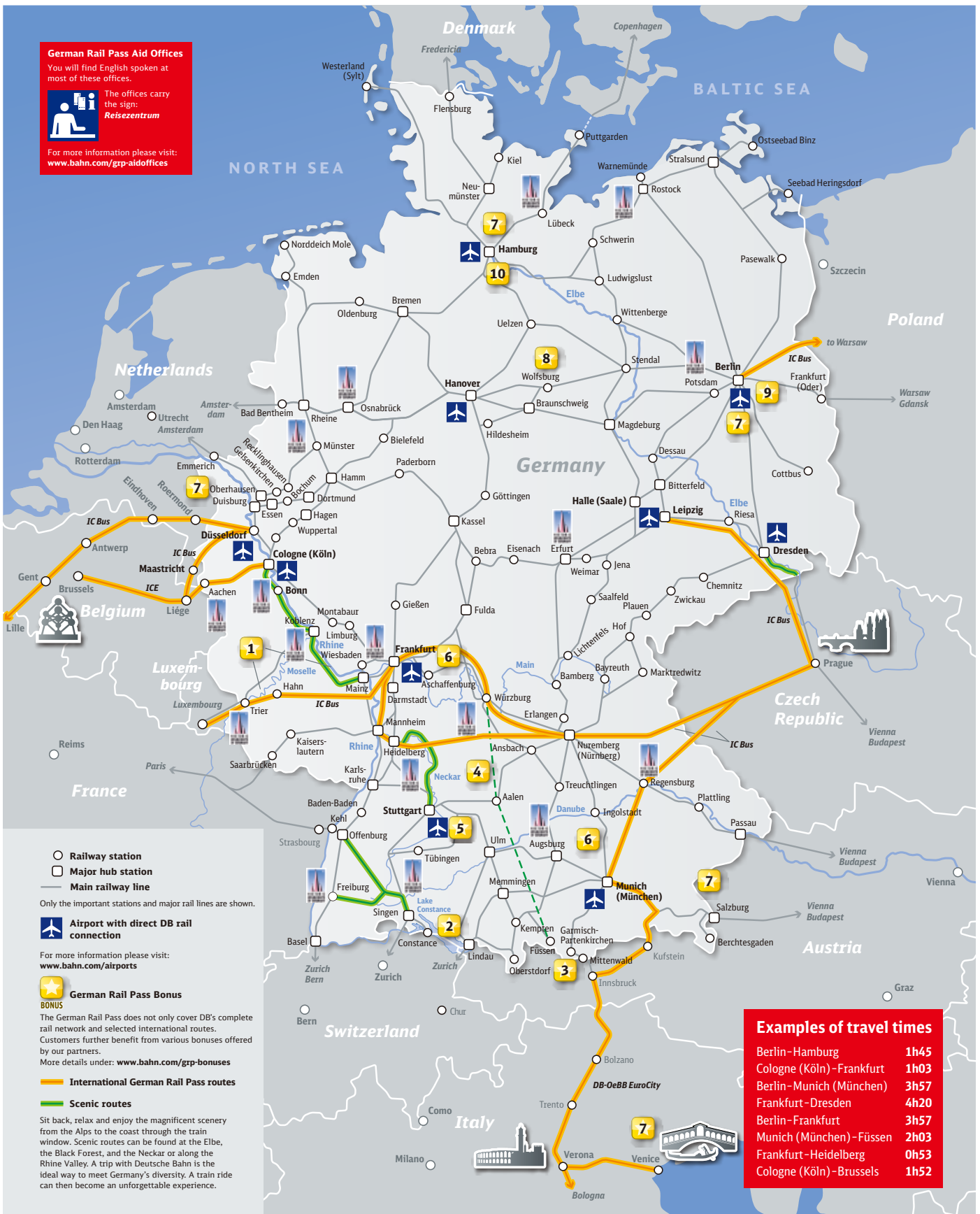


German Rail Pass Aid Offices
You will find English spoken at most of these offices.



The offices carry the sign: **Reisezentrum**

For more information please visit: www.bahn.com/grp-aidoffices



○ Railway station
□ Major hub station
— Main railway line

Only the important stations and major rail lines are shown.

Airport with direct DB rail connection

For more information please visit: www.bahn.com/airports

German Rail Pass Bonus
BONUS

The German Rail Pass does not only cover DB's complete rail network and selected international routes. Customers further benefit from various bonuses offered by our partners.

More details under: www.bahn.com/grp-bonuses

International German Rail Pass routes

Scenic routes

Sit back, relax and enjoy the magnificent scenery from the Alps to the coast through the train window. Scenic routes can be found at the Elbe, the Black Forest, and the Neckar or along the Rhine Valley. A trip with Deutsche Bahn is the ideal way to meet Germany's diversity. A train ride can then become an unforgettable experience.

Examples of travel times

Berlin-Hamburg	1h45
Cologne (Köln)-Frankfurt	1h03
Berlin-Munich (München)	3h57
Frankfurt-Dresden	4h20
Berlin-Frankfurt	3h57
Munich (München)-Füssen	2h03
Frankfurt-Heidelberg	0h53
Cologne (Köln)-Brussels	1h52

ジェネラル インフォメーション

国の概要

16の州区分（州と都市州を含む）から構成されている。

総面積

35万7340km²

隣接国

ドイツはヨーロッパの中央に位置し、隣接国はフランス、スイス、オーストリア、チェコ、ポーランド、デンマーク、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの9カ国。

最高峰

ツークシュピッツェ（標高：2962m）

主要河川

ライン川（865km）、エルベ川（700km）、ドナウ川（686km）

総人口

8110万人。EU加盟国で最も人口が多い。そのうち、1640万人が移住を背景とした人々。2019年現在、米国に次いでドイツは世界2位の人気移民受け入れ国。

大都市

ベルリン（人口：350万人）、ハンブルク（180万人）、ミュンヘン（143万人）、ケルン（105万人）、フランクフルト・アム・マイン（72万人）

地勢

北海やバルト海から南のアルプスまで南北に広がるドイツの地勢は、北部低地、中部山地、上部ライン低地を囲むように広がる南西ドイツの中部山地の地形地帯、南ドイツのアルプス山麓地帯、バイエルンのアルプス山脈に分けられる。北部には延べ約2400kmの海岸線がある。南北最長距離は876km、東西は640km。

宗教

約4700万人がキリスト教を信仰し、その割合はカトリックとプロテスタントがほぼ半数ずつ。イスラム教徒は推定約400万人、基本法は思想と良心と信仰の自由を保障している。国教会はない。

国の体制

1949年より議会制民主主義の連邦国家

首都

ベルリン（人口：350万人）

国旗

黒・赤・金の横三色旗

国の紋章

様式化された鷲

公用語

ドイツ語。1億人がドイツ語を母語とし、EUで最も多くの人が母語とする言語である。戦後世代には英語もよく通用する。

気候

ドイツの気候は温和。5～10月は比較的よい天気恵まれる。平均気温は夏場は20～30℃。冬は0℃前後。朝夕に気温が下がるので、夏でもセーターを1枚持参するのがよい。梅雨はなく6月はカラッと快晴が続く隠れたベストシーズン。

時差

日本との時差はサマータイム（3月最終日曜～10月最終日曜）期間中7時間。ウインタータイム中（10月最終日曜～翌年3月最終日曜）は8時間差。

通貨・付加価値税・キャッシング・免税払い戻し

ドイツはユーロ圏に属する。1ユーロ=100セント。両替は主要国際空港や国際列車発着駅にある両替専用銀行Reisebankにて可能。大都市では時折、市内に両替商を見かけるが、一般的でない。市内の一般銀行では、ユーロ導入以降、外国通貨の両替をしなくなったので注意。クレジットカードが広く普及しているため、便利。ただキオスク・Aldiなどの格安スーパー・屋台など小口現金が必要なことも多いので、多少現金は必要。クレジットカードによるキャッシングは、すべての銀行ATMにて24時間可能。ちょっとした現金が必要な時に便利。付加価値税は、19%（ただし食品は7%）。ドイツでは値段の表示は、基本的に内税表記。付加価値税還付は、対象品を購入するお店で所定の還付用の用紙を作成してもらい、ドイツ出発時に利用する国際空港にある特別窓口（Tax Refundの文字が目印）で換金できる。

ビザ（査証）

90日以内の滞在にはビザ不要。パスポートの残存期間は、シェンゲン条約により最終的に出国する日より3カ月以上必要。ワーキングホリデーやその他のビザに関する問い合わせはドイツ大使館領事部（TEL 03-5791-7700）または大阪神戸・ドイツ総領事館（TEL 06-6440-5070）へ。

商店の営業時間

日曜・祝祭日を除く毎日、9～20時（営業可能な時間）。店によって営業時間は変わる。

学校休暇

ドイツは連邦州ごとに学校休暇が定められている。夏休み、秋休み、クリスマス休暇、冬休み、復活祭休暇、聖霊降臨祭休暇などがあり、州ごとに異なる日程になっていることが多い。詳しくは以下のサイトを参照。

バリアフリー

ドイツは、体の不自由な人でも旅行が楽しめるインフラが整い、多くの観光地がバリアフリー旅行情報を提供している。詳しくは以下のサイトを参照。



メトラッハ ザーレ川の絶景

ETIAS（欧州渡航情報認証制度）

2021年1月よりETIAS（欧州渡航情報認証制度）導入が予定されており、日本人も渡航前の認証手続きが必要となります。欧州渡航情報認証制度ETIAS（エティアス）とは、日本を含むビザが免除されている国籍者が、シェンゲン協定国（ドイツ、イタリア、フランスなど）ヨーロッパ内26ヶ国にビザを取得せず訪問する際に必須となる事前電子認証システムです。

Web <http://etias-euvisa.com/>

祝祭日

祝日名 (地域限定祝祭日の適応州)	2020年	2021年	2022年
新年 Neujahr	1/1	1/1	1/1
三王来朝 Heilige drei Könige (BW、BY、STのみ)	1/6	1/6	1/6
聖金曜日 Karfreitag	4/10	4/2	4/15
復活祭 Ostern (日曜日)	4/12	4/4	4/17
復活祭月曜日 Ostermontag	4/13	4/5	4/18
メーデー Tag der Arbeit	5/1	5/1	5/1
キリスト昇天祭 Christi Himmelfahrt	5/21	5/13	5/26
聖霊降臨祭 Pfingsten (日曜日)	5/31	5/23	6/5
聖霊降臨祭 Pfingstenmontag (月曜日)	6/1	5/24	6/6
聖体節 Fronleichnam (BW、BY、HE、NRW、RP、SL各州)	6/11	6/3	6/16
マリア昇天祭 Maria Himmelfahrt (BY、SL州のみ)	8/15	8/15	8/15
ドイツ統一の日 Tag der Deutschen Einheit	10/3	10/3	10/3
宗教改革記念日 Reformationstag (BB、HB、HH、MV、NI、SN、ST、SH、TH)	10/31	10/31	10/31
万聖節 Allerheiligen (BW、BY、NRW、RP、SL州のみ)	11/1	11/1	11/1
贖罪の日 Bus-und Betttag (SN州のみ)	11/18	11/17	11/16
クリスマス 1.&2.Weihnachtstag	12/25	12/25	12/25
	12/26	12/26	12/26

ドイツに関する情報収集に役立つホームページ

ドイツ観光局

Web www.germany.travel

ドイツ大使館

Web www.japan.diplo.de

ドイツの実情

Web www.tatsachen-ueber-deutschland.de/ja

ドイツ政府がまとめたドイツの政治から文化に至るまであらゆる分野のハンドブック

YOUNG GERMANY

Web www.young-germany.jp

ドイツ大使館監修、ドイツ発ライフスタイルガイド

ドイツ文化センター (Goethe Institut)

Web www.goethe.de

ドイツ語学習や日本国内でのドイツ文化行事の紹介

ドイツ商工会議所

Web japan.ahk.de/jp/

日独協会

Web www.jdg.or.jp

Wines of Germany

Web www.winesofgermany.jp/

- BW: バーデン・ヴュルテンベルク州
- NRW: ノルトライン・ヴェストファーレン州
- RP: ラインラント・プファルツ州
- BB: ブランデンブルク州
- HB: プレーメン州
- HH: ハンブルク州
- SH: シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州
- MV: メクレンブルク・フォアポメルン州
- NI: ニーダーザクセン州
- BY: バイエルン州
- BE: ベルリン州
- SL: ザールラント州
- SN: ザクセン州
- ST: ザクセン・アンハルト州
- HE: ヘッセン州
- TH: テューリンゲン州

旅行業界・メディア向けオンラインサービス

ドイツ観光局ホームページ(英・独・仏・西語)

Web www.germany.travel

ドイツ観光局日本語公式ツイッター

Web [@GermanyTravelJP](https://twitter.com/GermanyTravelJP)

ドイツ観光局日本事務所の公式アカウントです。まるでグリム童話の世界のような美しい城や街、花咲く風景などの心安らぐ観光風景だけを毎日紹介していきます。旅行券が当たるキャンペーンも随時実施中。



月刊メールニュース

「German Travel News」

旅行業メディア向けに毎月無料で配信しているメールニュース。即効性のある旅の素材情報から、セミナー＆ワークショップのお知らせなどを配信。ご希望の方は、ドイツ観光局までメールで問い合わせを。

EMAIL office-japan@germany.travel

消費者向けの月刊メルマガ「ドイツ旅メール」も自動的に配信。こちらのメルマガでは、素敵なプレゼントの抽選も頻繁にあるので、要チェック。



ドイツ観光局 オンライン画像データバンク

ドイツ観光局では、旅行業界、メディア関係者に無料で写真および動画を提供するオンライン画像データバンクをご用意しております。2018年1月よりデータバンクが新しくなり、今までご登録いただいていた方々も、再度ご登録が必要となりました。ここでは、登録方法と利用方法をご案内いたします。

＜登録方法＞ <https://dam.germany.travel/> にアクセス



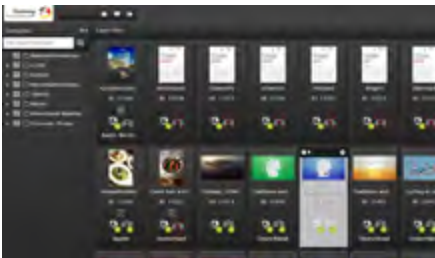
1. **Request account**をクリック。
2. IDを決め、メールアドレス、氏名、会社名、部署、電話番号を入力し、下部にある利用したいサービスを選んで、利用条件を確認し承認しうえでリクエストを送信。



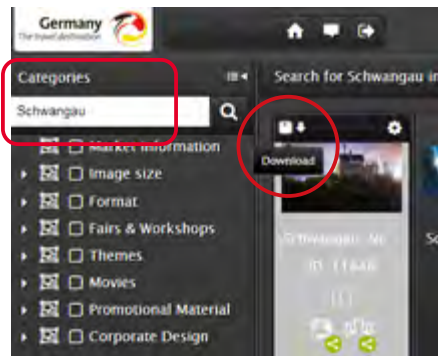
3. 後日登録したメールアドレスに、パスワード設定のメールが届くので、そこにあるリンクをクリックし、パスワード設定。

＜ダウンロード方法＞ <https://dam.germany.travel/> にアクセス

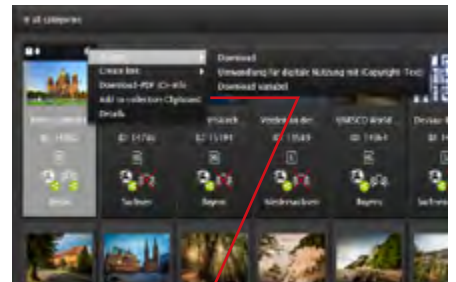
1. 登録したIDとパスワードでログイン。
2. 最新の画像が出てきます。



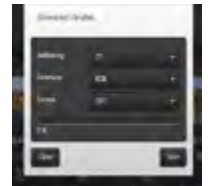
3. 左上の**Category**より、探している画像の名前（都市名など）を入力。使用目的に合う希望の写真を選び、その写真に付属する「**フロッピー**」の**アイコン**をクリックし、スタートをクリック。



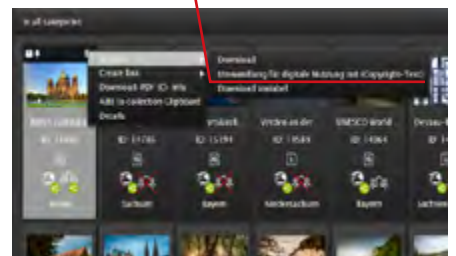
4. 画像の大きさを選択したい場合は、**右の設定マーク**をクリック。



Actionより **Download Variable** をクリック。解像度や画像のフォーマットなどを選択してダウンロードが可能。



また、**Umwandlung für digitale Nutzung mit (Copyright-Text)** を選ぶと、コピーライト入りの画像のダウンロードが可能。



ドイツ観光局のみ利用可能。旅行会社、マスコミなどは使用できません。

旅行会社、マスコミなどの利用可能。ただしソーシャルメディアでの利用は不可。

DZT(ドイツ観光局)は、画像データを会員やパートナーや旅行業界の行為者に提供することができます。会員やパートナーや旅行業界の行為者は、画像データを自前のオフラインおよびオンラインメディアや自らの広報活動やDZT(ドイツ観光局)に関する報道記事、あるいは「観光の国ドイツ」にちなんだ報道内容や観光関連の目録に使用することができます。ただし、DZT(ドイツ観光局)と無関係のソーシャルメディアプラットフォームは、除外されます。画像データをポスターやマーケティングツールや観光関連書籍やカレンダーに使用することは一切認められておらず、こういう用途に対してはその都度、問い合わせが必要となります。

旅行会社、マスコミなどの利用可能。ソーシャルメディアでの利用も可能。

DZT(ドイツ観光局)およびDZT(ドイツ観光局)の会員やパートナーは、画像データをマーケティング活動の範囲内でソーシャルメディアプラットフォームでも使用することができます。

クリエイティブ・コモンズ・ゼロ：制限なし

DZT(ドイツ観光局)は、パブリックドメインとも呼ばれる公有の知的財産権の発生しない画像を保存しています。写真家は、全世界において、法的に可能である限りすべての著作権および関連する権利を放棄しています。被写体となる人物の肖像権や描かれた芸術作品の著作権などといった第三者の権利は考慮に入られません。非独占的な使用権が付与されます。クリエイティブ・コモンズ・ライセンスにより、写真家の命名は任意で、絶対に必要というわけではありません。

ZIPファイルがダウンロードされ、そのファイルを開くと、写真、使用条件(英、独、仏)、写真のデータ(英、独)が入っています。この場合は、写真下に書かれている大きさ(例の場合はL)でダウンロードされます。

名前	種類	サイズ
Bildinformationen	メタデータ	3 KB
Conditions_of_Use	Adobe Acrobat Docum...	275 KB
Image Information	メタデータ	1 KB
Nutzungsberechtigungen_DE	Adobe Acrobat Docum...	274 KB
Schwangau_Schluss_Neue...	TIFFイメージ	25,199 KB
Terms_and_Conditions_for_...	Adobe Acrobat Docum...	248 KB

画像利用の注意：
データバンクの画像は、常に更新されます。一度ご利用いただいた画像が次に利用する際には、著作権期限が過ぎていることがあり、2次使用は不可といたします。ご面倒をおかけしますが、画像はたとえ以前使用したことがあるモチーフを再利用する場合にも、その都度データバンクよりダウンロードいただきますようお願い申し上げます。

コピーライト表記の注意：
以下の優先順位でコピーライトを明記すること。
◎ GNTB / photographer's name
フォトグラファー名が不明の場合、
◎ GNTB / owner's nameとさせていただきます。
印刷物ではコピーライトを巻末にまとめて紹介するスタイルも可能。ただしウェブやDVD映像などでは、写真と同じ場所にコピーライトの明記が必要になります。写真データのみがダウンロードされます。PhotographerないしはOwnerの名称は、データバンクにて再確認してください。300dpiの場合のみ版權情報を含んでデータがダウンロードされます。

主要都市間の距離とドライビングタイム



Markttrend / Salesguide 2020/21

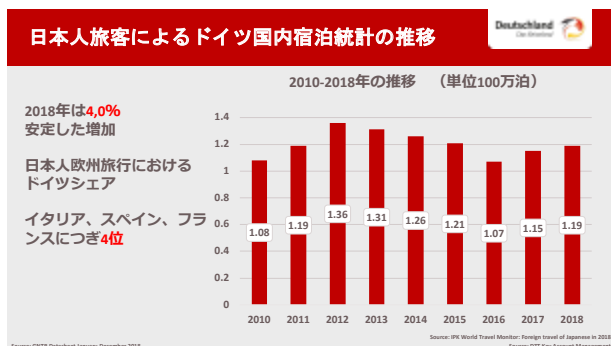
ドイツ旅行商品のトレンド

ドイツ観光局は、長年ドイツ観光のマーケットリサーチを行っているドイツIPK International社が2018年に実施した最新の市場分析や日本国内で別途実施したオンライン市場調査を基に、日本市場における今後のドイツ観光プロモーションの方針を発表した。このページでは、日本におけるドイツ旅行商品の現状分析と今後の戦略について簡単に触れる。

1. ドイツ観光統計

欧州の政府観光局の最も重要なKPIは、外国人旅客によるホテル宿泊数(overnight)であり、入国人数はカウントしていない。したがって観光プロモーションにおいて、ドイツ各地の観光サプライヤー、特に都市や地方のDMOがセールスを行う場合、宿泊を伴うようなツアー造成を唯一の目標にしていることが多い。せっかくPRをしても、日帰りデスティネーションとして扱われたり、ホテル料金が安いという理由で隣町や同じ地域の違う町に宿泊地が設定されることは、彼らにとっては一番避けなければならない事態である。

過去10年間の日本人旅客によるドイツ国内の年間宿泊数の推移



UNWTOによると国境を越える旅客数は、世界各地で散発する紛争、テロ、疫病、天災等の障害が頻発しているにもかかわらず、常に増え続けており、観光業は世界経済を牽引する成長産業のひとつになっている。ドイツの外国人インバウンドも、2010年以降毎年歴代記録を更新し続けており、2018年は2010年比で45%増加している。その間、日本は若干の増減を繰り返しているものの、110万から120万泊程度の水準で停滞しており、マーケットシェアも2010年が1.8%、2018年は1.5%と低水準に留まっている。

なお、ドイツインカミングの75%は欧州域内で、アメリカ大陸とアジアがそれぞれ10~11%程度になっている。

2018年ホテル宿泊数による上位20カ国

順位	町	宿泊数
1	オランダ	11,382,838
2	スイス	6,929,205
3	アメリカ	6,688,571
4	イギリス	5,851,648
5	オーストリア	4,203,592
6	イタリア	3,958,594
7	フランス	3,678,492
8	デンマーク	3,312,905
9	ポーランド	3,289,250
10	ベルギー	3,123,657
11	スペイン	3,028,808
12	中国	3,019,857
13	ロシア	1,895,688
14	アラブ諸国	1,769,560
15	スウェーデン	1,743,735
16	その他、アジア	1,739,286
17	チェコ	1,324,315
18	日本	1,192,119
19	ルーマニア	1,132,020
20	その他、ヨーロッパ	1,087,924

日本人旅客が好んで宿泊する都市は、上位20都市を見渡すと一部例外を除き大都市に集中している。日本から直行便が就航するミュンヘン、フランクフルトは突出して高い。一方で、ローテンブルクやフェッセン、リュースハイムといった田舎町も上位にランクインしている。ドイツを訪ねる日本人旅客の内訳は、72~73%は観光目的、22~23%がビジネス渡航となっている。欧州全体と比較すると観光目的が5~10%低く、ビジネス渡航が5~10%程度高くなっている。ハノーファー、フランクフルト、ケルン、デュッセルドルフといった世界最大の国際産業見本市会場を複数抱えるドイツは、ほかの欧州各国と比較して必然的にビジネス渡航の割合が多くなる。

2. 旅行手配のデジタル化がもたらすドイツ旅行商品の現在地

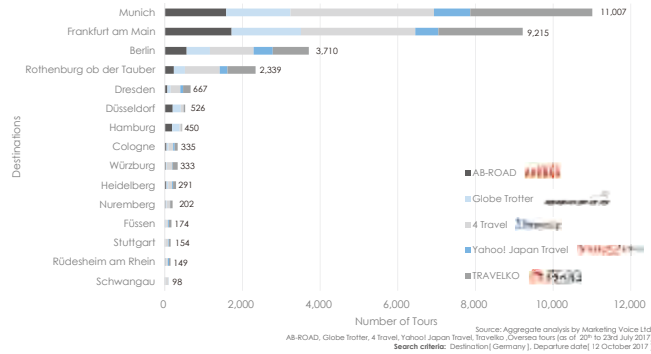
IPK調査によれば、2018年実績にて日本人によるドイツ旅行の40%が従来型の旅行会社経由による手配(予約)で行われた。また旅行会社、航空会社やホテル等の直売を含むすべてのドイツ旅行手配のうち、ネット予約のシェアは80%となった。この結果が示唆するのは、旅行手配のオンライン化が主流となり、日本人によるドイツ旅行手配の60%が従来型の旅行会社を経由しないルートで行われているという事実である。欧州旅行全体を対象にした場合でも、42%が旅行会社手配、ネット予約のシェアは82%となっている。

グローバルOTAが日本市場で市民権を得ようになり、また日本の既存の旅行会社がオンライン事業を拡充している中で従来型旅行商品のシェアが減少傾向になることが、日本の旅行業界で広く認識されるようになった。2017年にドイツ観光局が日本独自に実施をしたOTA調査の結果、従来型の募集型企画商品とOTAにおいて、ドイツ商品の内容や傾向がまったく異なることがはっきりした。

日本を代表するローカルOTA5社で提供されているドイツツアーは主にFIT向けの Air & Hotel パッケージで、その行き先は80%以上が日本からの直行便が就航するフランクフルトないしはミュンヘン、そして首都ベルリンに集中している。この上位3都市の日本人旅客による宿泊総数は、ドイツ全体の宿泊総数の50%程度にしか

日本人旅客による宿泊数の都市別統計ランキング

順位	町	宿泊数
1	フランクフルト	176,490
2	ミュンヘン	173,709
3	ベルリン	115,864
4	デュッセルドルフ	85,152
5	ケルン	38,152
6	ハンブルク	33,913
7	ローテンブルク	29,298
8	シュトゥットガルト	27,476
9	ドレスデン	27,281
10	ニュルンベルク	21,127
11	フェッセン	16,356
12	ハノーファー	15,879
13	ハイデルベルク	11,724
14	ライプツィヒ	9,022
15	フライブルク	8,749
16	ボン	8,696
17	フライジング	6,934
18	ブレーメン	6,817
19	アーヘン	6,116
20	レーゲンスブルク	5,810
21	リュースハイム	5,791
22	ヴュルツブルク	5,291
23	ラインフェルンデン・エヒターディンゲン	5,176



ならず、OTA上のドイツツアーが複雑なコンサルティングを必要としないFIT用の手軽な商品が全体の需要以上のシェアを持つといういづな状況を生んでいる。

一方でローテンブルクやフュッセン、リュエデスハイムといった日本人旅客による宿泊数上位の田舎町は、OTAでのツアー提供数が上位3都市には比較にならないほど少ない。田舎町は、空港からの移動が単純ではなく、コンサルを提供しないオンライン商品との親和性が低いことがうかがえる。

3. 従来型の募集型企画商品の現状

ドイツ観光局では、ドイツへの募集型企画商品を提供する旅行会社とドイツツアー商品を2012年以来常にモニターし、上期・下期ごとにトレンドを分析している。旅行会社数は2019年現在17社となっている。パッケージツアーカタログ等で販売されているグループツアーのみを分析の対象にしており、FIT用のスケルトンタイプの商品は対象外としている。従来型の旅行会社チャンネルでのドイツ旅行手配が全体の40%程度の水準にとどまるものの、カタログ等で販売されるドイツ旅行商品で好まれる宿泊都市や旅行テーマを詳しく分析することは、レジャーセグメント全体のトレンドを知る重要な手がかりになるとと思われる。

2018/19下期および2019年上期主要旅行会社17社によるドイツツアーで宿泊地となっている都市ランキング（ツアー商品数-催行の可否は考慮しない、ほとんどのツアーが1つのツアーで複数の都市に宿泊）



2018/19下期および2019年上期主要旅行会社17社によるドイツツアーで取り上げられた観光テーマ（ツアー商品数-催行の可否は考慮しない、ほとんどのツアーが1つのツアーで複数のテーマを提供）



17社の旅行会社のドイツ商品の中で1度でも宿泊地として提供されている町数は、2018/19年下期が70、2019年上期が80となっている。

片道12時間以上かけて訪問するロングホールデスティネーションにおいて、1カ国でこれほど多くの町が日本の消費者にむけて宿泊すべき町として旅行会社が商品化していることは、特筆に価する。

宿泊統計上位の大都市と肩を並べて、ローテンブルク、フュッセン、シュヴァンガウ、リュエデスハイムといった田舎町がTOP10入りしている。これらは、ライン川クルーズ、ロマンチック街道というドイツを代表する人気観光ルート上の小都市であり、従来型の募集型企画商品では、OTAが苦手とする田舎町が市民権を得ている。添乗員が同行し、グループバスで手軽に田舎町を観光することができるが、このタイプの商品の一番の強みであることがわかる。

ドイツは、独自の文化発展をした地方の寄せ集めである。地域ごとに違う魅力を周遊させることが、旅行デスティネーションとしてのドイツの強みであり、その結果「観光街道」に代表される観光テーマが発達し、ドイツの旅行ブランドの代名詞のひとつになっている。

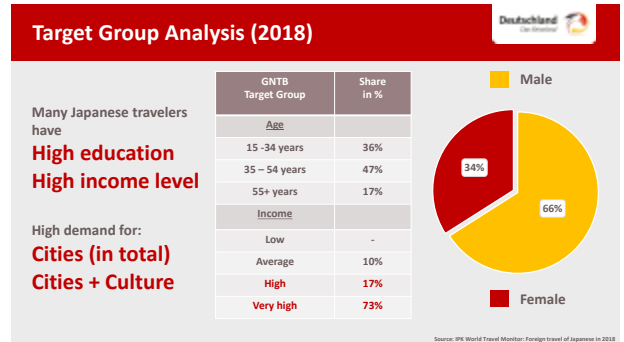
4. ドイツ観光局の今後の日本市場でのセールス&マーケティング活動と旅行会社との関係

ドイツ観光局では、2018年に実施した市場調査を基に、以下のテーマおよびセグメントに対して集中してセールス&マーケティング活動を実施していくことになった。

テーマ：都市と文化、宮殿・城・庭園、観光街道、食文化

文化観光には、多くのサブテーマが含まれる。本セールスガイドで取り上げている「音楽の国ドイツ」「伝統と風習」「祭り」などはその一部である。自然を楽しむ、ハイキングといったアクティブツーリズム、温泉保養に代表されるウェルネス等のテーマは、今後メインテーマからトーンダウンしていく。

セグメント



ドイツ観光局グローバル戦略に基づき、次の特別テーマはPRテーマとして、前出のセールス&マーケティング活動とは別途継続していく：サステナブルツーリズム、バリアフリー

日本から欧州方面への飛躍的な宿泊数増が今後はあまり見込めないことから、泊数は低水準ながらも常に増加基調を維持しつつ、訪問する旅客と滞在内容を上げていくことに、戦略の重点を移行していく。富裕層人口が世界トップレベルの日本市場では、このセグメントへのマーケティングを強化していき、旅行単価や現地消費額をあげることで価格より質を重視する観光プロダクトの展開を強化していく。

グループからFITに旅行トレンドがシフトしていく中、従来型の旅行会社にはFITでは実現困難なデスティネーションや観光プログラムをOTAが苦手とする周遊旅行のスタイルで積極的に導入していただき、OTAとの差別化を図ることをサポートしていくつもりである。

また、FIT商品を強化している旅行会社には、OTAが得意とする都市滞在型のスケルトン商品に、付加価値がつけられるような観光素材の提案を積極的に行っていく。

Goethe-Straße Reiseplaner ゲーテ街道セールスガイド トリッププランナー



© visitfrankfurt_Holger Ullmann

Frankfurt フランクフルト



© ddpix.de

Dresden ドレスデン



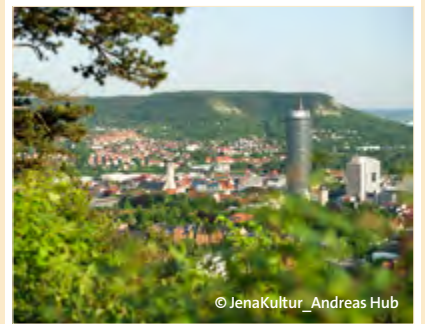
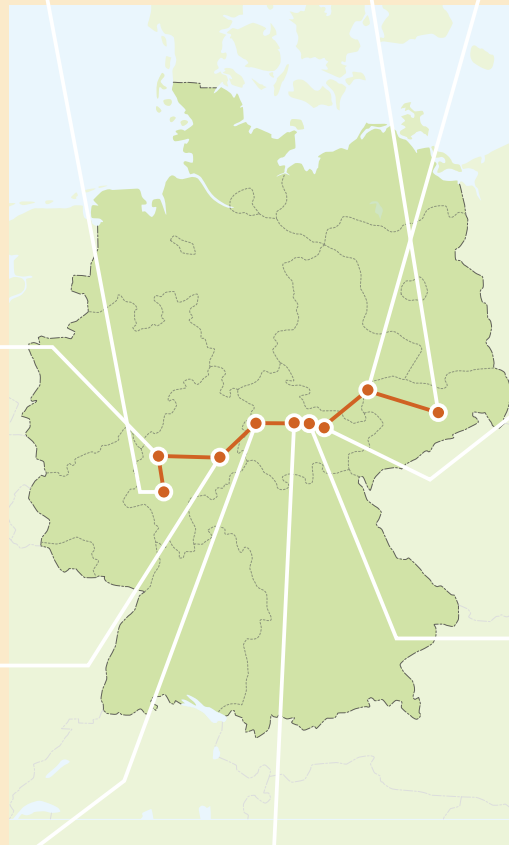
© Bao Kuo

Leipzig ライプツィヒ



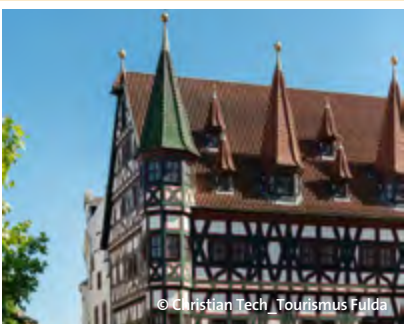
© Peter Jörg Albrecht/Tourist-Information Wetzlar

Wetzlar ヴェッツラー



© JenaKultur_Andreas Hub

Jena イエナ



© Christian Tech_Tourismus Fulda

Fulda フルダ



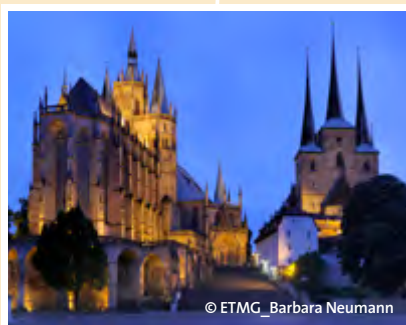
© Candy Welz

Weimar ワイマール



© Wartburg-Stiftung

Wartburg ヴァルトブルク城



© ETMG_Barbara Neumann

Erfurt エアフルト



Goethe-Straße

Frankfurt_Wetzlar_Fulda_
Wartburg_Erfurt_Weimar_
Jena_Leipzig_Dresden

Bildnachweise / 写真提供
ゲーテ街道セールスガイドの掲載写真は、すべて街道
加盟都市の観光局より提供されています。

ゲーテ街道 文化体験の旅

人気の高い観光ルートであるゲーテ街道は、ドイツ中央部の9つの興味深い都市を結んでいる。ヨハン・セバスティアン・バッハやヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ、リヒャルト・ワーグナーといった偉人と深く結び付き、豊かな建築、文化遺産、息づく伝統を体験できる。

マイン河畔のフランクフルトに1749年、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテは生まれた。パウルス教会やレーマーなどの重要な見所とともに、ゲーテハウスを訪れるとゲーテの時代の生活を肌で感じられる。若き

ゲーテはヴェッツラーで小説『若きウェルテルの悩み』の構想となった出来事を体験する。ラン川河畔にあるこの町にはゲーテが過ごした日々とヴェッツラーの女性シャルロット・ブフとの友情を思い起こさせる博物館が



2つあり、18世紀に領主司教はフルダの町をバロック様式に改装した。大聖堂、レジデント宮殿、宮殿庭園、オランジェリー、大学、バロック様式の貴族の館が創る都市建築のアンサンブルは実に見事だ。

アイゼナハのユネスコ世界文化遺産ヴァルトブルク城で宗教改革者マルティン・ルターは新約聖書をドイツ語に翻訳し、リヒャルト・ワーグナーは有名なフレスコ壁画から『タンホイザー』の構想を得た。バッハの展示物を所蔵する世界最大規模のバッハハウスと自動車博物館も見どころだ。

テューリンゲン州の首都エアフルトは1275年の長い歴史を誇り、ドイツで最もよく保存された中世の市街地で知られ、多数の教会や木組み家屋、ユニークなクレーマー橋が名所。ゲーテはプライベートで、また建設大臣としての公務で50回以上エアフルトを訪れた。大聖堂前の階段広場で行われる「大聖堂フェスティバル」は印象的で、ドイツの最も大きな公園のひとつに数えられる美しいエガ公園も見るに値する。

ゲーテは亡くなるまで文化都市ワイマールで暮らし、当時のまま保存されているゲーテハウスとシラーハウス、市宮殿、公園、アンナ・アマリア大公妃図書館など16の物件がユネスコ世界文化遺産に登録されている。

ゲーテとシラーは光の町イエナで親交を結び、世界文学上の傑作が生まれた。ドイツで2番目に古い植物園、ゲーテの記念館、シラーの園亭、世界最古のツァイス・プラネタリウムなど光学機器のゆりかごといわれるイエナには面白い見どころが多数ある。

音楽の町ライプツィヒは、バッハやメンデルスゾーン、ワーグナーといった偉大な音楽家のゆかりの町。ゲヴァントハウス管弦楽団やトーマス教会合唱団などの有名なアンサンブルの本拠地であり、バッハ音楽祭や野外クラシック音楽祭等の国際的な音楽祭が毎年多数のファンを惹きつける。

ゲーテは一人の文化愛好家としてよくドレスデンを訪れた。エルベ溪谷に懐かれたドレスデンは当時すでに欧州有数のバロックの麗都として知られていた。ドレスデンの旧市街の歴史的建築は壮麗で、世界的に有名な豊かな美術工芸品の数々はとても魅惑的だ。



フランクフルト

Frankfurt

ゲートの生まれ故郷

フランクフルトによろこば!

1200年余りの歴史を持つメイン川の大会、ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの生誕地を楽しもう。活き活きとした多様性を感じさせるヘッセン州最大の都会、伝統と現代が溶け合ったフランクフルト・アム・マインは一度の旅では汲みつくせない町である。ゲーテは生涯生まれ故郷を愛し、『詩と真実』の中で子供時代を過ごしたフランクフルトについて愛情をこめて書いている。町の中心部にある生家をはじめゲーテのゆかりの場所を巡りながら市内観光を楽しもう。



みどころ

レーマーの丘

Römerberg

歴史を感じる佇まいを見せる中心部には立派な木組み建物が並び、1405年に建てられた市庁舎では今も市長が執務する。大聖堂とレーマーの間には“新しい”旧市街が完成し、新たな名所となっている。

新しい旧市街

Neue Altstadt

再現された歴史的な建物と新しい建物が見事に調和し、フランクフルトの波乱に富む歴史を思い起こさせる新たな人気スポット。

ゲーテハウス

Goethe-Haus

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテの生家はドイツでもっとも重要でビジターの多いゲーテの記念館。ここで『若きウェルテルの悩み』をはじめ多くの作品が書かれた。18世紀に建てられたこの家の家具や絵からゲーテの幼年青年期の様子が伝わってくる。隣接するゲーテ博物館はゲーテが生きていた時代の絵画を展示。

開館：毎日

料金：7€、11名以上の団体5€。

皇帝大聖堂聖バルトメウス

Kaiserdom

神聖ローマ帝国皇帝の選挙が行われていた1562~1792年、10人の皇帝が戴冠式を挙げた。

パウルス教会

Paulskirche

1848年に第一回国民会議が開かれ、その時の憲法草案は、現ドイツ連邦共和国基本法の基となった。建物は授賞式や政治的文化的イベントに使用されている。

マイン・タワー

Main Tower

全面ガラス張りの丸いマイン・タワーにある高さ200mの展望台からは、フランクフルト全市街のスカイラインを見晴らせる。

開館：毎日

料金：7.5€

文化

博物館岸

Museums embankment

フランクフルトには60の博物館美術館があり、ドイツ、欧州における文化芸術の重要な拠点だ。そのうち26が博物館岸にある。マイン川両岸に博物館が並び、映画、建築、絵画、ユダヤ史から古代彫刻まで全時代の芸術文化が見学可。なかでもフェルメールを含む巨匠の傑作を展示するシュテッデル美術館は世界的に有名。

休館：月曜

料金：14€ (土・日 16€)

10名以上の団体 12€ (土・日 14€)

食の楽しみ

食も町と同じように国際的な料理から郷土・名物料理まで楽しめる。市内には、計9つのミシュランレストランがある。

アップルワイン

Apfelwein

250年前からフランクフルトの飲み物と言えばアプフェルヴァイン（方言でアップルヴォイ）。ひし形模様のコップで、ベンベルと呼ばれる陶器のピッチャーから注いで飲むのが定番。青色の模様を施した灰色の陶器はフランクフルトのリンゴ酒文化の象徴。下町のザクセンハウゼン地区には昔ながらのアップルワイン酒場が並び。

フランクフルト郷土料理

前菜：タマネギとオイルにマリネしたサワーミルクチーズまたはフランクフルト・ソーセージ

主菜：煮込み牛肉のグリーンソース（7種のハーブのソース。ゲーテの好物と伝えられる）、あるいはザウアークラウト添え豚あばら肉リップヒェン

デザート：フランクフルター・クラント（バタークリームのトルテ、またはベートメンヒェン（焼き菓子）

ショッピング

ツァイル

Zeil

有名なデパート、ショッピングセンター、専門店が集まる歩行者天国。ショッピングモールのマイツァイルに大きな食の「フードトピア」が2019年に開店した。

ゲーテ通り

Goethestrasse

世界の名だたるトップブランド、トップデザイナーの店が並ぶ高級ショッピングストリート。

市内観光

様々な定期出発のツアーがある。独自のガイドを付けたテーマのあるガイドツアーも組める。

詳細、問い合わせ

イベント

イベントカレンダー

フランクフルト観光局

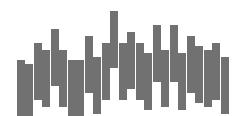
Tourismus+Congress GmbH Frankfurt am Main

Kaiserstrasse 56, 60329 Frankfurt am Main

Tel: +49 (0) 69 / 21 23 88 00

Email: tourismus@infofrankfurt.de

URL: www.frankfurt-tourismus.de



Tourismus+Congress GmbH
Frankfurt am Main

ヴェッツラー

Wetzlar

ゲーテとカメラの町

中世の広場、立派な木組みの家、華麗なバロック建築、町の顔となるラン川に架かる700年前の石橋、町の中心立つ立つ未完の大聖堂。ショップが並ぶロマンチックな小路。旧市街には穀物市、バター市、鉄市といった中世にできたマルクト広場があり、今はその周りにレストランやカフェが並んでいる。1772年青年ゲーテは帝国最高法院での実習のためヴェッツラーに住んだ。婚約者のいるシャルロッテ・ブフ、愛称ロッセと知り合い、その時の失恋と苦悩の体験を『若きウェルテルの悩み』に昇華させた。小説は1774年に出版され欧州でベストセラーとなり、ヴェッツラーとロッセは世界的に知られるようになった。



© Tourist-Information/Peter Jörg Albrecht

みどころ

ロッテハウス

Lottehaus

ゲーテがしばしば訪れたシャルロッテ・ブフの家は博物館となり、18世紀の木組みの家屋と家具調度は当時の市民の生活文化をよく伝えている。3つの部屋がウェルテル関連の展示室。ロッテハウスと対をなすイエルザレムハウスは、ウェルテルのモデルとなった友人イエルザレムの住居。

休館：月曜

料金：3€、団体2€（イエルザレムハウス込）
ゲーテとロッテのコスチュームを着けたガイドによる市内観光、ゲーテをテーマとしたツアー、ゲーテの径ハイキングなど手配可能。

光学機器とカメラ

ヴィゼウム（光学精密機器の家）：関連企業14社が連携する光学精密の未来の世界を体験する博物館「ヴィゼウム」。

休館：月曜 有料

光のルート

市内に光学を体験できる展示物が多数置かれ、光学関連スポットや撮影ポイント約20か所を結ぶルート。

ライカ体験ワールド

THE WORLD OF LEICA EXPERIENCE

2014年にヴェッツラーのライツパークに拠点を戻したライカカメラは体験ワールドをオープンし、製造工程、フォトギャラリー、歴史的製品の展示など見ることができる。体験ワールドの入場は無料。ガイドツアー参加有料。工場視察は事前申し込み必要。カフェ、レストラン、ホテルあり。

開館：毎日

エルンスト・ライツ博物館

ライツパーク内にある写真芸術と写真技術の博物館。有名写真家の特別展等も実施。

休館：月曜 有料

イベント

伝統的な祭りはガルスマルクト、オクセンフェスト、ラン川カルチャーデー、夏の夜のワイン祭り。文化行事ハイライトは夏のヴェッツラー・フェスティバル。名所旧跡で演奏、演劇などが行われる。

食の楽しみ

ゲーテ・メニュー

ホテル・ビュルガーホーフのレストラン「デア・ポストライター」はゲーテのおばあさんのレシピをヒントに創るゲーテ・メニュー。ゲーテの好物ハーブ・スープ、マスのフィレ、デザートはキャラメリゼしたフルーツ。



© Tourist-Information/Dominik Ketz



© Tourist-Information/Dominik Ketz



© Tourist-Information/Dominik Ketz

ヴェッツラー観光局

Tourist-Information Wetzlar

Domplatz 8, 35578 Wetzlar

Tel: +49 (0) 6441 997755 Fax: +49 (0) 6441 997759

Email: tourist-info@wetzlar.de

URL: www.wetzlar-tourismus.de



フルダ

Fulda

ゲーテが愛したバロックの都

フランクフルトからワイマールへの旅の途上、ゲーテはよくフルダに宿泊した。ゲーテの『西東詩集』は、友人たちと語りあったフルダの旅で書かれたと言われている。

芸術と華麗さを好んだフルダを治めていた領主司教により、18世紀にフルダの町はバロックの町となった。バロック地区の宮殿、大聖堂、貴族の館と庭園のアンサンブルは見事な華麗さを魅せている。買い物や食事には木組みの家が並び中世の雰囲気が残る旧市街がおすすめ。この町ではゲーテが愛した当時の町の姿を今も体験することができる。



© Tourismus und Kongressmanagement Fulda_Christian Tech

みどころ

大聖堂

Dom

18世紀に建築家ディーツェンホーファーが設計したバロック様式の司教座教会。フルダのシンボル。8世紀にドイツにキリスト教を布教した聖人ボニファチウスの墓所があり、巡礼聖地となっている。宝物殿あり。オルガンコンサート：5、6、7、9、10月及び降節期間の毎土曜12:05～12:35

市宮殿

Stadtschloss

ディーツェンホーファーが建てた領主司教のパロック様式の居城。宴会広間や居間など歴史的な豪華な部屋が公開されていて、絶対主義時代の領主司教の生活文化を垣間見ることができる。フルダとテューリンゲン窯の陶磁器展示がある。

開館：火曜～日曜、祝日

宮殿庭園

Schlossgarten

柵と壁で囲まれた18世紀のパロック様式庭園は、宮殿テラス、オレンジリー、大花壇から成る。夏はイベント会場として、冬はレモンやオレンジの温室に使われたオレンジリーのアポロ広間に人々が賑わう。ここは、隣接ホテルの朝食ルーム、カフェとしても使われる。オレンジリー前の階段にはフルダの象徴の一つである高さ6.8mの石彫刻のフロー像が建つ。

ミハエル教会

Michaelskirche

大聖堂のそばに立つミハエル教会はドイツ最古の教会のひとつで、建物は11世紀のロマネスク様式。地下聖堂は9世紀初めの建立当時の姿をとどめている。

食の楽しみ

ゲーテ・メニュー

ゲーテの定宿であった郵便馬車宿を継いだロマンチックホテル・ゴルデナー・カルプフェン（金鯉亭）のレストランはグルメレストラン。ゲーテの滞在を示す碑がある。詩人にちなんだ特別料理「ゲーテ・メニュー」がある。

イベント

夏にイベントが多く、広場や街路でのお祭り、国際的なアーティストが出演するフェスティバル、野外コンサートが催される。ハイライトはミュージカルサマー・フルダ。6月中旬から8月下旬にフルダ宮殿劇場でミュージカルが上演される。すでに7本の世界的ミュージカルのプレミアを上演。2020年プレミア演目はロビンフッド。

クリスマスマーケット

11月末から12月23日に旧市街で開催。伝統的市は大学広場、中世市はフォンデラウ博物館中庭、地方名産市は旧市庁舎。

2020年イベントハイライト

2/27 カーニバル、バラの月曜パレード

5/21～24 ロイヤル・ガーデンショー

6/19～8/30 ミュージカルサマー

6/27 大聖堂広場野外コンサート

8月末～9月初旬 ワイン祭り

11/27～12/23 クリスマスマーケット

12/26～30 冬の寄席芸／オレンジリー

2021年

5/21～30 第61回ヘッセン州祭り

6/23～26 大聖堂広場野外コンサート

11月末～クリスマス前

クリスマスマーケット

2023年

4月～10月 州ガーデンショー

日本語ガイドツアー

ゲーテの足跡を訪ねながら2時間の市内観光。最大20名のグループにつき90€。



© Tourismus und Kongressmanagement Fulda_Christian Tech



© Tourismus und Kongressmanagement Fulda_Christian Tech

フルダ観光局

Tourismus und Kongressmanagement Fulda

Bonifatiusplatz 1, 36037 Fulda

Tel: +49 (0) 661 102 1814

Email: tourismus@fulda.de

URL: www.tourismus-fulda.de

ヴァルトブルク城

Wartburg

世界文化遺産の名城

ドイツの中央に位置し、アイゼナッハの町を見下ろすように聳える壮大なヴァルトブルク城。ドイツで知らぬ人のない名城のひとつで、1999年にユネスコ世界遺産に登録された。

城に入ればそこはまさに一千年の歴史書の中。言い伝えによれば築城は1067年で、12世紀に建てられた後期ロマネスク様式の宮殿が昔の栄華を今日に伝えている。王宮は芸術の女神ミューズの宮廷として輝きを放っていた。伝説の歌合戦が伝えるその光景は、リヒャルト・ワーグナーのオペラ『タンホイザー』により世界的に知られている。城は中世の聖人の一人である聖エリーザベトが暮らし、活動した場所でもあった。またマルティン・ルターは城に匿われてた1521～22年の間に新約聖書をドイツ語に訳し、これが統一ドイツ文語の基礎になった。ヴァルトブルク城はドイツの歴史文化を語るとき必ず登場する城で、幾世紀にもわたり、堅固な要塞、華麗な居城、宿、避難場所として佇み、そしてまた、旅人には休息を与えた。城は荒廃したこともあったが、現在も生き続ける。19世紀に入り、外観内装の修復が行われた。宴会の間など中世の建造物が修復され、一部は新たに補強された。広間では夏の有名なヴァルトブルク・コンサートや様々なイベントが催される。歌合戦の場面を描いたモーリッツ・フォン・シュヴィントのフレスコ画も印象的。



© Wartburg-Stiftung



© Wartburg-Stiftung

みどころ

ヴァルトブルク城美術品

800年の間に収集されたヴァルトブルク城の美術品を博物館として展示するよう200年前にゲーテは助言した。現在、ルカス・クラナッハの絵画をはじめ9000点が公開されている。

開館：通年毎日

4月～10月：8:30～20:00

最終ガイドツアー：17:00

11月～3月：9:00～17:00

最終ガイドツアー：15:30

ヴァルトブルクのおもてなし

隣接する古城ホテル「ホテル・アウフ・デア・ヴァルトブルク」には、内装の異なる38の客室と、最高の景観を楽しめるレストランがあり、ヴァルトブルク城の伝統で訪れる人を暖かく迎えてくれる。

イベント

4月～9月 宴会広間でコンサート

8月 サマーナイト

12月 待降節コンサート

待降節週末 歴史的クリスマスマーケット
他、年に数回の「タンホイザーとヴァルトブルク城歌合戦」の上演

ヴァルトブルク城のクリスマスマーケット

キャンドル職人、ランタン作り、菓草売り、錫鑄物師などの中世の職人、楽士や大道芸人、それにチューリングン名物など、ヴァルトブルク城の歴史的クリスマスマーケットはロマンチックな舞台で開催されることでしか体験できないイベント。宴会広間では待降節コンサートや人形劇が行われる。

日時：待降節の各土曜と日曜 10時～19時
料金：5€（コンサート、城内見学、ルターの部屋、南塔すべてを含む）



© Wartburg-Stiftung



© Wartburg-Stiftung

ヴァルトブルク財団

Wartburg-Stiftung

Auf der Wartburg 1, 99817 Eisenach

Tel: +49 (0) 36 91 /250-0 Fax: +49 (0) 36 91/20 33 42

Email: info@wartburg.de

URL: www.wartburg.de

エアフルト

Erfurt

テューリンゲン州の首都

エアフルトはドイツの中央に位置し、高速道路と新幹線の交通インフラに恵まれた活気ある文化都市。大学町でもあり、造園業に伝統がある。町の創設は742年。ヴィア・レギア街道とニュルンベルク街道の二つの交易街道が交差し、中世には裕福な商業都市に発展。その文化はルター、ゲーテ、シラー、ナポレオン、バッハ一族をも引き寄せた。入念に修復されたルネッサンス様式の建物や木組みの家から当時の繁栄を窺い知ることができる。複数の教会や僧院、ペータースベルク要塞とともに建造物は保護維持され、ドイツ最大の中世都市の核をなしている。



© Hans P. Szyska

みどころ

聖マリア大聖堂と聖セヴェリ教会 Dom St. Marien und St. Severikirche

大聖堂の丘にそびえる2つの教会は町の象徴。大聖堂中央塔には世界最大の中世の鐘楼「グロリオーザ」が掛かる。

クレーマー橋 Krämerbrücke

長さ120mのクレーマー橋は人家が立ち並ぶ橋としては欧州最長。エアフルトの町のシンボル。ヴィア・レギア街道が橋を通り、中世には商店が並んだ。今日、小さな店やカフェ、画廊が軒を連ね、往時の賑やかさを偲ばせる。

カイザーザール Kaisersaal

1715年建築の大学舞踏会ホール。1808年の王侯会議にナポレオンやロシア皇帝アレキサンダー一世が出席。パガニーニ、クララ・シューマン、リストなどがコンサートを行った。ゲーテが臨席してシラーの「ドン・カルロス」が初演された。現在は会議とイベント会場。団体見学可。

マインツ選帝侯国代官官邸 Kurmainzische Statthaltereie

18世紀初めのバロック様式宮殿。1808年ゲーテとナポレオンが会見した場所。現在は州首相官邸。

ペータースベルク要塞 Zitadelle Petersberg

17世紀のバロック様式の市要塞。旧市街の下に地下道が張り巡らされている。外は常時開園。地下道見学可能。

市庁舎 Rathaus

19世紀の新ゴシック様式建物。館内にゲーテのファウストやワーグナーのタンホイザー、ルターの生涯、市の歴史を描いた絵画。市内観光中に見学可。

アウグスチノ会修道院 Augustinerkloster

13世紀建立。ルターは修道士として1505年から1511年までこの僧院で暮らした。

エガパーク egapark

州最大の公園で、観賞用花壇は欧州最大。

イベント

2021年イベントハイライト

3/23~4/18 テューリンゲン・バッハ週間
州最大のバッハ音楽祭。

6/18~20 クレーマー橋祭り
州最大の旧市街祭り。

7/9~8/1 大聖堂野外オペラ

700年の歴史を誇る大聖堂前に70段の階段がある。ここを舞台に毎年オペラを上演。演目はナブッコ。

5~8月 大聖堂国際オルガンコンサート
土曜日(不定期)に開催。無料。

11月末~クリスマス前 クリスマスマーケット

旧市街の大聖堂広場で開かれる美しい州最大のクリスマスマーケット。サンタと天使がガイドする市内観光手配可。

伝統の一品

タイセイ藍染工房

中世にエアフルトに富をもたらしたタイセイの藍染プリントを再現。シュレッサー通りのデューラーハウス。

辛子ショップと辛子博物館

新鮮な辛子と高級食品店。名物焼きソーセージに欠かせない伝統の辛子を作るボルン・ゼンフ店Born Senf & Feinkost。

食の楽しみ

伝統テューリンゲン料理レストラン

ツム・ギュルデネン・ラーデ(金車亭)

Köstritzer Zum Güldenen Rade

古い都市貴族の家にある高級レストラン。現代風にアレンジした伝統郷土料理。

ツム・ゴルデネン・シュヴァン(金の白鳥亭)

Zum Goldenen Schwan

市内最古の建物のひとつ。ビール醸造セミナーあり。

エアフルト観光局

Erfurt Tourismus und Marketing GmbH

Benediktspatz 1, D-99084 Erfurt

Tel: +49 (0) 361-66 40 240 Fax: +49 (0) 361-66 40 299

Email: pr@erfurt-tourismus.de

URL: www.erfurt-tourismus.de

フョイヤークーゲル

Gasthaus Feuerkugel

クレーマー橋近くの有名レストラン。自家製テューリンゲン団子添え牛肉ロール他、ケーテおばあさんのレシピで作るテューリンゲン料理。

ピア37

Pier 37

テューリンゲン料理や洗練された創作料理を水辺でゆったり味わえる。

ファウストフード

Faustfood

エアフルトで最初の田舎風屋内グリル店。

ゴルトヘルム・チョコレート工房

Goldhelm Schokoladen Manufaktur

スタイリッシュで最高級品質のチョコレートが評判。工房のカフェからクレーマー橋の眺めがよく、橋の上にも小さな店があり、隣には同店のアイスクリーム店がある。

名物料理

テューリンゲン焼きソーセージ

テューリンゲンの町に欠かせない名物。ある僧院の1404年の買物領収書からニュルンベルクのものより古いことが判明した。

テューリンガー・クレーセ(団子)

ジャガイモで作った丸い団子は全国的に有名。肉ロールと赤キャベツや、肉のロースト、キノコなどに付ける。

伝統のマルティンのガチョウ

聖マルティンの日(11月11日)にエアフルトでは昔からガチョウのローストを食べ、11月は多くのレストランで団子とリング入り赤キャベツ煮を添えたこの料理が出る。

エアフルトのシットヒェン

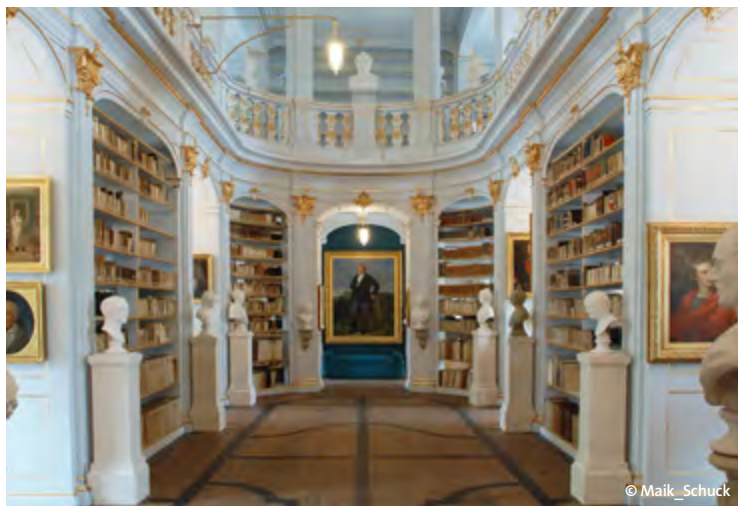
伝統あるクリスマス菓子シュトレン。1329年の文書からドイツで最も古いクリスマス・シュトレンと言われる。

ワイマール

Weimar

古典主義、音楽、バウハウス

ゲーテとシラー、バッハとリスト、モダニズムとバウハウス。これがワイマール。輝かしい過去を持ち多数の偉人を輩出した公国の首都。文化の中心、偉大な歴史、国際的な活気があり、しかもゆったりとした魅力ある旧市街は旅人を魅了する。この小さな町に重要な文化のエポックと欧州の歴史がぎっしりと詰まっている。詩人ゲーテとシラーの家、公園と庭園、壮大な城、世界的に有名なアンナ・アマリア大公妃図書館はユネスコ世界遺産に登録され、また、2019年に100周年を迎えたバウハウスも世界遺産である。毎年多くの旅行者がユネスコ世界遺産の建造物のアンサンブルを前にワイマールを訪れている。



© Maik Schuck

みどころ

- ゲーテの家とゲーテ国立博物館
- シラーの家
- 国民劇場、ゲーテとシラーの像
- バウハウス博物館（2019年4月落成）とバウハウス最初の建物ハウス・アム・ホルン
- アンナ・アマリア大公妃図書館とロココホール
- 現代美術の新美術館
- リスト・ハウス
- マルクト広場（市庁舎とクラナッハの家）
- 聖ペテロ・パウル教会（ヘルダー教会）
- 市宮殿と宮殿美術館（修復のため2023年末まで閉館）
- 大公家霊廟（ゲーテとシラーの棺）
- ベルベデーレ宮殿を含む4つの宮殿と庭園



© Maik Schuck



© Klassik Stiftung Weimar

食の楽しみ

チューリンゲンの郷土料理

- ワイマールのオニオンケーキ
- チューリンゲン風ダンプリング（すりおろしたポテトの団子）
- チューリンゲン焼きソーセージ
- チューリンゲン風プレックヘン（焼き菓子）

おすすめレストラン、カフェ

ガストハウス・ツム・ヴァイセン・シュヴァン（白鳥亭）

Zum Weissen Schwan

450年余続く欧州でも最も古い伝統を誇るホテル・レストラン。ゲーテは常連客であった。

フラウエントア・カフェ・レストラン

Frauentor Café und Restaurant

チューリンゲン料理と地中海料理の創作料理。ロケーションは抜群。

グレートヒェンス・レストラン・カフェ

Gretchens Restaurant und Cafe

ゲーテハウス左隣にある小さなレストラン。創作料理。

ヨハンス・ホーフ

joHanns Hof

優雅で洗練された創作料理。ワインと最上級の肉のステーキが評判

レジデンツ・カフェ・レストラン

Residenz Café-Restaurant

ワイマールで現存するカフェでは最古。市宮殿前にあり、160年余り親しまれてきたカフェ。

ヤーゲマンズ・レストラン

Jagemanns Restaurant

ヘルダー広場の歴史的な建物にあるスタイリッシュなレストラン。テラスとピアガーデンあり。

イベント

ゲーテワイン祭り

Goethe-Weinfest

毎年ゲーテの誕生日 8月28日前後の4日間開催。

場所：ゲーテハウス前フラウエンプラン広場

陶器市

Potter Market

65の陶磁器製作者の屋台スタンドが出る。

9月の土・日2日間。

場所：マルクト広場

たまねぎ市

Onion Market

10月の第二週末に3日間に開催されるたまねぎ市。1653年に秋の収穫を祝い始まった伝統あるこの祭りに毎年40万人以上が訪れる。チューリンゲン州最大の移動遊園地が設置され、約600の屋台が立つ。そのうち100あまりがたまねぎやたまねぎ飾りの屋台で、他にも、果物や民芸品なども売られている。たまねぎ市では、ツヴィーベルクーヘン（オニオンケーキ）とフェダーヴァイザー（この時期にしか飲めない発酵途中のワイン）がー押し！

2021/10/8~10

クリスマスマーケット

Christmas Market

エルツ山地の民芸品やラウシャのガラス装飾品の屋台が魅力。マルクト広場から国民劇場広場で開催。

2020/11/24~2021/1/5

ワイマール観光局

Weimar Tourist Board

UNESCO-Platz 1, 99423 Weimar

Tel: +49 (0) 3643 7450

Email: Tourist-info@weimar.de

URL: www.weimar.de/en/tourism/

B2B担当：Serge Strekotin

Email: strekotin@weimar.de

weimar
Culture City of Europe

イエナ

Jena

光の町

サイエンスセンター、テクノロジー、文化、学生天国…これが人口11万人の町イエナ。ザーレ河畔の町イエナの中心にはマルクト広場、14世紀の市庁舎、中世の市城壁とイエンタワーといった過去と現代が併存する。1558年に創設されたイエナ大学は最も古い大学の一つで、18世紀後半にはイエナを欧州の精神的中心へと押し上げた。1778年に訪れて以来イエナに平安を見出したゲーテは、植物園や大学図書館などの設立に寄与。ゲーテがヒトの顎間骨を発見したのもイエナであった。シラーはゲーテの勧めでイエナ大学に招聘され、その後深い友情を築いていく。

1846年、カール・ツァイスはレンズ製作所を開き、数学物理学者アッペ、光学ガラス研究者ショットとのドリームチームで、イエナをレンズと顕微鏡の世界的中心地にした。フリードリヒ・シラー大学、エルンスト・アッペ単科大学、この町を拠点とするハイテク企業や研究所により、イエナはテクノロジーの町として発展し続けている。



© JenaKultur_Andreas Hub

みどころ

マルクト広場

Marktplatz

大学創始者ハンフリート立像、市庁舎。

シラーのガーデンハウス

Schiller's summer house

シラーが家族とともに10年間住んだ家。ここで戯曲『ワレンシュタン』を書き終え、『マリア・スチュアート』、『オルレアンの少女』など、多数のバラードを執筆した。庭にはゲーテと度々意見を交換した石のテーブルがある。

開館：火～日（冬期は火～土） 有料

植物園とゲーテ記念館

Botanical garden

ドイツで二番目に古い植物園。ゲーテは管理事務所に度々滞在し、建物はゲーテ記念館となっている（改装のため閉館中）。自ら植えた樹齢200年のイチョウの木が立つ。

植物園 開館：毎日 有料



© JenaKultur_Andreas Hub

ロマン派の家

Romanticist house

哲学者フィヒテのかつての住まい。1785～1800年のイエナの初期ロマン派に関する文学博物館。

開館：火～日 有料

イエンタワー

JenTower

イエナの象徴である159mの円筒建物は、東独のスター建築家ヘンゼルマンが人民所有企業カール・ツァイス研究センターとして設計した。現在はホテル、レストラン、展望台として使用されている。

ツァイス・プラネタリウム

Zeiss-Planetarium

1926年開業し、現在稼働しているプラネタリウムでは世界最古。投影機はツァイス社製ウニヴェルザリウム8型。

開館：毎日 有料

ドイツ光学博物館

German Optical Museum

イエナの光学産業の歴史を展示。体験型展示への改装改築のため2023年前期まで閉館。

イベント

クルトゥーア・アレーナ

Kulturarena

1992年より開催されているオープンエア・フェスティバル。演劇と映画音楽の他、ポップやロック、ジャズクラシックまで幅広い分野のコンサートが、イエナの中心アレーナ広場で開かれ、国際的スターやアマチュアまで各ジャンルの出演者が登場する。文化的な出会いを目的とし、市民が楽しみにしている祭り。7月から8月の6週間開催され、東部ドイツ最大のオープンエア・フェスティバルとなっている。

休暇・アクティビティ

ザーレ渓谷ハイキング

Saalehorizontale

ザーレ川の渓谷にある町を囲む丘にはザーレ・ホリツォンターレと呼ばれる72kmのハイキングコースがあり、町や村、古城宮殿のある景色を楽しめる。1日ハイキングなら、例えば、バラの季節にドルンブルク宮殿のハイキングがおすすめ。ガイドツアー予約可能。

ガイドツアー

2人の偉人、ゲーテとシラーゆかりの場所を巡る市内観光「イエナのシラーとゲーテ」や「相性ぴったりのゲーテとイエナ」がある。いずれも徒歩観光で、イエナ観光局が主催。

イエナ観光局

Jena Tourist-Information

Markt 16, 07743 Jena

Tel: +49 (0) 3641 498050

Email: Tourist-info@jena.de

URL: www.visit-jena.de

■ JENA LICHTSTADT.

ライプツィヒ

Leipzig

音楽の町

千年余りの歴史と豊かな文化の遺産を誇る町ライプツィヒによるこそ！ライプツィヒ大学に学ぶヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテが足しげく通ったレストラン「アウアーバッハスケラー」。ライプツィヒをとて気に入り、有名な戯曲『ファウスト』の中でこのレストランの場面を描いている。新たな刺激を与え、開放的な商業の町のライフスタイルは、若い世代にも好まれ、今日、約4万人の学生がライプツィヒで学んでいる。



© Huang Liang

音楽の町

多くの偉大な作曲家のおかげでライプツィヒには他の欧州の町では体験できない音楽と歴史がある。ヨハン・セバスティアン・バッハは亡くなるまで27年間ライプツィヒに住み、トーマス教会合唱団を監督し、受難劇やフーガの技巧、口短調ミサ曲といった有名な傑作を作曲した。バッハの墓はトーマス教会の内陣にある。世界のクラシック音楽ファンは、一度はトーマス教会合唱団が歌うバッハの曲を聴いてみたいという。毎週行われるモテットと、毎年6月開催のバッハ音楽祭、あるいは12月のクリスマスオラトリオのコンサートでこうした音楽ファンの夢を実現することができる。

オペラ・ライプツィヒと ゲヴァントハウス管弦楽団

世界的な名声を博しているライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団とオペラ・ライプツィヒ。リヒャルト・ワーグナーの生誕地であるライプツィヒでは、オペラ・ライプツィヒが目下壮大なプロジェクトに向かって進んでいる。2022年までに全てのワーグナーオペラを演奏プログラムに取り入れ、同年6月20日～7月14日開催のフェスティバルで上演するというプロジェクトである。

楽譜の道

音楽の遺産を巡るには「ライプツィヒ楽譜の道」がよい。5kmに渡るルートには道路に金属サインが埋め込んであり、バッハ博物館など全ての音楽スポットを訪ねることができる。2018年、このプロジェクトは欧州遺産認証を授与された。

みどころ

トーマス教会 Thomaskirche

1212年建立、後期ゴシック様式。トーマス教会合唱団の本拠地。J.S.バッハが眠っている。

バッハ博物館 Bach-Museum

J.S.バッハの生涯、業績、楽器などを体験型展示で紹介。

休館：月曜

料金：8€ 10人以上の団体 7€/一人あたり

メンデルスゾーン・ハウス Mendelssohn-Haus

世界で唯一のメンデルスゾーンの家かつ博物館。日曜11時に音楽サロンでコンサートあり。開館：毎日

ニコライ教会 Nikolaikirche

市内最古の教会でバッハゆかりの教会。東独時代の月曜に行われた平和の祈りは1989年の平和革命の出発点となった。

旧市庁舎 Altes Rathaus

マルクト広場に立つ16世紀のルネッサンス様式の建物。現在は市歴史博物館。裏のナッシュ広場にゲーテの学生時代を表すゲーテ像。休館：月曜、有料

シューマン・ハウス Schumann-Haus

ロベルトとクララ・シューマンの住居。展示場は2階の居間。休館：火曜

イベント

オペラ・ライプツィヒの ワーグナー・リング・ツィクルス

2020年1月15、16、18、19日および5月20～24日

ゲヴァントハウスの マーラー・フェスティバル

2021年5月13～24日

ライプツィヒ・バッハ音楽祭

2021年6月11～20日



© Huang Liang



© PK Fotografie



© PK Fotografie

ライプツィヒ観光局

Leipzig Tourismus und Marketing GmbH
Augustusplatz 9, 04109 Leipzig
URL: www.leipzig.travel

日本担当：
Susi Wieschollek, Sales Manager Japan
Email: s.wieschollek@ltm-leipzig.de



ドレスデン

Dresden

文化香る麗都

エルベ川にルネサンスやバロックの建物のアンサンブルを映す欧州で最も美しい都のひとつドレスデン。ワーグナーやゼンパーオペラに代表される音楽の町であり、美術、宝飾工芸品、宮殿や教会建築でも世界的に見どころが豊富。2020年はベートーヴェン生誕250年、およびアウグスト強王生誕350年が観光のテーマとなる。



見どころ

ツヴィンガー宮殿

Zwinger

18世紀後期バロック様式の重要建築。世界屈指のアルテ・マイスター絵画館（ラファエロ『システィーナの Madonna』、フェルメール等）、陶磁器と数学物理学の博物館がある。

レジデンツ宮殿（ドレスデン城）

Residenzschloss

緑の丸天井や豪華なザクセン王家の財宝を展示。修復を終え豪華な客間が見学可能となる。

ゼンパーオペラ

Semperoper

ゴットフリート・ゼンパー設計の世界有数の美しい歌劇場。オペラ、バレエ、コンサートを公演。シュターツカペレ・ドレスデンの本拠地。

フラウエン教会

Frauenkirche

ドレスデンの象徴。1945年の爆撃で廃墟となり、戦争警告の碑として残された後、統一後、市民の手で2005年に再建された。コンサートが頻繁に行われる。

ピルニッツ城

Schloss Pillnitz

アウグスト強王がエルベ川上流に建てた東洋趣味の離宮。船の小旅行に最適。

ノイシュタット新市街

Neustadt

バロック様式建物が美しいケーニヒ通りと学生や芸術家が多いサブカルチャーの発信地。

新しいアトラクション

ツヴィンガー宮殿

中庭の仮設ドームで強王の結婚式「世紀のウェディング」にVRタイムトラベル。2020年中に宮殿内に移転。ブリュールテラス地下のドレスデン要塞では「要塞の歴史」を上演中。

レジデンツ宮殿

強王は1719年の息子の結婚祝いにステート・アパートメントを豪華に改築。2019年9月に修復工事が完成し一般公開されている。

郷土の味

- ザクセン風ポテトスープ
- ドレスデン風ザウアーブラーテン（マリネ牛肉ローストの煮込み）
- クヴァルクコイルヒェン（クヴァルクチーズ、ポテト、レーズン、小麦粉のバター揚げ）
- ザクセン産ワイン

おすすめレストラン

ゾフィーエンケラー

Sophienkeller

歴史的建築地下で味わうザクセン料理。

プルファートゥルム

Pulverturm

フラウエン教会そば側の石造り地下レストラン。

アルテ・マイスター

Alte Meister

絵画館隣りのカフェ。夜は本格レストラン。

ホテルヴィラ・ゾルゲンフライ

Hotel Villa Sorgenfrei

隣町ラーデボイルにあるブドウ畑に囲まれた18世紀の館。レストランはミシュラン一つ星。仏・地中海料理。

おすすめエクスカーション

マイセン

Meissen

中世の面影漂うロマンチックな古都。マイセン磁器工房、大聖堂、アルブレヒツブルク城。

ラーデボイル

Radebeul

伝統ワイナリー、ヴィラ風建物が多数ザクセン・ワイン街道の町。

モーリッツブルク城

Schloss Moritzburg

郊外の森で濠に囲まれたバロック様式の宮殿

ベートーヴェン生誕250年

音楽の町ドレスデンでは2020年ベートーヴェン記念年に特別プログラムが組まれる。例えばゼンパーオペラのシュターツカペレは、ティーレマン指揮でベートーヴェンの交響曲1番から5番までを演奏（公演予定はP9を参照）。ベートーヴェンは1796年にドレスデンに演奏旅行で訪れている。詩人シラーは1786,87年夏にドレスデン郊外に住む友人の家に滞在し、ライプツィヒで書き始めた詩『歓喜に寄す』を完成させた。その37年後、ベートーヴェンは第九の最終合唱にこの自由の詩を入れた。ワーグナーは第九を毎年復活祭前の日曜日に上演し、シュターツカペレはこの伝統を今も引き継いでいる。ザクセン劇団のオーケストラは、ドレスデンの復活教会とラーデボイルのルター教会で第九を大晦日に50年以上も演奏し続けている。

カール・マリア・フォン・ヴェーバー博物館

Carl Maria von Weber Museum

ヴェーバーの夏の別荘。ピアノ演奏とグラス・ワイン付きガイドツアー1時間

リヒャルト・ワーグナー記念館

郊外のグラウパにワーグナーが1846年に滞在しオペラ「ローエングリン」を書いたローエングリンハウスと呼ばれる記念館とワーグナー博物館（かつての狩猟館）がある（休館：月曜）。

ドレスデン観光局

(B2B) Dresden Marketing GmbH

Messering 7, 01067 Dresden

Tel: +49 (0) 351 50173135

Email: tourismus@marketing.dresden.de

URL: www.marketing.dresden.de

(B2C) Dresden Information GmbH

Prager Strasse 2b, 01067 Dresden

Tel: +49 (0) 351 501 501 Fax: +49 (0) 351 501 509

Email: info@dresden.travel

URL: www.dresden.de/tourism

Dresden.
Elbland.